

第八次只見町振興計画
町民アンケート
結果報告書

令和6年11月
只見町

目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 報告書の見方.....	1
II 調査結果.....	2
1 回答者について.....	2
2 住みやすさと定住意向について.....	8
3 人口減少について.....	24
4 結婚・出産・子育てについて.....	30
5 町政全般の施策に関する「満足度」「重要度」について.....	39
6 個別施策ごとのまちづくりの方向性について.....	45

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、第八次只見町振興計画の策定にあたり、町民のみなさんのご意見を広くお伺いし、計画づくりの参考とさせていただくことを目的として実施しました。

2 調査概要

- ◇調査対象者：町内在住の18歳以上の方1,000名(無作為抽出)
- ◇調査期間：令和6年9月6日(金)～10月11日(金)
- ◇調査方法：郵送配布及び郵送・WEB回収による本人記入方式
- ◇配布数：1,000件
- ◇有効回収数：423件
- ◇有効回収率：42.3%

3 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの第1位に網掛けをしています。
- ◇集計対象者数(n値)が少ない(10件未満)クロス集計について、コメント対象外としています。

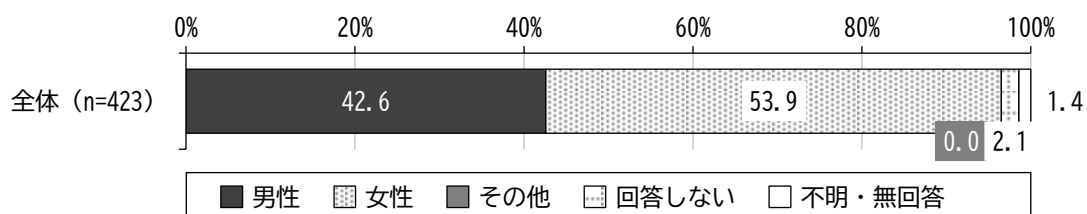
Ⅱ 調査結果

1 回答者について

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

全体では、「女性」が53.9%と最も高く、次いで「男性」が42.6%、「回答しない」が2.1%となっています。

年齢別にみると、50歳～59歳、60歳～64歳では「男性」、その他の区分では「女性」が最も高くなっています。

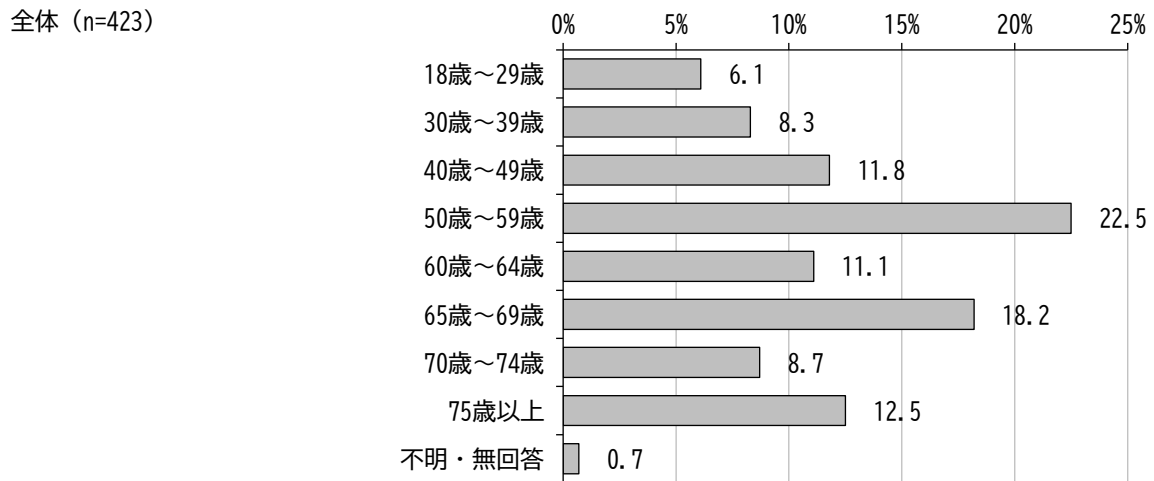


	n	男性	女性	その他	回答しない	不明・無回答	
							%
全体	423	42.6	53.9	-	2.1	1.4	
年齢別	18歳～29歳	26	42.3	50.0	-	7.7	-
	30歳～39歳	35	37.1	54.3	-	8.6	-
	40歳～49歳	50	38.0	56.0	-	6.0	-
	50歳～59歳	95	49.5	47.4	-	1.1	2.1
	60歳～64歳	47	51.1	48.9	-	-	-
	65歳～69歳	77	42.9	57.1	-	-	-
	70歳～74歳	37	27.0	73.0	-	-	-
75歳以上	53	43.4	54.7	-	-	1.9	

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和6年9月1日現在)(1つに○)

全体では、「50歳～59歳」が22.5%と最も高く、次いで「65歳～69歳」が18.2%、「75歳以上」が12.5%となっています。

性別にみると、男女ともに「50歳～59歳」が最も高くなっています。



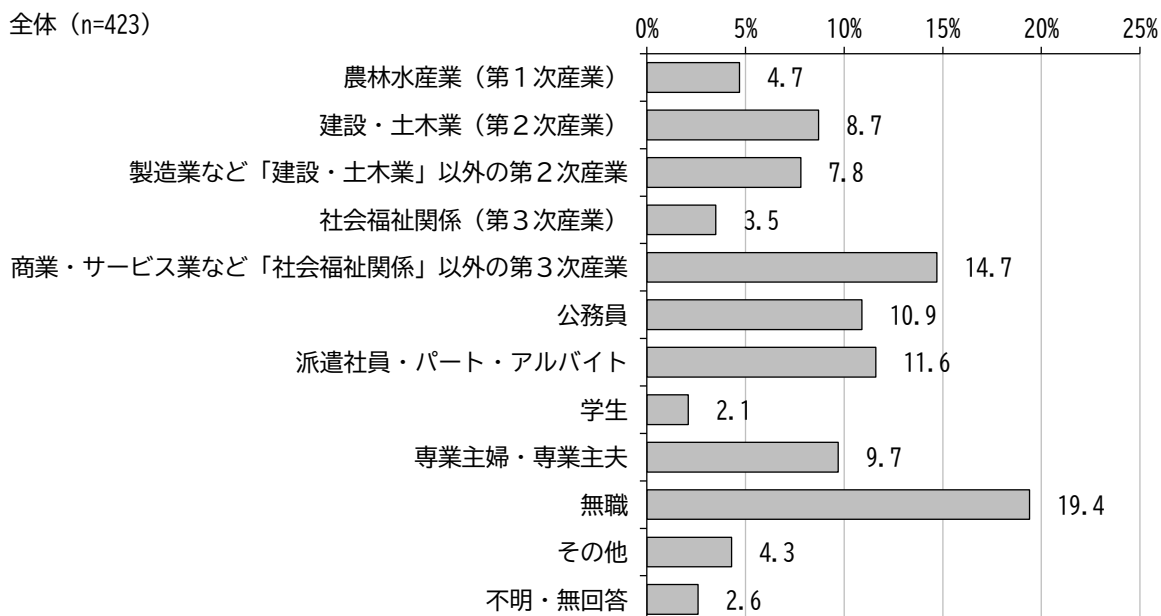
	n	18歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	不明・無回答	
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	
全体	423	6.1	8.3	11.8	22.5	11.1	18.2	8.7	12.5	0.7	
性別	男性	180	6.1	7.2	10.6	26.1	13.3	18.3	5.6	12.8	-
	女性	228	5.7	8.3	12.3	19.7	10.1	19.3	11.8	12.7	-

問3 あなたの職業をお答えください。(1つに○)

全体では、「無職」が19.4%と最も高く、次いで「商業・サービス業など『社会福祉関係』以外の第3次産業」が14.7%、「派遣社員・パート・アルバイト」が11.6%となっています。

性別にみると、男女ともに「無職」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「学生」、30歳～39歳では「公務員」「派遣社員・パート・アルバイト」、40歳～49歳では「公務員」、50歳～59歳、60歳～64歳では「商業・サービス業など『社会福祉関係』以外の第3次産業」、65歳～69歳、70歳～74歳、75歳以上では「無職」が最も高くなっています。



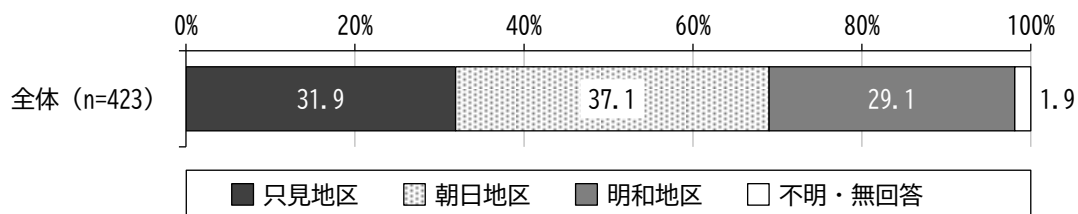
	n	農林水産業 (第1次産業)	建設・土木業 (第2次産業)	製造業など「建設・土木業」以外の第2次産業	社会福祉関係 (第3次産業)	商業・サービス業など「社会福祉関係」以外の第3次産業	公務員	派遣社員・パート・アルバイト	学生	専業主婦・専業主夫	無職	その他	不明・無回答	
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
全体	423	4.7	8.7	7.8	3.5	14.7	10.9	11.6	2.1	9.7	19.4	4.3	2.6	
性別	男性	180	7.2	15.0	10.0	3.3	17.2	12.8	3.3	1.7	0.6	22.2	5.0	1.7
	女性	228	2.6	3.9	6.1	3.9	12.3	8.8	18.0	2.2	17.5	18.4	3.9	2.2
年齢別	18歳～29歳	26	3.8	7.7	7.7	11.5	3.8	19.2	7.7	34.6	3.8	-	-	-
	30歳～39歳	35	5.7	5.7	11.4	-	20.0	22.9	-	5.7	-	-	5.7	-
	40歳～49歳	50	4.0	14.0	4.0	6.0	20.0	30.0	8.0	-	2.0	6.0	6.0	-
	50歳～59歳	95	6.3	14.7	11.6	9.5	17.9	13.7	12.6	-	3.2	3.2	5.3	2.1
	60歳～64歳	47	2.1	12.8	10.6	-	21.3	10.6	12.8	-	12.8	14.9	2.1	-
	65歳～69歳	77	6.5	7.8	7.8	-	11.7	-	15.6	-	20.8	22.1	3.9	3.9
	70歳～74歳	37	5.4	-	5.4	-	10.8	-	10.8	-	21.6	40.5	2.7	2.7
75歳以上	53	1.9	-	1.9	-	7.5	-	1.9	-	7.5	69.8	5.7	3.8	

問4 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。(1つに○)

全体では、「朝日地区」が37.1%と最も高く、次いで「只見地区」が31.9%、「明和地区」が29.1%となっています。

性別にみると、男女ともに「朝日地区」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「只見地区」「朝日地区」、65歳～69歳、70歳～74歳では「明和地区」、75歳以上では「只見地区」、その他の区分では「朝日地区」が最も高くなっています。



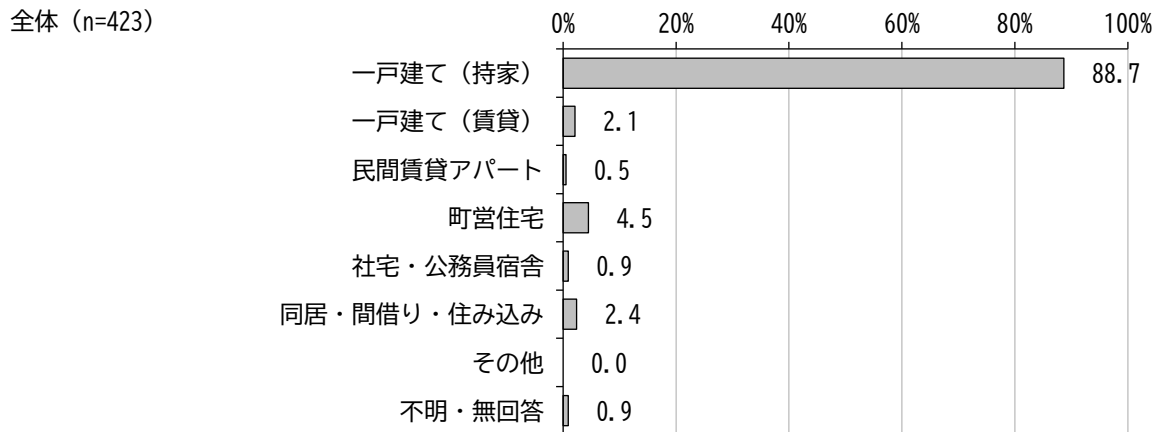
		n	只見地区	朝日地区	明和地区	回答不明・無
全体		423	31.9	37.1	29.1	1.9
性別	男性	180	32.8	36.1	30.0	1.1
	女性	228	32.0	37.7	29.4	0.9
年齢別	18歳～29歳	26	34.6	34.6	30.8	-
	30歳～39歳	35	25.7	48.6	25.7	-
	40歳～49歳	50	28.0	40.0	30.0	2.0
	50歳～59歳	95	33.7	36.8	27.4	2.1
	60歳～64歳	47	40.4	46.8	12.8	-
	65歳～69歳	77	29.9	33.8	35.1	1.3
	70歳～74歳	37	27.0	29.7	40.5	2.7
	75歳以上	53	35.8	32.1	32.1	-

問5 あなたのお住まいについてお答えください。(1つに○)

全体では、「一戸建て(持家)」が88.7%と最も高く、次いで「町営住宅」が4.5%、「同居・間借り・住み込み」が2.4%となっています。

性別にみると、男女ともに「一戸建て(持家)」が最も高くなっています。

年齢別にみると、すべての区分で「一戸建て(持家)」が最も高くなっています。



		n	一戸建て(持家)	一戸建て(賃貸)	民間賃貸アパート	町営住宅	社宅・公務員宿舎	同居・間借り・住み込み	その他	不明・無回答
		%								
全体		423	88.7	2.1	0.5	4.5	0.9	2.4	-	0.9
性別	男性	180	90.6	0.6	1.1	4.4	0.6	2.2	-	0.6
	女性	228	89.0	3.5	-	3.9	1.3	2.2	-	-
年齢別	18歳~29歳	26	65.4	3.8	3.8	11.5	3.8	11.5	-	-
	30歳~39歳	35	71.4	5.7	-	20.0	2.9	-	-	-
	40歳~49歳	50	78.0	4.0	-	8.0	4.0	6.0	-	-
	50歳~59歳	95	93.7	2.1	1.1	2.1	-	-	-	1.1
	60歳~64歳	47	93.6	2.1	-	2.1	-	2.1	-	-
	65歳~69歳	77	97.4	-	-	-	-	2.6	-	-
	70歳~74歳	37	91.9	2.7	-	2.7	-	2.7	-	-
	75歳以上	53	98.1	-	-	1.9	-	-	-	-

問6 あなた自身を除き、同居されている家族には何歳の方がいますか。

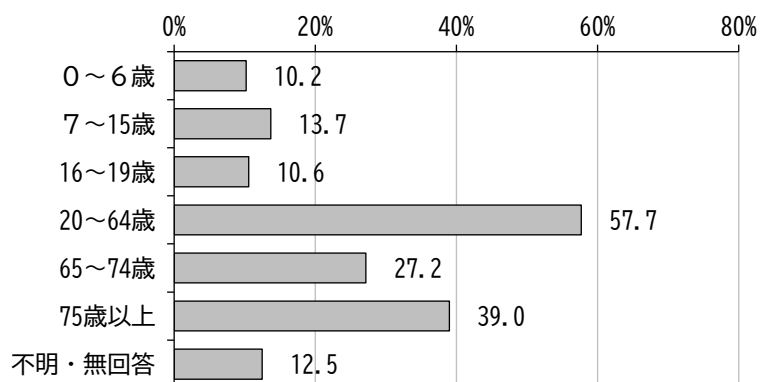
(あてはまるものすべてに○)

全体では、「20～64歳」が57.7%と最も高く、次いで「75歳以上」が39.0%、「65～74歳」が27.2%となっています。

性別にみると、男女ともに「20～64歳」が最も高くなっています。

年齢別にみると、65歳～69歳、70歳～74歳では「65～74歳」、75歳以上では「75歳以上」、その他の区分では「20～64歳」が最も高くなっています。

全体 (n=423)



		n	0 ～ 6 歳	7 ～ 1 5 歳	1 6 ～ 1 9 歳	2 0 ～ 6 4 歳	6 5 ～ 7 4 歳	7 5 歳 以上	不明 ・ 無 回 答
		%							
全体		423	10.2	13.7	10.6	57.7	27.2	39.0	12.5
性別	男性	180	6.7	13.3	9.4	54.4	22.2	38.9	18.3
	女性	228	12.3	14.5	11.8	60.5	31.6	39.0	7.5
年齢別	18歳～29歳	26	15.4	23.1	19.2	80.8	26.9	30.8	11.5
	30歳～39歳	35	51.4	22.9	5.7	82.9	22.9	20.0	5.7
	40歳～49歳	50	12.0	42.0	36.0	68.0	32.0	38.0	4.0
	50歳～59歳	95	4.2	10.5	14.7	66.3	8.4	50.5	10.5
	60歳～64歳	47	2.1	2.1	4.3	72.3	25.5	51.1	12.8
	65歳～69歳	77	2.6	1.3	1.3	37.7	51.9	27.3	15.6
	70歳～74歳	37	10.8	18.9	2.7	29.7	48.6	35.1	10.8
	75歳以上	53	7.5	7.5	3.8	43.4	11.3	47.2	20.8

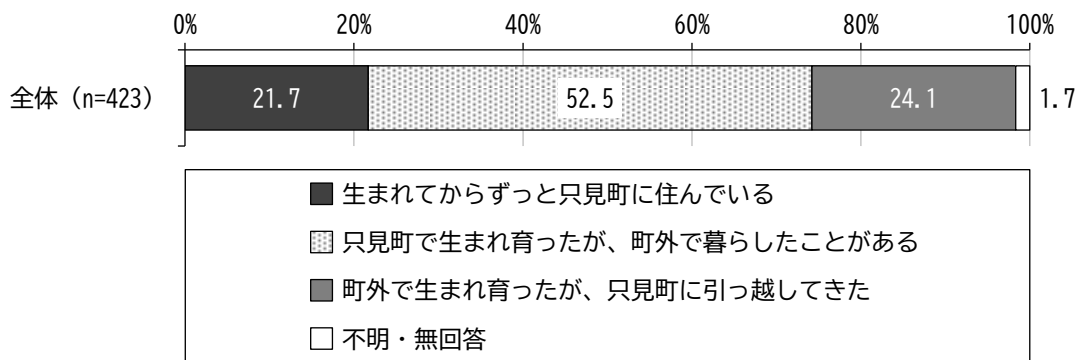
2 住みやすさと定住意向について

問7 あなたは、只見町にいつから住んでいますか。(1つに○)

全体では、「只見町で生まれ育ったが、町外で暮らしたことがある」が52.5%と最も高く、次いで「町外で生まれ育ったが、只見町に引っ越してきた」が24.1%、「生まれてからずっと只見町に住んでいる」が21.7%となっています。

性別にみると、男女ともに「只見町で生まれ育ったが、町外で暮らしたことがある」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「町外で生まれ育ったが、只見町に引っ越してきた」、75歳以上では「生まれてからずっと只見町に住んでいる」、その他の区分では「只見町で生まれ育ったが、町外で暮らしたことがある」が最も高くなっています。



	n	に生まれ育ったが、町外で暮らしたことがある			不明・無回答
		に生まれ育ったが、町外で暮らしたことがある	町外で生まれ育ったが、只見町に引っ越してきた	只見町で生まれ育ったが、町外で暮らしたことがある	
全体	423	21.7	52.5	24.1	1.7
性別					
男性	180	23.3	60.6	14.4	1.7
女性	228	19.3	48.2	31.1	1.3
年齢別					
18歳～29歳	26	34.6	23.1	42.3	-
30歳～39歳	35	11.4	48.6	40.0	-
40歳～49歳	50	16.0	50.0	32.0	2.0
50歳～59歳	95	8.4	66.3	25.3	-
60歳～64歳	47	17.0	63.8	17.0	2.1
65歳～69歳	77	16.9	66.2	15.6	1.3
70歳～74歳	37	24.3	48.6	24.3	2.7
75歳以上	53	60.4	22.6	13.2	3.8

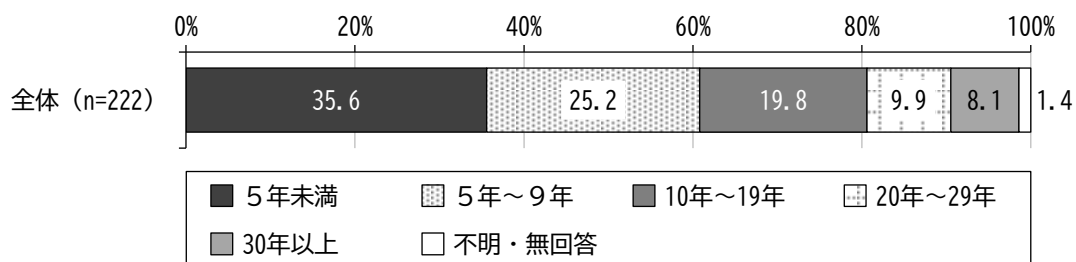
問7で「只見町で生まれ育ったが、町外で暮らしたことがある」を選択した方

問8 あなたが町外で暮らしていたのは延べ何年間ですか。(1つに○)

全体では、「5年未満」が35.6%と最も高く、次いで「5年～9年」が25.2%、「10年～19年」が19.8%となっています。

性別にみると、男女ともに「5年未満」が最も高くなっています。

年齢別にみると、60歳～64歳、65歳～69歳では「5年～9年」、その他の区分では「5年未満」が最も高くなっています。



	n	%					不明・無回答
		5年未満	5年～9年	10年～19年	20年～29年	30年以上	
全体	222	35.6	25.2	19.8	9.9	8.1	1.4
性別							
男性	109	31.2	23.9	22.0	13.8	9.2	-
女性	110	39.1	27.3	18.2	5.5	7.3	2.7
年齢別							
18歳～29歳	6	50.0	50.0	-	-	-	-
30歳～39歳	17	52.9	17.6	29.4	-	-	-
40歳～49歳	25	40.0	28.0	24.0	4.0	4.0	-
50歳～59歳	63	34.9	22.2	22.2	12.7	4.8	3.2
60歳～64歳	30	30.0	33.3	16.7	13.3	3.3	3.3
65歳～69歳	51	23.5	29.4	19.6	11.8	15.7	-
70歳～74歳	18	55.6	11.1	5.6	5.6	22.2	-
75歳以上	12	33.3	16.7	25.0	16.7	8.3	-

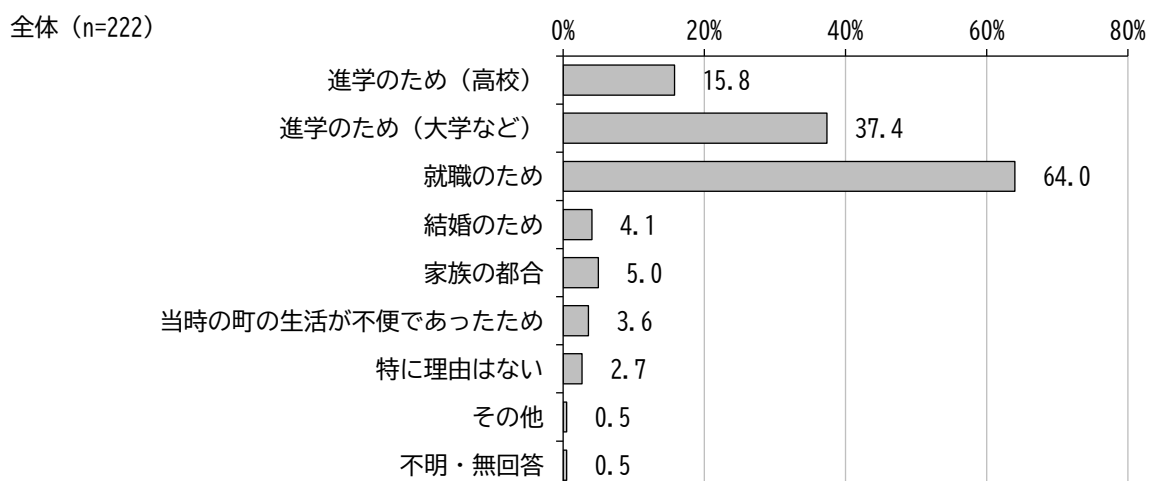
問7で「只見町で生まれ育ったが、町外で暮らしたことがある」を選択した方

問9 あなたが只見町を一旦、離れた理由は何ですか。(最大3つまで○)

全体では、「就職のため」が64.0%と最も高く、次いで「進学のため(大学など)」が37.4%、「進学のため(高校)」が15.8%となっています。

性別にみると、男女ともに「就職のため」が最も高くなっています。

年齢別にみると、30歳～39歳、40歳～49歳では「進学のため(大学など)」、その他の区分では「就職のため」が最も高くなっています。



	n	校進学のため(高)	な進学のため(大学)	就職のため	結婚のため	家族の都合	不当時の町生活が	特に理由はない	その他	不明・無回答
		%	%	%	%	%	%	%	%	%
全体	222	15.8	37.4	64.0	4.1	5.0	3.6	2.7	0.5	0.5
性別										
男性	109	15.6	36.7	63.3	1.8	3.7	5.5	4.6	0.9	-
女性	110	15.5	37.3	65.5	6.4	6.4	1.8	0.9	-	0.9
年齢別										
18歳～29歳	6	16.7	33.3	66.7	-	16.7	-	-	-	-
30歳～39歳	17	11.8	64.7	41.2	5.9	5.9	-	-	-	-
40歳～49歳	25	12.0	76.0	48.0	12.0	4.0	12.0	-	-	-
50歳～59歳	63	19.0	38.1	68.3	3.2	3.2	3.2	3.2	-	-
60歳～64歳	30	6.7	16.7	76.7	6.7	10.0	-	3.3	-	-
65歳～69歳	51	19.6	35.3	60.8	-	-	3.9	5.9	-	2.0
70歳～74歳	18	16.7	16.7	83.3	-	5.6	5.6	-	-	-
75歳以上	12	16.7	8.3	58.3	8.3	16.7	-	-	8.3	-

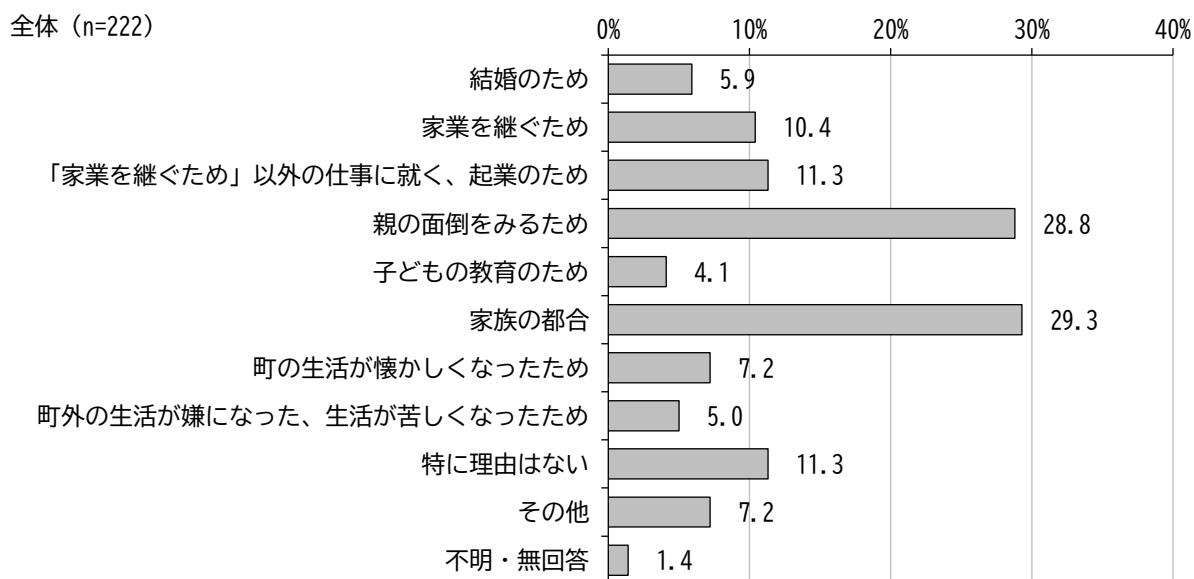
問7で「只見町で生まれ育ったが、町外で暮らしたことがある」を選択した方

問10 あなたが只見町に戻ってきた理由は何ですか。(最大3つまで○)

全体では、「家族の都合」が29.3%と最も高く、次いで「親の面倒をみるため」が28.8%、「『家業を継ぐため』以外の仕事に就く、起業のため」「特に理由はない」が11.3%となっています。

性別にみると、男性では「親の面倒をみるため」、女性では「家族の都合」が最も高くなっています。

年齢別にみると、30歳～39歳では「『家業を継ぐため』以外の仕事に就く、起業のため」、50歳～59歳、65歳～69歳では「親の面倒をみるため」、60歳～64歳では「親の面倒をみるため」「家族の都合」、その他の区分では「家族の都合」が最も高くなっています。



	n	結婚のため	家業を継ぐため	就め「家業を継ぐため」以外の仕事に就く、起業のため	親の面倒をみるため	子どもの教育のため	家族の都合	町外の生活が懐かしくなったため	町外の生活が嫌になった、生活が苦しくなったため	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体	222	5.9	10.4	11.3	28.8	4.1	29.3	7.2	5.0	11.3	7.2	1.4
性別												
男性	109	1.8	17.4	12.8	38.5	3.7	25.7	5.5	5.5	8.3	6.4	0.9
女性	110	10.0	2.7	8.2	19.1	4.5	33.6	9.1	4.5	14.5	8.2	1.8
年齢別												
18歳～29歳	6	-	16.7	-	-	-	50.0	16.7	-	16.7	16.7	-
30歳～39歳	17	11.8	-	29.4	5.9	11.8	23.5	17.6	5.9	5.9	5.9	-
40歳～49歳	25	12.0	4.0	24.0	24.0	8.0	32.0	8.0	8.0	8.0	-	-
50歳～59歳	63	1.6	11.1	15.9	39.7	4.8	23.8	6.3	7.9	11.1	6.3	1.6
60歳～64歳	30	3.3	10.0	-	30.0	-	30.0	3.3	3.3	20.0	13.3	3.3
65歳～69歳	51	9.8	11.8	7.8	31.4	3.9	29.4	9.8	2.0	5.9	7.8	-
70歳～74歳	18	5.6	5.6	-	16.7	-	33.3	-	5.6	22.2	5.6	5.6
75歳以上	12	-	33.3	-	33.3	-	41.7	-	-	8.3	8.3	-

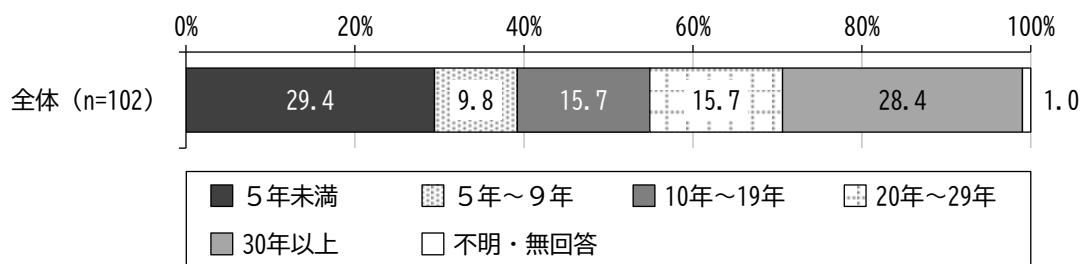
問7で「町外で生まれ育ったが、只見町に引っ越してきた」を選択した方

問11 あなたは只見町に来て何年になりますか。(1つに○)

全体では、「5年未満」が29.4%と最も高く、次いで「30年以上」が28.4%、「10年～19年」「20年～29年」が15.7%となっています。

性別にみると、男性では「5年未満」、女性では「30年以上」が最も高くなっています。

年齢別にみると、40歳～49歳では「5年未満」「20年～29年」、65歳～69歳では「30年以上」、その他の区分では「5年未満」が最も高くなっています。



	n	年数					不明・無回答
		5年未満	5年～9年	10年～19年	20年～29年	30年以上	
全体	102	29.4	9.8	15.7	15.7	28.4	1.0
性別							
男性	26	38.5	7.7	19.2	26.9	7.7	-
女性	71	22.5	11.3	14.1	12.7	38.0	1.4
年齢別							
18歳～29歳	11	54.5	18.2	18.2	9.1	-	-
30歳～39歳	14	64.3	28.6	7.1	-	-	-
40歳～49歳	16	31.3	6.3	25.0	31.3	6.3	-
50歳～59歳	24	33.3	8.3	16.7	16.7	20.8	4.2
60歳～64歳	8	-	-	12.5	25.0	62.5	-
65歳～69歳	12	16.7	8.3	16.7	-	58.3	-
70歳～74歳	9	-	-	11.1	11.1	77.8	-
75歳以上	7	-	-	-	42.9	57.1	-

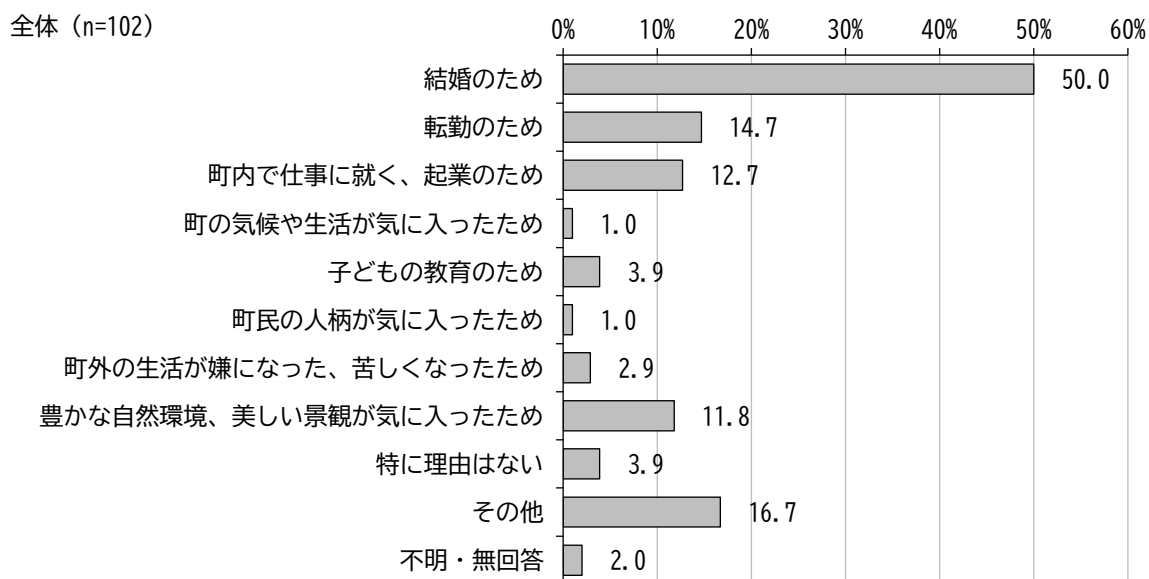
問7で「町外で生まれ育ったが、只見町に引っ越してきた」を選択した方

問12 あなたが只見町へ移住した理由は何ですか。(最大3つまで○)

全体では、「結婚のため」が50.0%と最も高く、次いで「転勤のため」が14.7%、「町内で仕事に就く、起業のため」が12.7%となっています。

性別にみると、男性では「結婚のため」「転勤のため」「町内で仕事に就く、起業のため」、女性では「結婚のため」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「町内で仕事に就く、起業のため」、40歳～49歳では「結婚のため」「転勤のため」、その他の区分では「結婚のため」が最も高くなっています。



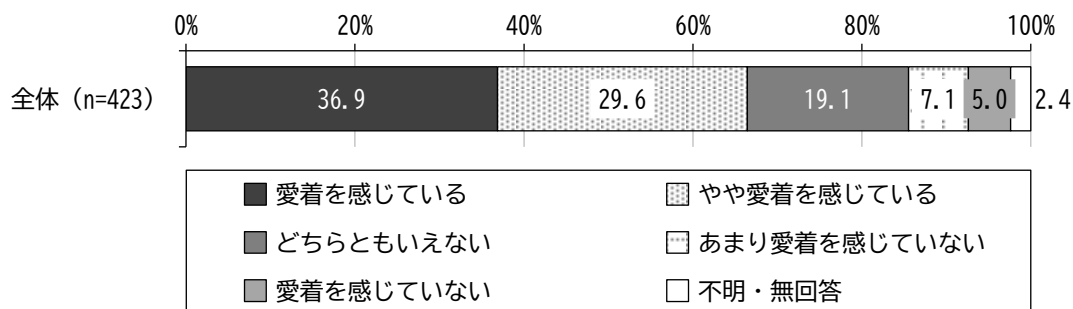
		n	結婚のため	転勤のため	町内、起業の事	町の気候や生活	子どもの教育	町民の人柄	なつたため	町外の生活	美しい景観	豊かな自然環境	特に理由はない	その他	不明・無回答
		%													
全体		102	50.0	14.7	12.7	1.0	3.9	1.0	2.9	11.8	3.9	16.7	2.0		
性別	男性	26	23.1	23.1	23.1	3.8	7.7	-	7.7	15.4	7.7	30.8	3.8		
	女性	71	60.6	11.3	9.9	-	2.8	1.4	-	11.3	1.4	12.7	1.4		
年齢別	18歳～29歳	11	18.2	18.2	27.3	-	-	-	-	9.1	9.1	27.3	-		
	30歳～39歳	14	50.0	7.1	7.1	-	-	7.1	14.3	28.6	-	28.6	-		
	40歳～49歳	16	37.5	37.5	12.5	-	-	-	-	-	-	18.8	6.3		
	50歳～59歳	24	37.5	20.8	20.8	4.2	8.3	-	4.2	16.7	-	12.5	-		
	60歳～64歳	8	87.5	-	-	-	12.5	-	-	-	-	12.5	-		
	65歳～69歳	12	58.3	8.3	16.7	-	8.3	-	-	16.7	8.3	16.7	8.3		
	70歳～74歳	9	88.9	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	-		
75歳以上	7	57.1	-	-	-	-	-	-	-	14.3	28.6	-			

問 13 あなたは今住んでいる地域にどの程度愛着を感じていますか。(1つに○)

全体では、「愛着を感じている」が 36.9%と最も高く、次いで「やや愛着を感じている」が 29.6%、「どちらともいえない」が 19.1%となっています。

性別にみると、男女ともに「愛着を感じている」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳、50歳～59歳では「やや愛着を感じている」、30歳～39歳では「どちらともいえない」、その他の区分では「愛着を感じている」が最も高くなっています。



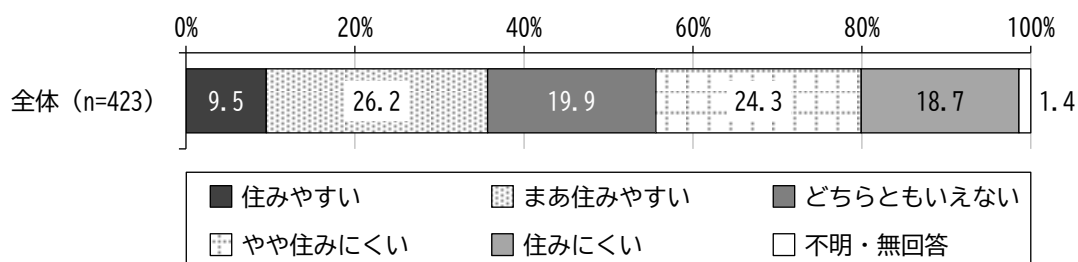
		n	愛着を感じている	やや愛着を感じている	どちらともいえない	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	不明・無回答
%								
全体		423	36.9	29.6	19.1	7.1	5.0	2.4
性別	男性	180	38.3	28.9	17.2	6.1	6.7	2.8
	女性	228	36.8	29.8	19.3	7.9	3.9	2.2
年齢別	18歳～29歳	26	26.9	34.6	26.9	7.7	-	3.8
	30歳～39歳	35	20.0	31.4	37.1	8.6	2.9	-
	40歳～49歳	50	36.0	28.0	18.0	6.0	12.0	-
	50歳～59歳	95	26.3	33.7	21.1	8.4	7.4	3.2
	60歳～64歳	47	38.3	25.5	17.0	12.8	2.1	4.3
	65歳～69歳	77	39.0	32.5	18.2	5.2	3.9	1.3
	70歳～74歳	37	45.9	40.5	5.4	-	5.4	2.7
	75歳以上	53	62.3	11.3	13.2	7.5	1.9	3.8

問 14 只見町は「住みやすいまち」であると思いますか。(1つに○)

全体では、「まあ住みやすい」が26.2%と最も高く、次いで「やや住みにくい」が24.3%、「どちらともいえない」が19.9%となっています。

性別にみると、男性では「やや住みにくい」、女性では「まあ住みやすい」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「どちらともいえない」、30歳～39歳、60歳～64歳では「やや住みにくい」、40歳～49歳、65歳～69歳では「まあ住みやすい」、50歳～59歳では「どちらともいえない」「住みにくい」、70歳～74歳では「まあ住みやすい」「やや住みにくい」、75歳以上では「住みやすい」が最も高くなっています。



		n	住みやすい	まあ住みやすい	どちらともいえない	やや住みにくい	住みにくい	不明・無回答
		%						
全体		423	9.5	26.2	19.9	24.3	18.7	1.4
性別	男性	180	7.8	25.0	21.7	25.6	18.3	1.7
	女性	228	11.4	27.6	17.5	22.8	19.3	1.3
年齢別	18歳～29歳	26	7.7	26.9	38.5	19.2	7.7	-
	30歳～39歳	35	5.7	17.1	20.0	31.4	25.7	-
	40歳～49歳	50	4.0	28.0	22.0	20.0	26.0	-
	50歳～59歳	95	3.2	20.0	26.3	23.2	26.3	1.1
	60歳～64歳	47	6.4	23.4	17.0	31.9	19.1	2.1
	65歳～69歳	77	7.8	36.4	11.7	27.3	14.3	2.6
	70歳～74歳	37	10.8	32.4	16.2	32.4	8.1	-
75歳以上	53	34.0	24.5	13.2	11.3	13.2	3.8	

問 15 あなたが思う只見町の住みやすいところ、住みにくいところを教えてください。

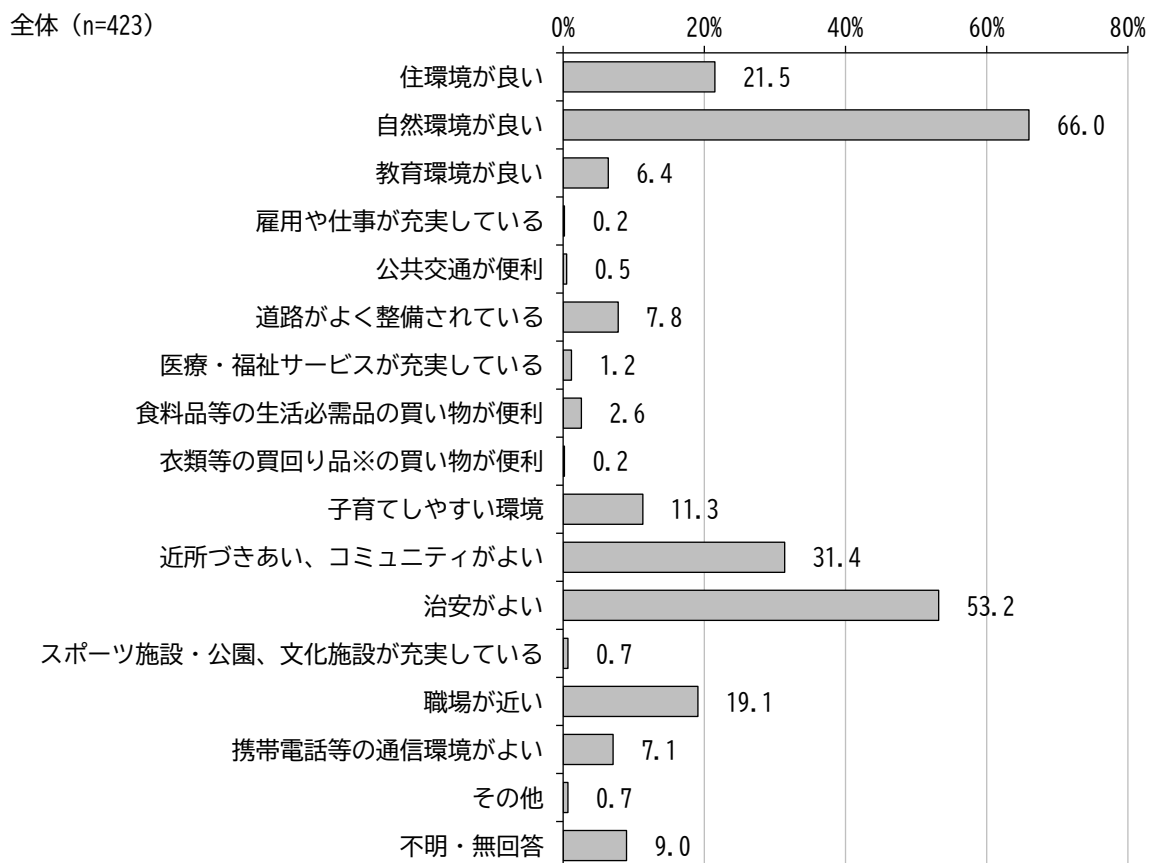
(それぞれ最大5つまで○)

■住みやすいところ

全体では、「自然環境が良い」が 66.0%と最も高く、次いで「治安がよい」が 53.2%、「近所づきあい、コミュニティがよい」が 31.4%となっています。

性別にみると、男女ともに「自然環境が良い」が最も高くなっています。

年齢別にみると、60歳～64歳では「治安がよい」、その他の区分では「自然環境が良い」が最も高くなっています。



		n	住環境が良い	自然環境が良い	教育環境が良い	雇用や仕事 が充実してい る	公共交通が便利	道路がよく整備 されてい る	医療・福祉サ ービスが充 実している	食料品等の生 活必需品の 買い物が便利	衣類等の買 回り品の買 い
		%									
全体		423	21.5	66.0	6.4	0.2	0.5	7.8	1.2	2.6	0.2
性別	男性	180	22.8	63.9	8.3	0.6	0.6	8.3	1.1	2.2	-
	女性	228	20.6	67.1	5.3	-	-	7.5	0.9	2.6	0.4
年齢別	18歳～29歳	26	15.4	69.2	15.4	3.8	-	3.8	-	-	-
	30歳～39歳	35	14.3	62.9	14.3	-	2.9	5.7	2.9	2.9	-
	40歳～49歳	50	18.0	76.0	10.0	-	-	4.0	2.0	4.0	-
	50歳～59歳	95	20.0	61.1	6.3	-	-	4.2	-	-	-
	60歳～64歳	47	8.5	57.4	2.1	-	-	4.3	-	2.1	-
	65歳～69歳	77	33.8	63.6	3.9	-	-	11.7	-	2.6	-
	70歳～74歳	37	24.3	75.7	2.7	-	-	16.2	-	-	-
75歳以上	53	28.3	67.9	3.8	-	1.9	11.3	3.8	9.4	1.9	

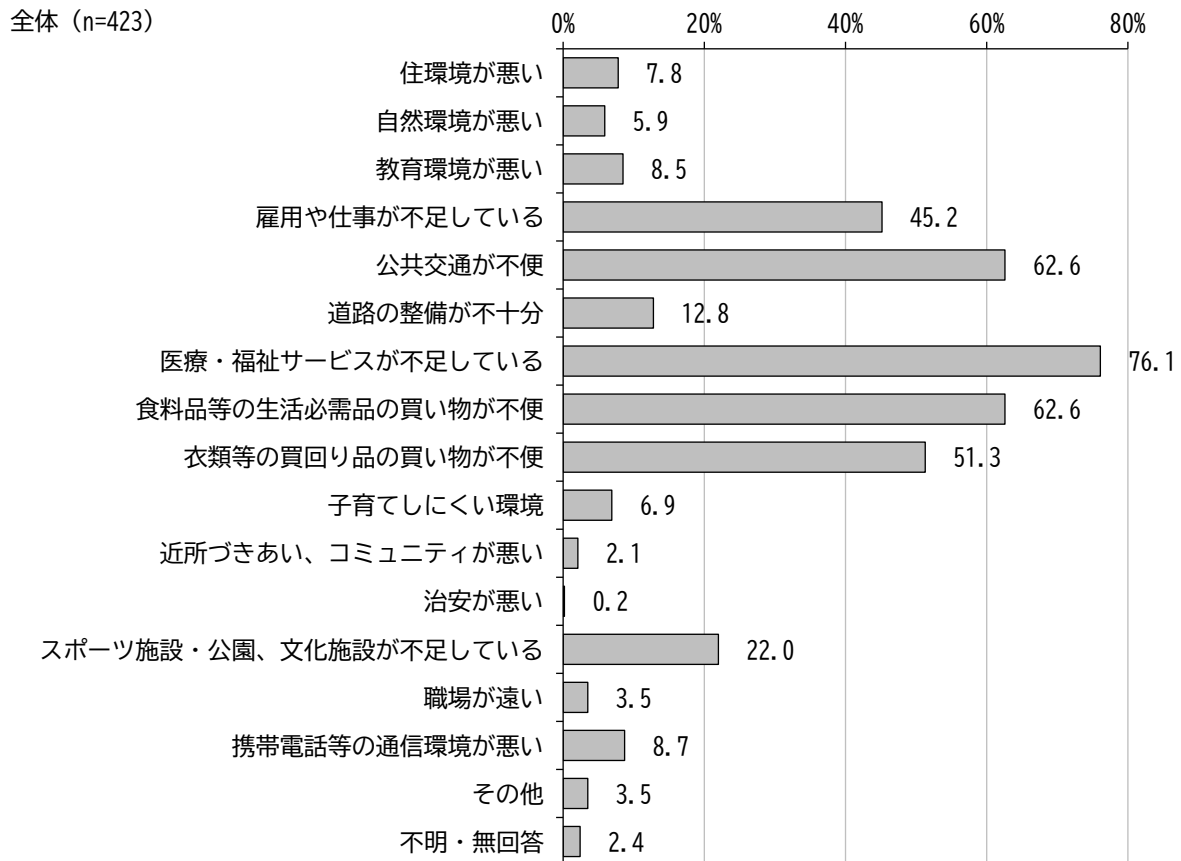
		n	子育てしやすい環境	近所づくり がよい、コ ミュニ	治安がよい	スポーツ施設 ・公園、文 化施設が充 実している	職場が近い	携帯電話等 の通信環境 がよい	その他	不明・無 回答
		%								
全体		423	11.3	31.4	53.2	0.7	19.1	7.1	0.7	9.0
性別	男性	180	12.8	27.2	57.2	0.6	22.2	7.8	1.1	10.6
	女性	228	10.5	35.1	51.3	0.4	16.7	6.6	0.4	8.3
年齢別	18歳～29歳	26	15.4	42.3	57.7	3.8	23.1	-	-	7.7
	30歳～39歳	35	22.9	31.4	54.3	-	28.6	2.9	2.9	2.9
	40歳～49歳	50	20.0	32.0	48.0	-	28.0	2.0	-	8.0
	50歳～59歳	95	12.6	23.2	56.8	1.1	26.3	5.3	-	7.4
	60歳～64歳	47	4.3	19.1	61.7	-	19.1	8.5	-	12.8
	65歳～69歳	77	7.8	37.7	57.1	-	14.3	11.7	1.3	7.8
	70歳～74歳	37	2.7	35.1	51.4	-	5.4	8.1	-	5.4
75歳以上	53	9.4	39.6	39.6	-	7.5	11.3	1.9	18.9	

■住みにくいところ

全体では、「医療・福祉サービスが不足している」が76.1%と最も高く、次いで「公共交通が不便」「食料品等の生活必需品の買い物が不便」が62.6%となっています。

性別にみると、男女ともに「医療・福祉サービスが不足している」が最も高くなっています。

年齢別にみると、75歳以上では「公共交通が不便」「医療・福祉サービスが不足している」、その他の区分では「医療・福祉サービスが不足している」が最も高くなっています。



		n	住環境が悪い	自然環境が悪い	教育環境が悪い	雇用や仕事 が不足してい る	公共交通が不便	道路の整備が不十分	医療・福祉サービスが不足している	食料品等の生活必需品の 買い物が不便	衣類等の買回りの買い物が不便
		%									
全体		423	7.8	5.9	8.5	45.2	62.6	12.8	76.1	62.6	51.3
性別	男性	180	8.3	4.4	5.0	51.7	59.4	18.3	71.1	58.3	46.7
	女性	228	7.9	7.0	11.0	41.7	66.7	7.5	79.8	66.2	55.3
年齢別	18歳～29歳	26	19.2	7.7	7.7	42.3	53.8	19.2	76.9	46.2	42.3
	30歳～39歳	35	8.6	2.9	14.3	48.6	62.9	2.9	65.7	57.1	51.4
	40歳～49歳	50	18.0	10.0	10.0	38.0	60.0	20.0	76.0	62.0	56.0
	50歳～59歳	95	6.3	7.4	9.5	50.5	63.2	16.8	73.7	67.4	52.6
	60歳～64歳	47	6.4	10.6	8.5	55.3	70.2	17.0	89.4	57.4	44.7
	65歳～69歳	77	6.5	3.9	5.2	42.9	62.3	6.5	84.4	66.2	68.8
	70歳～74歳	37	2.7	2.7	8.1	40.5	67.6	13.5	81.1	78.4	45.9
75歳以上	53	1.9	1.9	7.5	39.6	62.3	7.5	62.3	54.7	34.0	

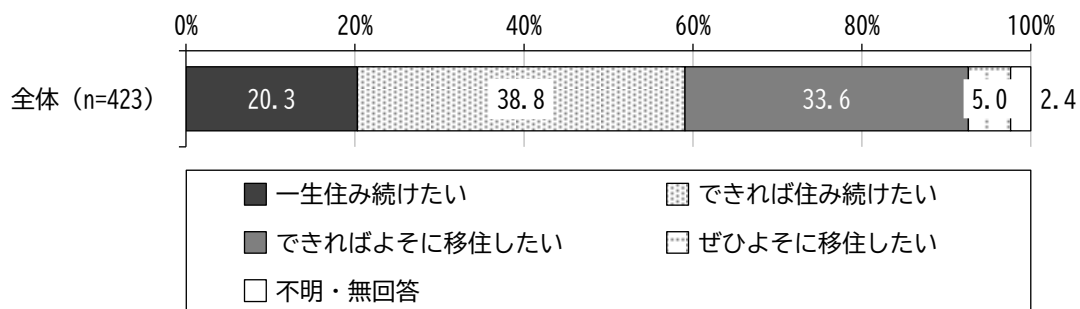
		n	子育てしにくい環境	近所づきあい、 コミュニティが悪い	治安が悪い	スポーツ施設・公園、 文化施設が不足している	職場が遠い	携帯電話等の通信環境が悪い	その他	不明・無回答
		%								
全体		423	6.9	2.1	0.2	22.0	3.5	8.7	3.5	2.4
性別	男性	180	4.4	1.1	-	13.9	1.7	8.9	5.6	2.2
	女性	228	7.9	1.8	0.4	27.6	4.8	8.8	2.2	2.2
年齢別	18歳～29歳	26	7.7	-	-	11.5	3.8	7.7	-	-
	30歳～39歳	35	20.0	5.7	-	34.3	-	14.3	11.4	-
	40歳～49歳	50	12.0	4.0	-	26.0	2.0	6.0	2.0	-
	50歳～59歳	95	6.3	1.1	-	22.1	4.2	13.7	3.2	1.1
	60歳～64歳	47	4.3	-	-	19.1	6.4	12.8	-	-
	65歳～69歳	77	2.6	2.6	-	22.1	2.6	7.8	5.2	-
	70歳～74歳	37	5.4	-	-	24.3	2.7	2.7	-	2.7
75歳以上	53	3.8	1.9	1.9	13.2	3.8	1.9	5.7	13.2	

問 16 あなたは只見町に住み続けたいですか。(1つに○)

全体では、「できれば住み続けたい」が 38.8%と最も高く、次いで「できればよそに移住したい」が 33.6%、「一生住み続けたい」が 20.3%となっています。

性別にみると、男女ともに「できれば住み続けたい」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳、60歳～64歳では「できればよそに移住したい」、75歳以上では「一生住み続けたい」、その他の区分では「できれば住み続けたい」が最も高くなっています。



		n	一生住み続けたい	できれば住み続けたい	できればよそに移住したい	ぜひよそに移住したい	不明・無回答
		%					
全体		423	20.3	38.8	33.6	5.0	2.4
性別	男性	180	23.3	36.7	32.2	5.6	2.2
	女性	228	18.9	40.4	33.8	4.8	2.2
年齢別	18歳～29歳	26	7.7	38.5	50.0	3.8	-
	30歳～39歳	35	2.9	48.6	40.0	8.6	-
	40歳～49歳	50	10.0	46.0	28.0	14.0	2.0
	50歳～59歳	95	13.7	42.1	36.8	5.3	2.1
	60歳～64歳	47	10.6	36.2	42.6	8.5	2.1
	65歳～69歳	77	27.3	39.0	32.5	-	1.3
	70歳～74歳	37	27.0	37.8	35.1	-	-
	75歳以上	53	54.7	22.6	13.2	1.9	7.5

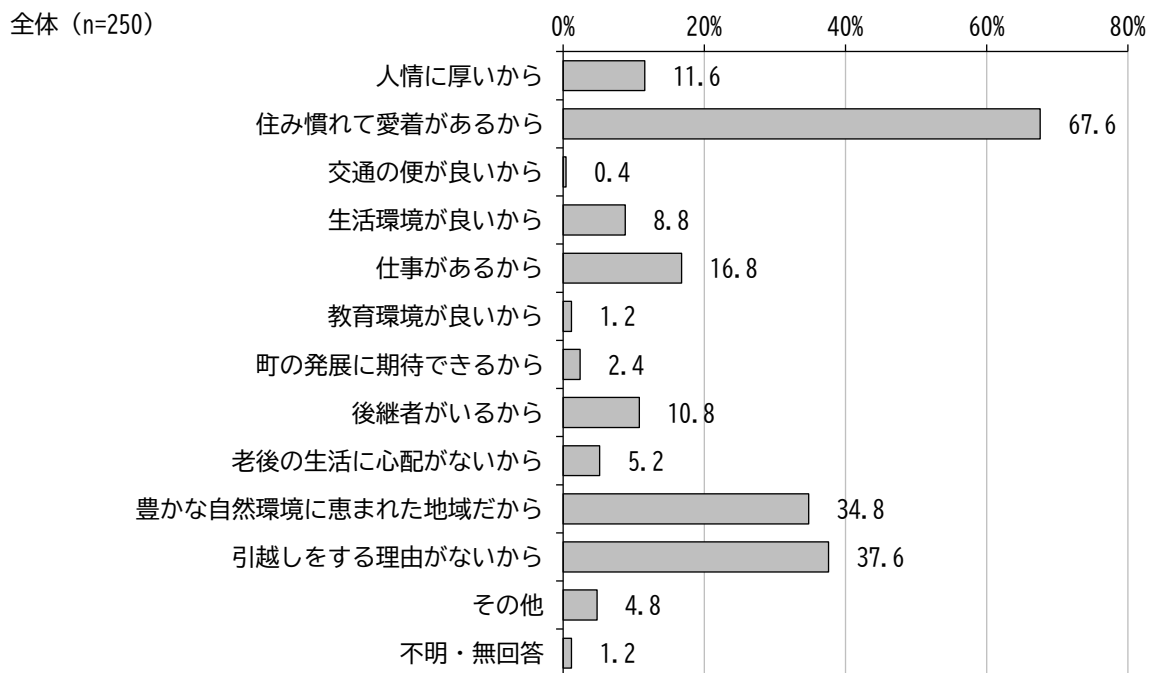
問 16 で「一生住み続けたい」または「できれば住み続けたい」を選択した方

問 17 その理由は何ですか。(最大3つまで○)

全体では、「住み慣れて愛着があるから」が 67.6%と最も高く、次いで「引越しをする理由がないから」が 37.6%、「豊かな自然環境に恵まれた地域だから」が 34.8%となっています。

性別にみると、男女ともに「住み慣れて愛着があるから」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「住み慣れて愛着があるから」「引越しをする理由がないから」、30歳～39歳では「住み慣れて愛着があるから」「仕事があるから」、その他の区分では「住み慣れて愛着があるから」が最も高くなっています。



		n	人情に厚いから	住み慣れて愛着があるから	交通の便が良いから	生活環境が良いから	仕事があるから	教育環境が良いから	町の発展に期待できるから
		%							
全体		250	11.6	67.6	0.4	8.8	16.8	1.2	2.4
性別	男性	108	9.3	65.7	-	7.4	14.8	0.9	2.8
	女性	135	14.1	69.6	0.7	9.6	17.8	1.5	2.2
年齢別	18歳～29歳	12	16.7	50.0	-	8.3	25.0	-	8.3
	30歳～39歳	18	11.1	44.4	-	11.1	44.4	5.6	5.6
	40歳～49歳	28	7.1	64.3	-	7.1	28.6	3.6	-
	50歳～59歳	53	15.1	62.3	-	3.8	26.4	-	1.9
	60歳～64歳	22	4.5	59.1	4.5	9.1	-	-	9.1
	65歳～69歳	51	3.9	68.6	-	13.7	9.8	2.0	-
	70歳～74歳	24	12.5	79.2	-	12.5	12.5	-	4.2
	75歳以上	41	22.0	87.8	-	7.3	2.4	-	-

		n	後継者がいるから	老後の生活に心配がないから	豊かな自然環境に恵まれた地域だから	引越しをする理由がないから	その他	不明・無回答
		%						
全体		250	10.8	5.2	34.8	37.6	4.8	1.2
性別	男性	108	11.1	4.6	34.3	46.3	4.6	-
	女性	135	11.1	5.9	33.3	31.9	5.2	2.2
年齢別	18歳～29歳	12	-	-	41.7	50.0	-	-
	30歳～39歳	18	-	-	27.8	27.8	16.7	-
	40歳～49歳	28	-	3.6	42.9	21.4	7.1	-
	50歳～59歳	53	1.9	1.9	32.1	45.3	-	-
	60歳～64歳	22	4.5	-	31.8	50.0	13.6	-
	65歳～69歳	51	17.6	7.8	31.4	37.3	5.9	3.9
	70歳～74歳	24	20.8	4.2	45.8	33.3	4.2	-
	75歳以上	41	26.8	14.6	31.7	34.1	-	2.4

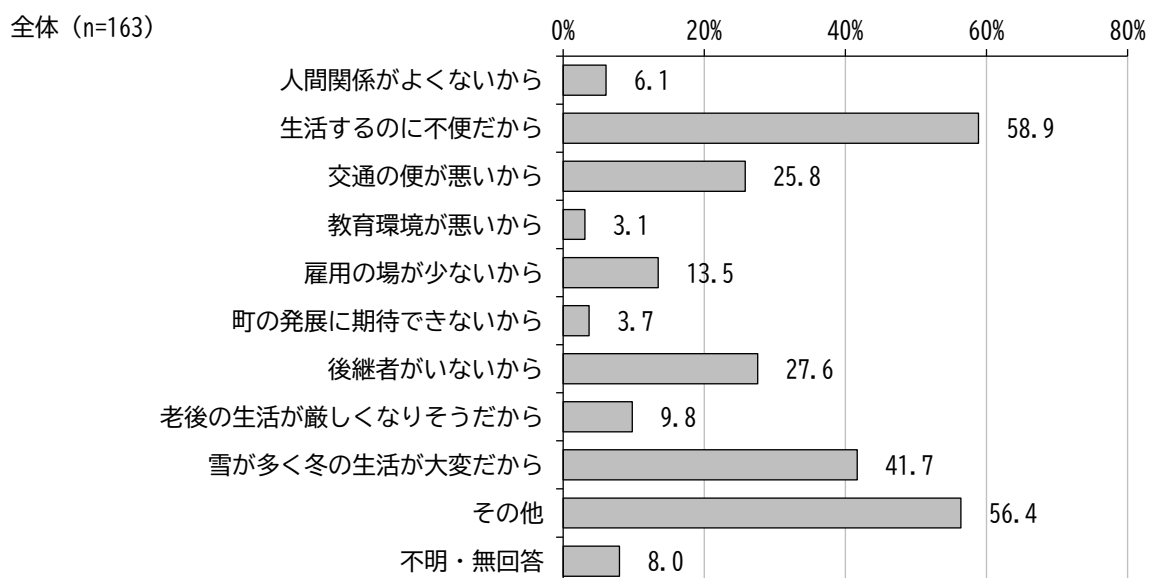
問 16 で「できればよそに移住したい」または「ぜひよそに移住したい」を選択した方

問 18 その理由は何ですか。(最大3つまで○)

全体では、「生活するのに不便だから」が 58.9%と最も高く、次いで「雪が多く冬の生活が大変だから」が 41.7%、「後継者がいないから」が 27.6%となっています。

性別にみると、男女ともに「生活するのに不便だから」が最も高くなっています。

年齢別にみると、50歳～59歳、65歳～69歳では「雪が多く冬の生活が大変だから」、その他の区分では「生活するのに不便だから」が最も高くなっています。



		n	人間関係がよくないから	生活するのに不便だから	交通の便が悪いから	教育環境が悪いから	雇用の場が少ないから	町の発展に期待できないから	後継者がいないから	老後の生活が厳しくなりそうだから	雪が多く冬の生活が大変だから	その他	不明・無回答
		%											
全体		163	6.1	58.9	25.8	3.1	13.5	3.7	27.6	9.8	41.7	56.4	8.0
性別	男性	68	7.4	60.3	25.0	1.5	13.2	1.5	22.1	8.8	47.1	54.4	7.4
	女性	88	4.5	55.7	28.4	4.5	13.6	4.5	30.7	10.2	39.8	58.0	9.1
年齢別	18歳～29歳	14	-	78.6	14.3	7.1	35.7	-	21.4	-	7.1	35.7	-
	30歳～39歳	17	17.6	70.6	17.6	11.8	11.8	23.5	35.3	-	29.4	29.4	-
	40歳～49歳	21	9.5	57.1	28.6	-	14.3	-	19.0	-	47.6	61.9	9.5
	50歳～59歳	40	2.5	47.5	20.0	5.0	12.5	2.5	27.5	10.0	50.0	60.0	12.5
	60歳～64歳	24	8.3	79.2	25.0	-	12.5	-	25.0	16.7	54.2	54.2	8.3
	65歳～69歳	25	4.0	40.0	36.0	-	4.0	-	36.0	24.0	48.0	64.0	12.0
	70歳～74歳	13	-	53.8	23.1	-	7.7	-	38.5	7.7	23.1	76.9	7.7
	75歳以上	8	12.5	62.5	62.5	-	25.0	12.5	12.5	-	50.0	62.5	-

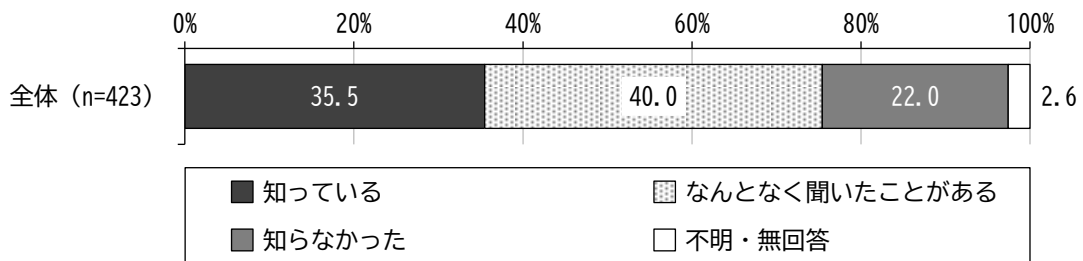
3 人口減少について

問 19 只見町の人口は昭和 30 年をピークに減少し続けており、令和 2 年（2020 年）の国勢調査時点で 4,044 人となっていますが、国立社会保障・人口問題研究所の推計結果によると、2040 年には 2,608 人に減少するとされています。あなたはこの推計結果を知っていましたか。
（1 つに○）

全体では、「なんとなく聞いたことがある」が 40.0%と最も高く、次いで「知っている」が 35.5%、「知らなかった」が 22.0%となっています。

性別にみると、男性では「知っている」、女性では「なんとなく聞いたことがある」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18 歳～29 歳では「知らなかった」、40 歳～49 歳では「知っている」「なんとなく聞いたことがある」、65 歳～69 歳では「知っている」、その他の区分では「なんとなく聞いたことがある」が最も高くなっています。



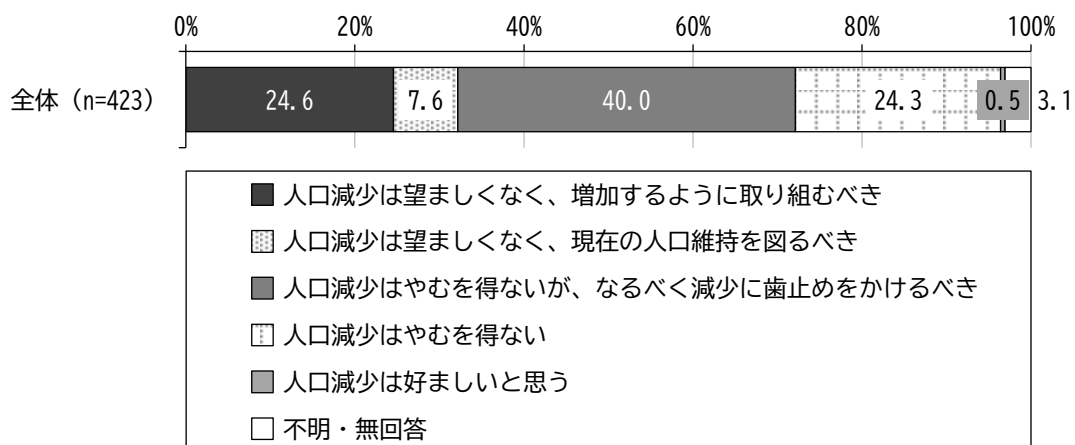
		n	知っている	なんとなく聞いたことがある	知らなかった	不明・無回答
		%				
全体		423	35.5	40.0	22.0	2.6
性別	男性	180	41.7	37.8	17.8	2.8
	女性	228	31.1	40.4	25.9	2.6
年齢別	18歳～29歳	26	23.1	34.6	42.3	-
	30歳～39歳	35	34.3	40.0	25.7	-
	40歳～49歳	50	42.0	42.0	16.0	-
	50歳～59歳	95	36.8	41.1	20.0	2.1
	60歳～64歳	47	31.9	36.2	29.8	2.1
	65歳～69歳	77	42.9	36.4	16.9	3.9
	70歳～74歳	37	32.4	40.5	21.6	5.4
	75歳以上	53	28.3	45.3	20.8	5.7

問 20 只見町の人口が減少することについて、あなたの考えに最も近いものをお選びください。
(1つに○)

全体では、「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」が40.0%と最も高く、次いで「人口減少は望ましくなく、増加するように取り組むべき」が24.6%、「人口減少はやむを得ない」が24.3%となっています。

性別にみると、男女ともに「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」が最も高くなっています。

年齢別にみると、40歳～49歳では「人口減少はやむを得ない」、75歳以上では「人口減少は望ましくなく、増加するように取り組むべき」、その他の区分では「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」が最も高くなっています。



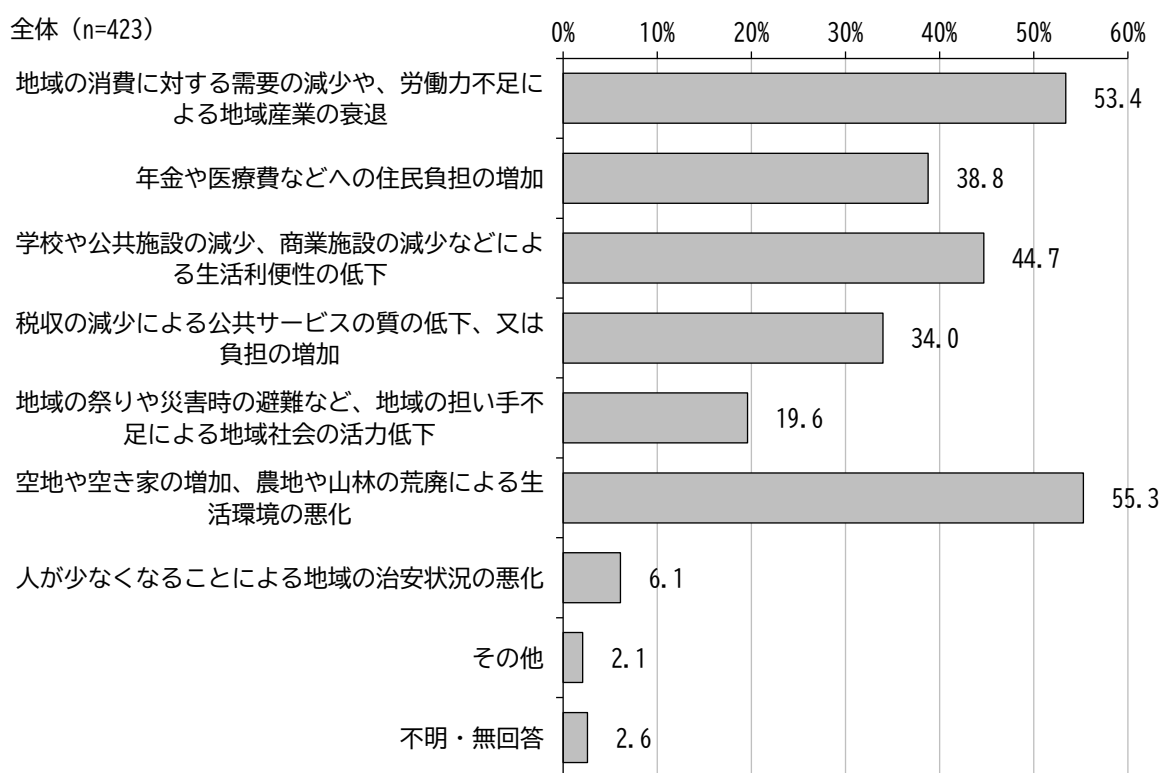
	n	人口減少は望ましくなく、増加する	人口減少は望ましくなく、現在の人口維持を図るべき	人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき	人口減少はやむを得ない	人口減少は好ましいと思う	不明・無回答
		%	%	%	%	%	%
全体	423	24.6	7.6	40.0	24.3	0.5	3.1
性別							
男性	180	23.3	8.3	38.3	25.0	1.1	3.9
女性	228	24.1	7.0	41.7	24.6	-	2.6
年齢別							
18歳～29歳	26	11.5	3.8	46.2	30.8	3.8	3.8
30歳～39歳	35	20.0	5.7	40.0	34.3	-	-
40歳～49歳	50	20.0	10.0	34.0	36.0	-	-
50歳～59歳	95	20.0	4.2	42.1	31.6	-	2.1
60歳～64歳	47	19.1	6.4	38.3	34.0	-	2.1
65歳～69歳	77	28.6	7.8	42.9	14.3	-	6.5
70歳～74歳	37	32.4	5.4	48.6	10.8	-	2.7
75歳以上	53	39.6	15.1	30.2	7.5	1.9	5.7

問 21 今後、只見町の人口がさらに減少することにより、あなたはどのような影響を心配あるいは不安に感じていますか。(最大3つまで○)

全体では、「空地や空き家の増加、農地や山林の荒廃による生活環境の悪化」が 55.3%と最も高く、次いで「地域の消費に対する需要の減少や、労働力不足による地域産業の衰退」が 53.4%、「学校や公共施設の減少、商業施設の減少などによる生活利便性の低下」が 44.7%となっています。

性別にみると、男性では「地域の消費に対する需要の減少や、労働力不足による地域産業の衰退」「空地や空き家の増加、農地や山林の荒廃による生活環境の悪化」、女性では「空地や空き家の増加、農地や山林の荒廃による生活環境の悪化」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「学校や公共施設の減少、商業施設の減少などによる生活利便性の低下」、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳では「地域の消費に対する需要の減少や、労働力不足による地域産業の衰退」、その他の区分では「空地や空き家の増加、農地や山林の荒廃による生活環境の悪化」が最も高くなっています。



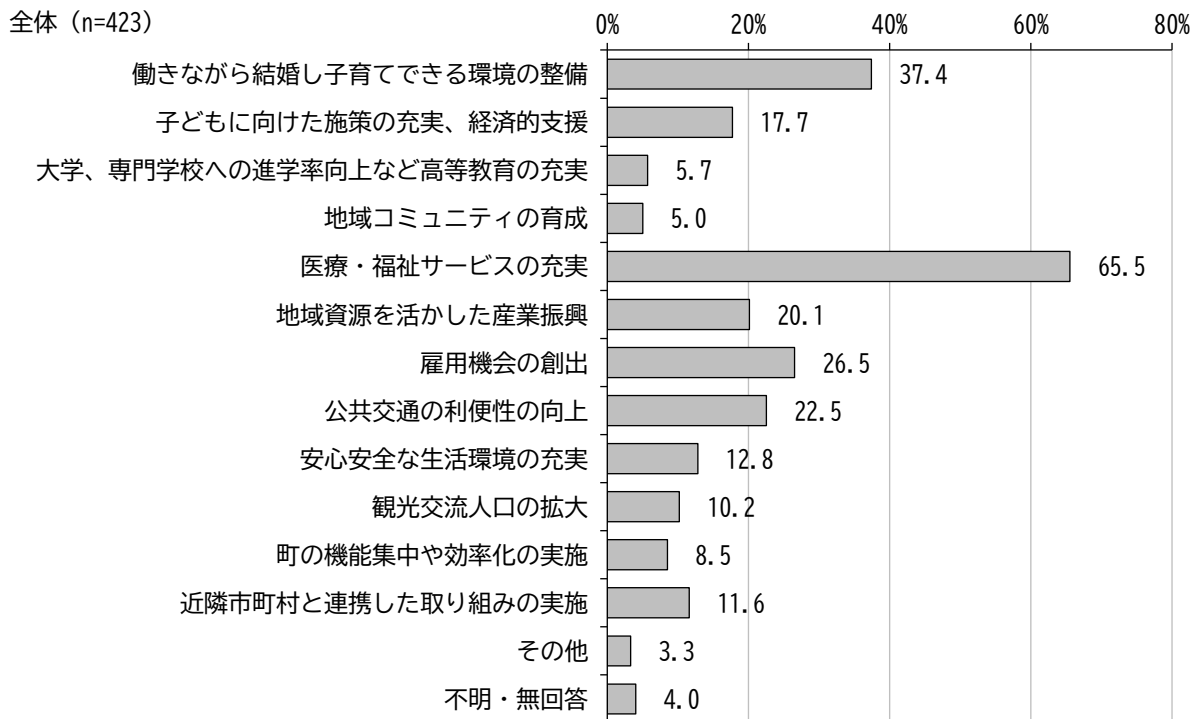
	n	地域減少や産業の衰退	地域の消費に対する需要の	負担の増加	年金や医療費などへの住民	活利便性の低下	学校や公共施設の減少、商業施設の減少などによる生	の増加	税収の減少による公共負担	よる地域の活力低下	地域の祭りや災害時の避難	境の悪化	や山地や空き家の増加、農地	空域の治安状況の悪化	人が少なくなることによる	その他	不明・無回答
	%																
全体	423	53.4	38.8	44.7	34.0	19.6	55.3	6.1	2.1	2.6							
性別	男性	180	56.1	35.0	45.6	31.7	18.3	56.1	5.6	3.3	3.9						
	女性	228	51.8	39.9	45.2	36.4	20.6	54.4	6.6	0.9	1.3						
年齢別	18歳～29歳	26	46.2	23.1	57.7	26.9	15.4	42.3	3.8	-	3.8						
	30歳～39歳	35	62.9	37.1	48.6	34.3	14.3	40.0	5.7	8.6	-						
	40歳～49歳	50	66.0	42.0	54.0	28.0	22.0	54.0	-	2.0	-						
	50歳～59歳	95	61.1	40.0	42.1	35.8	15.8	52.6	5.3	1.1	1.1						
	60歳～64歳	47	44.7	36.2	40.4	40.4	17.0	63.8	2.1	4.3	-						
	65歳～69歳	77	48.1	42.9	41.6	40.3	26.0	54.5	11.7	1.3	6.5						
	70歳～74歳	37	48.6	29.7	43.2	35.1	32.4	64.9	2.7	-	5.4						
75歳以上	53	45.3	43.4	43.4	26.4	15.1	64.2	11.3	1.9	1.9							

問 22 人口減少を抑えるために、只見町ではどのような対策をとることが大事だと思いますか。
 (最大3つまで○)

全体では、「医療・福祉サービスの充実」が 65.5%と最も高く、次いで「働きながら結婚し子育てできる環境の整備」が 37.4%、「雇用機会の創出」が 26.5%となっています。

性別にみると、男女ともに「医療・福祉サービスの充実」が最も高くなっています。

年齢別にみると、すべての区分で「医療・福祉サービスの充実」が最も高くなっています。



		n	備育働の子の進大育の医産地雇	育てきなども学学成療業域用	育てきなども学学成療業域用	育てきなども学学成療業域用	育てきなども学学成療業域用	育てきなども学学成療業域用	育てきなども学学成療業域用
		%	育てきなども学学成療業域用	育てきなども学学成療業域用	育てきなども学学成療業域用	育てきなども学学成療業域用	育てきなども学学成療業域用	育てきなども学学成療業域用	育てきなども学学成療業域用
全体		423	37.4	17.7	5.7	5.0	65.5	20.1	26.5
性別	男性	180	32.8	16.1	2.8	5.0	56.1	20.6	31.1
	女性	228	40.4	19.3	8.3	5.3	71.9	19.7	23.2
年齢別	18歳～29歳	26	46.2	30.8	7.7	11.5	69.2	-	11.5
	30歳～39歳	35	42.9	45.7	8.6	-	57.1	17.1	31.4
	40歳～49歳	50	40.0	22.0	6.0	6.0	58.0	22.0	26.0
	50歳～59歳	95	30.5	17.9	5.3	7.4	68.4	23.2	29.5
	60歳～64歳	47	29.8	10.6	6.4	8.5	70.2	23.4	29.8
	65歳～69歳	77	40.3	10.4	2.6	2.6	66.2	23.4	31.2
	70歳～74歳	37	27.0	13.5	8.1	5.4	56.8	24.3	21.6
	75歳以上	53	50.9	9.4	5.7	-	69.8	15.1	20.8

		n	向公の安観化町のた近そ不	向公の安観化町のた近そ不	向公の安観化町のた近そ不	向公の安観化町のた近そ不	向公の安観化町のた近そ不	向公の安観化町のた近そ不	
		%	向公の安観化町のた近そ不	向公の安観化町のた近そ不	向公の安観化町のた近そ不	向公の安観化町のた近そ不	向公の安観化町のた近そ不	向公の安観化町のた近そ不	
全体		423	22.5	12.8	10.2	8.5	11.6	3.3	4.0
性別	男性	180	21.1	10.6	11.7	7.8	13.3	5.6	6.7
	女性	228	23.7	14.0	9.2	8.3	10.1	1.8	2.2
年齢別	18歳～29歳	26	26.9	15.4	7.7	7.7	3.8	-	7.7
	30歳～39歳	35	20.0	5.7	11.4	11.4	14.3	2.9	2.9
	40歳～49歳	50	20.0	12.0	12.0	10.0	12.0	6.0	-
	50歳～59歳	95	21.1	15.8	10.5	5.3	7.4	6.3	3.2
	60歳～64歳	47	23.4	6.4	14.9	10.6	12.8	4.3	2.1
	65歳～69歳	77	20.8	10.4	6.5	10.4	14.3	-	6.5
	70歳～74歳	37	32.4	18.9	10.8	13.5	8.1	2.7	5.4
	75歳以上	53	20.8	15.1	7.5	1.9	17.0	1.9	5.7

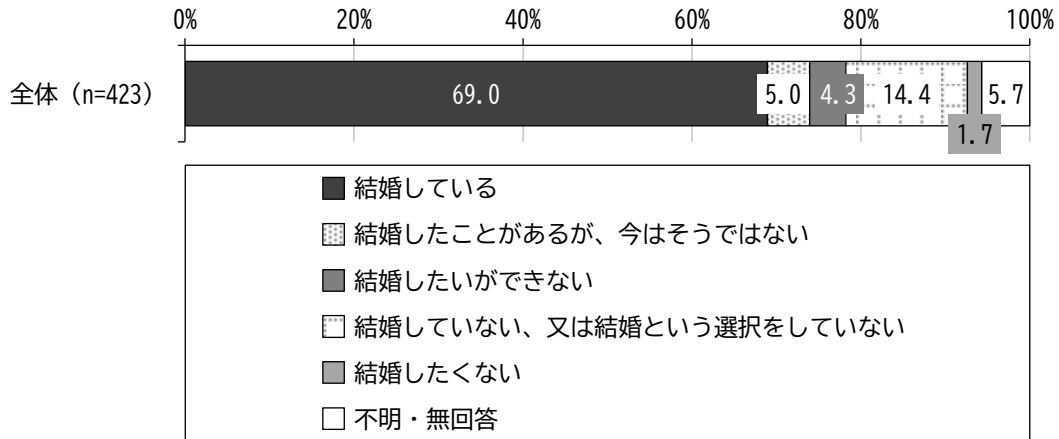
4 結婚・出産・子育てについて

問 23 あなたは結婚していますか。(1つに○)

全体では、「結婚している」が 69.0%と最も高く、次いで「結婚していない、又は結婚という選択をしていない」が 14.4%、「結婚したことがあるが、今はそうではない」が 5.0%となっています。

性別にみると、男女ともに「結婚している」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「結婚していない、又は結婚という選択をしていない」、その他の区分では「結婚している」が最も高くなっています。



		n	結婚している	はるが結婚しない	結婚したことがあるが、今はそうではない	結婚したいができない	又は結婚していいという選択	結婚したくない	不明・無回答
		%							
全体		423	69.0	5.0	4.3	14.4	1.7	5.7	
性別	男性	180	59.4	6.1	5.0	21.1	2.8	5.6	
	女性	228	78.5	3.9	3.1	8.3	0.4	5.7	
年齢別	18歳～29歳	26	11.5	3.8	11.5	69.2	3.8	-	
	30歳～39歳	35	62.9	2.9	14.3	14.3	5.7	-	
	40歳～49歳	50	66.0	4.0	12.0	16.0	2.0	-	
	50歳～59歳	95	71.6	11.6	3.2	12.6	-	1.1	
	60歳～64歳	47	78.7	2.1	2.1	10.6	4.3	2.1	
	65歳～69歳	77	76.6	1.3	-	11.7	1.3	9.1	
	70歳～74歳	37	86.5	2.7	-	5.4	-	5.4	
	75歳以上	53	69.8	3.8	-	3.8	-	22.6	

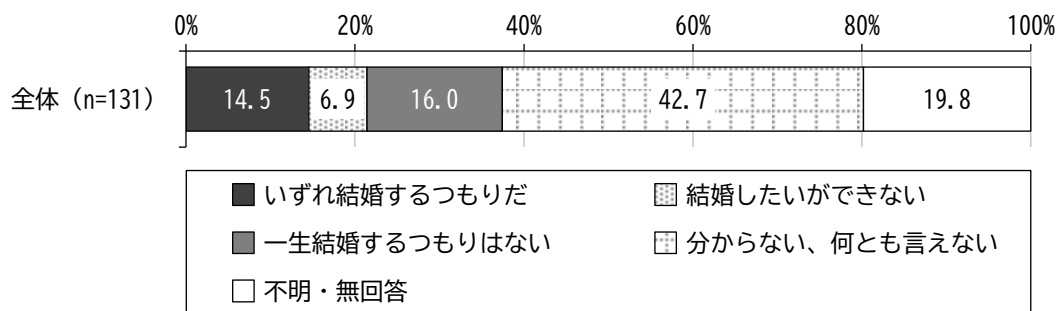
問 23 で「結婚している」以外を選択した方

問 24 あなたは今後結婚したいと思いますか。(1つに○)

全体では、「分からない、何とも言えない」が 42.7%と最も高く、次いで「一生結婚するつもりはない」が 16.0%、「いずれ結婚するつもりだ」が 14.5%となっています。

性別にみると、男女ともに「分からない、何とも言えない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「いずれ結婚するつもりだ」「分からない、何とも言えない」、75歳以上では「一生結婚するつもりはない」、その他の区分では「分からない、何とも言えない」が最も高くなっています。



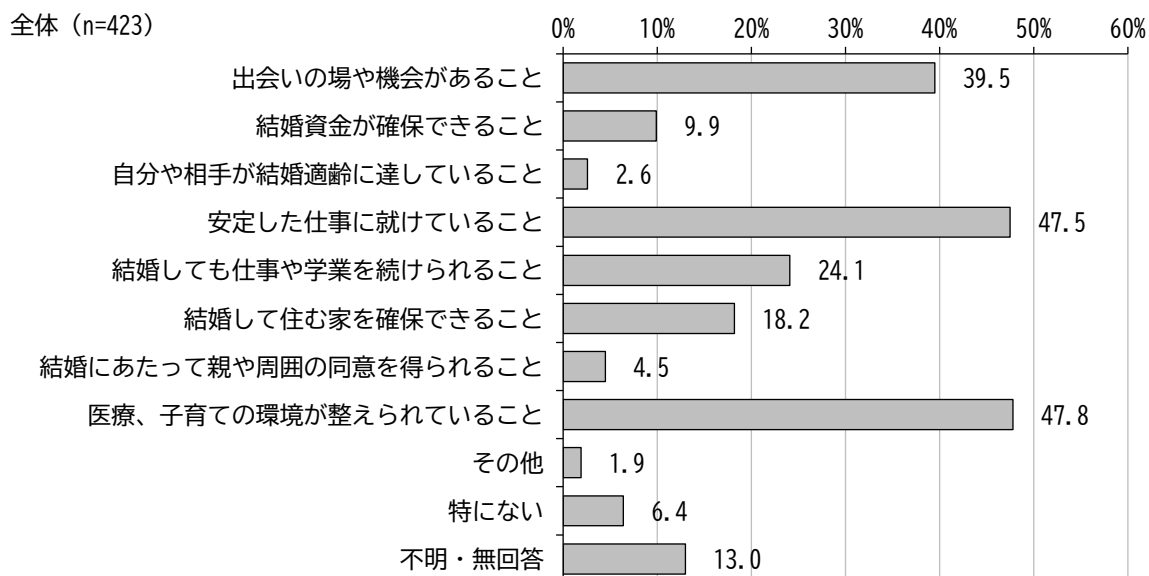
	n	もい りず だれ 結 婚 す る つ	な 結 婚 し た い が で き	り一 は生 結 婚 す る つ も	も分 言 か ら な い、 何 と	不 明 ・ 無 回 答
全体	131	14.5	6.9	16.0	42.7	19.8
性別						
男性	73	12.3	6.8	20.5	46.6	13.7
女性	49	20.4	6.1	8.2	34.7	30.6
年齢別						
18歳～29歳	23	47.8	-	4.3	47.8	-
30歳～39歳	13	23.1	15.4	7.7	53.8	-
40歳～49歳	17	17.6	29.4	11.8	41.2	-
50歳～59歳	27	7.4	7.4	11.1	66.7	7.4
60歳～64歳	10	-	-	40.0	50.0	10.0
65歳～69歳	18	-	-	27.8	33.3	38.9
70歳～74歳	5	-	-	20.0	20.0	60.0
75歳以上	16	-	-	25.0	-	75.0

問 25 あなたは結婚するためにはどのような条件が必要だと思いますか。(最大3つまで○)

全体では、「医療、子育ての環境が整えられていること」が 47.8%と最も高く、次いで「安定した仕事に就けていること」が 47.5%、「出会いの場や機会があること」が 39.5%となっています。

性別にみると、男性では「安定した仕事に就けていること」、女性では「医療、子育ての環境が整えられていること」が最も高くなっています。

年齢別にみると、30歳～39歳では「安定した仕事に就けていること」「医療、子育ての環境が整えられていること」、40歳～49歳、50歳～59歳、60歳～64歳では「医療、子育ての環境が整えられていること」、その他の区分では「安定した仕事に就けていること」が最も高くなっています。



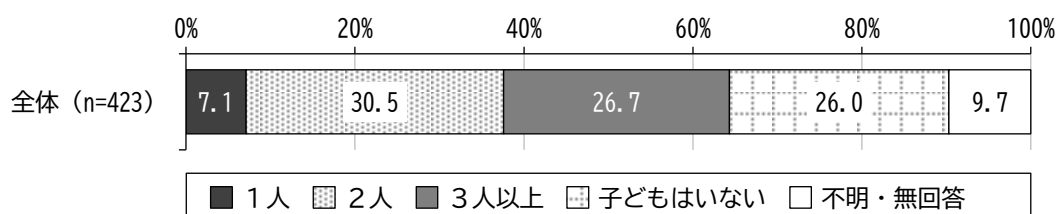
	n	条件										
		出会いの場や機会	結婚資金が確保できること	自分や相手が結婚適齢に達していること	安定した仕事に就けていること	結婚しても仕事や学業を続けられること	結婚して住む家を確保できること	結婚にあたって親や周囲の同意を得られること	医療、子育ての環境が整えられていること	その他	特にない	不明・無回答
全体	423	39.5	9.9	2.6	47.5	24.1	18.2	4.5	47.8	1.9	6.4	13.0
性別												
男性	180	40.6	11.1	3.3	46.7	18.9	12.2	3.9	40.6	3.9	10.0	15.0
女性	228	39.9	7.9	1.8	47.8	28.9	21.5	4.8	53.5	0.4	3.9	11.4
年齢別												
18歳～29歳	26	30.8	34.6	7.7	50.0	23.1	30.8	19.2	38.5	-	3.8	7.7
30歳～39歳	35	40.0	22.9	2.9	45.7	22.9	28.6	5.7	45.7	11.4	8.6	2.9
40歳～49歳	50	42.0	14.0	2.0	50.0	34.0	22.0	6.0	54.0	-	6.0	4.0
50歳～59歳	95	35.8	7.4	6.3	41.1	20.0	16.8	3.2	50.5	1.1	10.5	8.4
60歳～64歳	47	42.6	10.6	2.1	51.1	19.1	14.9	2.1	68.1	-	2.1	10.6
65歳～69歳	77	40.3	5.2	-	48.1	20.8	16.9	2.6	44.2	2.6	9.1	19.5
70歳～74歳	37	48.6	5.4	-	62.2	32.4	21.6	2.7	45.9	-	-	13.5
75歳以上	53	39.6	-	-	41.5	28.3	3.8	1.9	32.1	1.9	3.8	30.2

問 26 あなたは、現在お子さんはいますか。(1つに○)

全体では、「2人」が30.5%と最も高く、次いで「3人以上」が26.7%、「子どもはいない」が26.0%となっています。

性別にみると、男性では「子どもはいない」、女性では「2人」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳では「子どもはいない」、50歳～59歳、70歳～74歳、75歳以上では「2人」、60歳～64歳、65歳～69歳では「3人以上」が最も高くなっています。



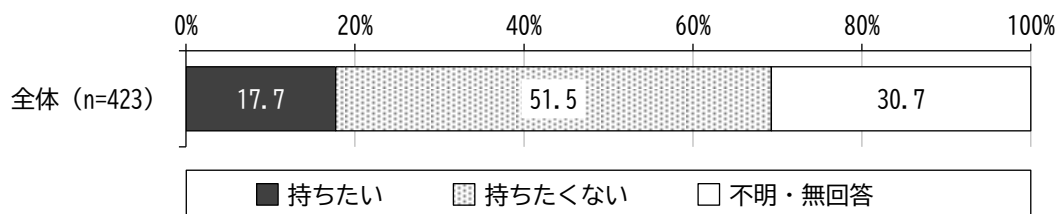
		n	1人	2人	3人以上	子どもはいない	不明・無回答
			%				
全体		423	7.1	30.5	26.7	26.0	9.7
性別	男性	180	6.7	22.8	23.9	35.0	11.7
	女性	228	7.5	37.7	30.3	16.7	7.9
年齢別	18歳～29歳	26	-	11.5	3.8	80.8	3.8
	30歳～39歳	35	17.1	28.6	11.4	37.1	5.7
	40歳～49歳	50	2.0	32.0	28.0	38.0	-
	50歳～59歳	95	8.4	34.7	24.2	26.3	6.3
	60歳～64歳	47	10.6	23.4	40.4	17.0	8.5
	65歳～69歳	77	3.9	26.0	35.1	22.1	13.0
	70歳～74歳	37	2.7	43.2	35.1	10.8	8.1
	75歳以上	53	11.3	35.8	22.6	3.8	26.4

問 27 あなたは今後、(お子さんがいる方はさらに) 子どもを持つことを望んでいますか。
(1つに○)

全体では、「持ちたい」が17.7%、「持ちたくない」が51.5%となっています。

性別にみると、男女ともに「持ちたくない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「持ちたい」、その他の区分では「持ちたくない」が最も高くなっています。



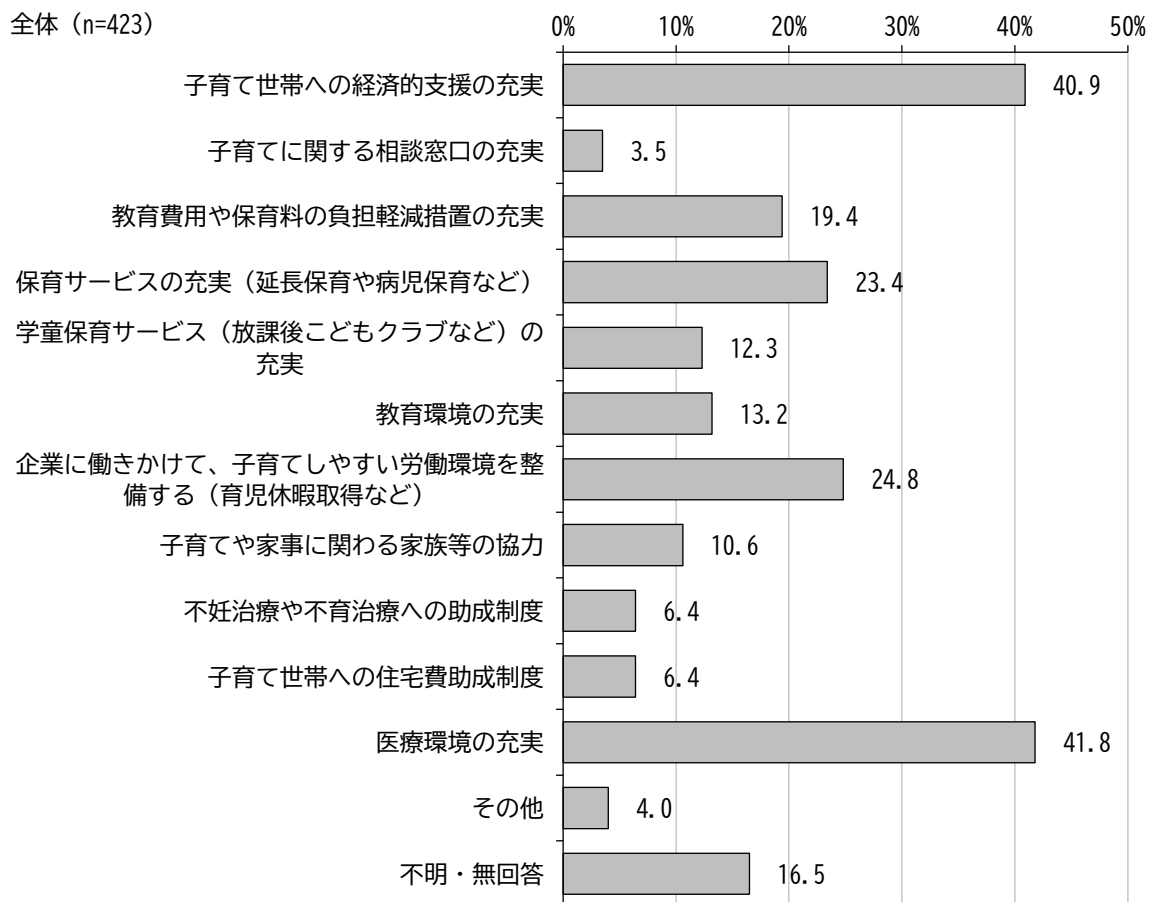
		n	持ちたい	持ちたくない	不明・無回答
		%			
全体		423	17.7	51.5	30.7
性別	男性	180	16.1	57.2	26.7
	女性	228	19.3	47.4	33.3
年齢別	18歳～29歳	26	65.4	26.9	7.7
	30歳～39歳	35	42.9	51.4	5.7
	40歳～49歳	50	22.0	72.0	6.0
	50歳～59歳	95	10.5	69.5	20.0
	60歳～64歳	47	8.5	66.0	25.5
	65歳～69歳	77	9.1	42.9	48.1
	70歳～74歳	37	10.8	29.7	59.5
	75歳以上	53	11.3	30.2	58.5

問 28 あなたは、どの様な取組みがあれば子どもを産み育てたいと思う方が増えると考えますか。
 (最大3つまで○)

全体では、「医療環境の充実」が 41.8%と最も高く、次いで「子育て世帯への経済的支援の充実」が 40.9%、「企業に働きかけて、子育てしやすい労働環境を整備する（育児休暇取得など）」が 24.8%となっています。

性別にみると、男性では「子育て世帯への経済的支援の充実」、女性では「医療環境の充実」が最も高くなっています。

年齢別にみると、50歳～59歳では「子育て世帯への経済的支援の充実」「医療環境の充実」、40歳～49歳、60歳～64歳、65歳～69歳では「医療環境の充実」、その他の区分では「子育て世帯への経済的支援の充実」が最も高くなっています。



		n	子育て世帯への経済的支援の充実	子育てに関する相談窓口の充実	教育費用や保育料の負担軽減措置の充実	保育サービスや病児保育など（延長保育）の充実	学童保育サービス（放課後子どもクラブなど）の充実	教育環境の充実	企業に働きかけて、子育てしやすい労働環境を整備する（育児休暇取得など）
		%							
全体		423	40.9	3.5	19.4	23.4	12.3	13.2	24.8
性別	男性	180	48.9	2.8	28.3	21.1	8.3	14.4	19.4
	女性	228	34.6	4.4	12.3	25.0	15.4	13.2	28.9
年齢別	18歳～29歳	26	42.3	-	15.4	23.1	7.7	23.1	30.8
	30歳～39歳	35	60.0	2.9	20.0	42.9	5.7	14.3	37.1
	40歳～49歳	50	38.0	4.0	24.0	20.0	14.0	12.0	28.0
	50歳～59歳	95	47.4	5.3	16.8	27.4	8.4	13.7	22.1
	60歳～64歳	47	40.4	4.3	21.3	31.9	17.0	19.1	29.8
	65歳～69歳	77	31.2	5.2	23.4	16.9	16.9	9.1	23.4
	70歳～74歳	37	37.8	2.7	13.5	16.2	16.2	8.1	18.9
	75歳以上	53	37.7	-	18.9	13.2	9.4	13.2	18.9

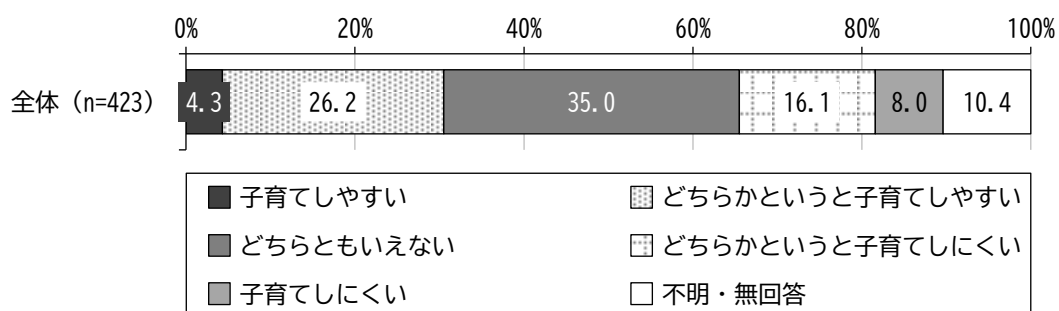
		n	子育てや家事に関わる家族等の協力	不妊治療や不育治療への助成制度	子育て世帯への住宅費助成	医療環境の充実	その他	不明・無回答
		%						
全体		423	10.6	6.4	6.4	41.8	4.0	16.5
性別	男性	180	6.1	2.8	7.2	37.2	6.7	17.8
	女性	228	13.2	8.3	5.7	46.5	2.2	14.9
年齢別	18歳～29歳	26	7.7	3.8	11.5	30.8	-	19.2
	30歳～39歳	35	17.1	14.3	11.4	42.9	8.6	-
	40歳～49歳	50	12.0	14.0	10.0	56.0	12.0	-
	50歳～59歳	95	10.5	9.5	6.3	47.4	3.2	10.5
	60歳～64歳	47	6.4	-	6.4	51.1	2.1	10.6
	65歳～69歳	77	5.2	3.9	3.9	40.3	2.6	27.3
	70歳～74歳	37	24.3	5.4	2.7	27.0	-	27.0
	75歳以上	53	9.4	-	3.8	28.3	3.8	32.1

問 29 あなたは、只見町が子育てしやすい町だと思いますか。(1つに○)

全体では、「どちらともいえない」が35.0%と最も高く、次いで「どちらかという子育てしやすい」が26.2%、「どちらかという子育てしにくい」が16.1%となっています。

性別にみると、男女ともに「どちらともいえない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、40歳～49歳では「どちらかという子育てしやすい」「どちらともいえない」、75歳以上では「どちらかという子育てしにくい」、その他の区分では「どちらともいえない」が最も高くなっています。



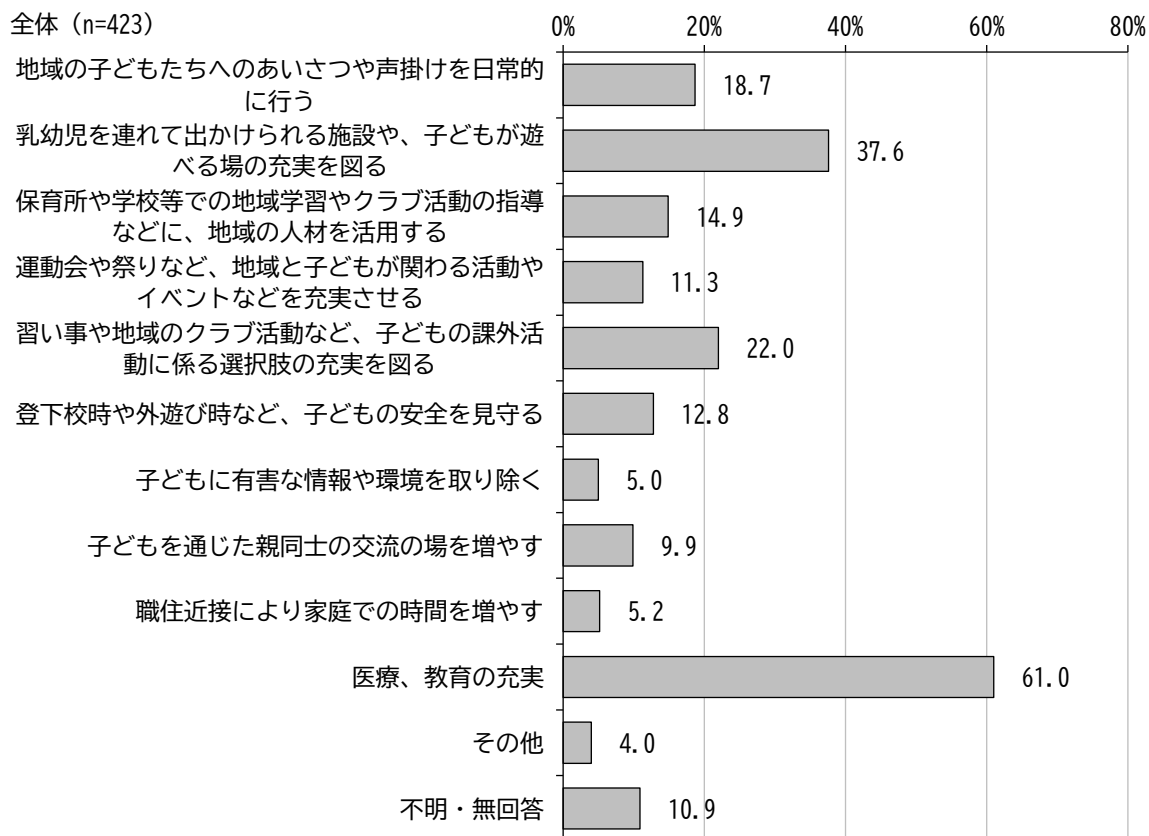
	n	子育てしやすい	どちらかという子育てしやすい	いどちらともいえない	どちらかという子育てしにくい	子育てしにくい	不明・無回答
全体	423	4.3	26.2	35.0	16.1	8.0	10.4
性別							
男性	180	4.4	25.0	35.6	16.1	8.3	10.6
女性	228	4.4	27.2	34.2	15.8	7.9	10.5
年齢別							
18歳～29歳	26	-	23.1	53.8	19.2	3.8	-
30歳～39歳	35	-	31.4	37.1	17.1	14.3	-
40歳～49歳	50	2.0	32.0	32.0	20.0	10.0	4.0
50歳～59歳	95	2.1	33.7	43.2	11.6	6.3	3.2
60歳～64歳	47	-	21.3	40.4	19.1	12.8	6.4
65歳～69歳	77	9.1	22.1	32.5	10.4	7.8	18.2
70歳～74歳	37	2.7	24.3	32.4	24.3	-	16.2
75歳以上	53	13.2	17.0	13.2	18.9	9.4	28.3

問 30 あなたは、子育てしやすい地域づくりに向けて、どのような取り組みが効果的だと考えますか。(最大3つまで○)

全体では、「医療、教育の充実」が61.0%と最も高く、次いで「乳幼児を連れて出かけられる施設や、子どもが遊べる場の充実を図る」が37.6%、「習い事や地域のクラブ活動など、子どもの課外活動に係る選択肢の充実を図る」が22.0%となっています。

性別にみると、男女ともに「医療、教育の充実」が最も高くなっています。

年齢別にみると、すべての区分で「医療、教育の充実」が最も高くなっています。



	n	つや地域の声掛けを子どもたちへのあいさつ	充実を図る	施設や乳幼児を連れて出かける場の充実	地域の子どもや地域のクラブ活動の指導などに、地域の人材を活用する	保育所や学校等での地域学習	など、地域の子どもや地域のクラブ活動の指導などに、地域の人材を活用する	運動会や祭りなど、地域と子どもが関わる活動やイベントなどを充実させる	選択肢の充実を図る	習い事や地域のクラブ活動に係る	子どもの安全を見守る	登下校時や外遊び時など、子どもの安全を見守る	取り除く	子どもを通じた親同士の交流の場を増やす	職住近接により家庭での時間を増やす	医療、教育の充実	その他	不明・無回答
	%																	
全体	423	18.7	37.6	14.9	11.3	22.0	12.8	5.0	9.9	5.2	61.0	4.0	10.9					
性別																		
男性	180	16.7	32.8	13.9	13.3	20.0	12.2	4.4	8.9	4.4	58.3	7.8	12.2					
女性	228	20.2	40.8	15.8	10.1	23.2	13.2	4.8	9.6	5.3	64.5	1.3	10.1					
年齢別																		
18歳～29歳	26	7.7	34.6	19.2	11.5	15.4	23.1	7.7	19.2	11.5	57.7	-	11.5					
30歳～39歳	35	8.6	54.3	11.4	8.6	31.4	14.3	2.9	8.6	14.3	62.9	8.6	2.9					
40歳～49歳	50	16.0	48.0	20.0	10.0	32.0	10.0	6.0	2.0	8.0	72.0	6.0	2.0					
50歳～59歳	95	21.1	35.8	13.7	6.3	21.1	10.5	3.2	10.5	4.2	71.6	5.3	6.3					
60歳～64歳	47	14.9	40.4	14.9	12.8	23.4	19.1	4.3	6.4	6.4	61.7	2.1	8.5					
65歳～69歳	77	14.3	31.2	11.7	11.7	16.9	10.4	5.2	13.0	3.9	55.8	2.6	19.5					
70歳～74歳	37	35.1	29.7	13.5	18.9	18.9	13.5	2.7	16.2	-	54.1	-	10.8					
75歳以上	53	26.4	34.0	18.9	17.0	18.9	11.3	7.5	3.8	-	45.3	5.7	22.6					

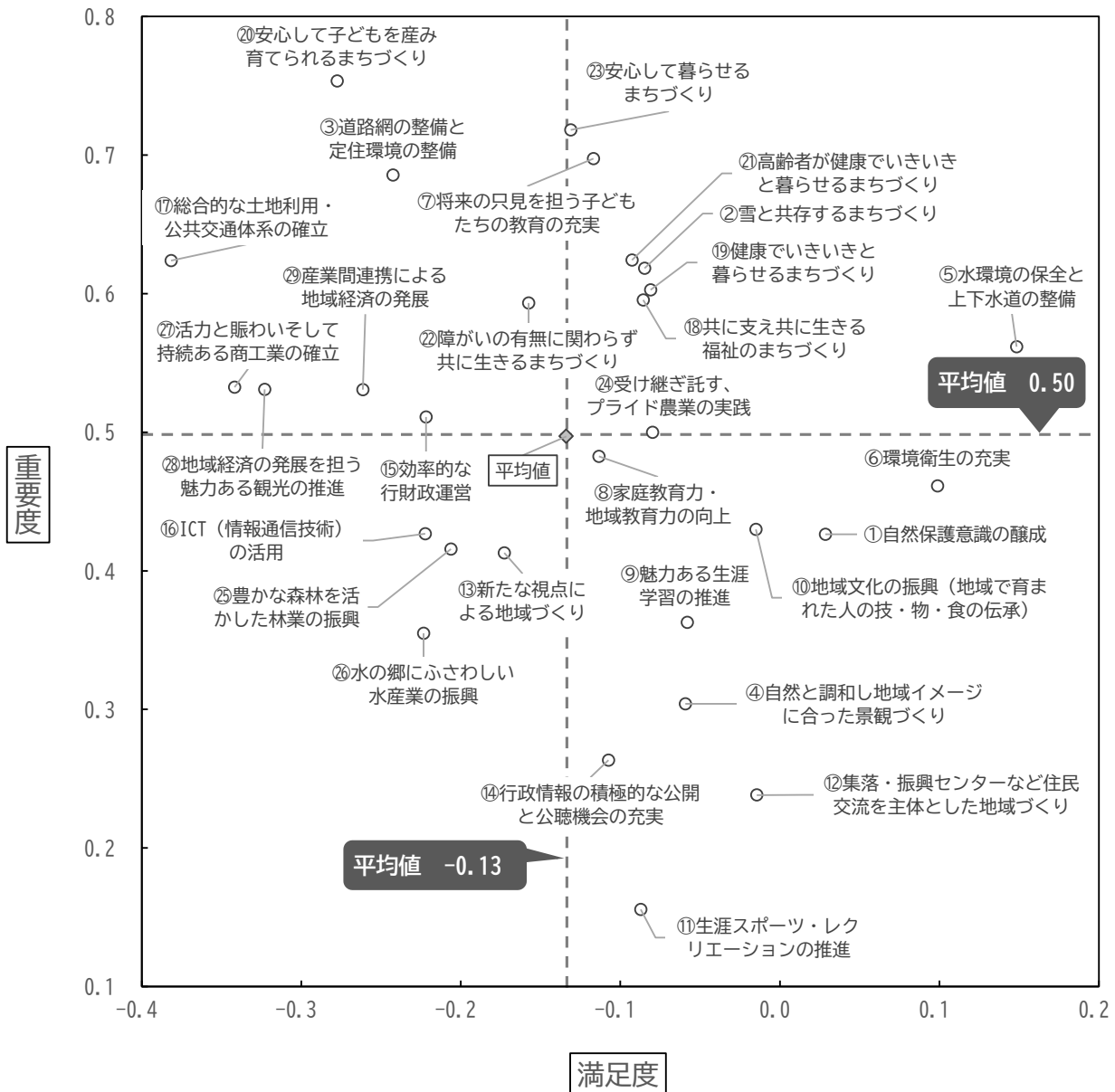
5 町政全般の施策に関する「満足度」「重要度」について

問 31 只見町では第七次振興計画に基づき、次の5つの施策大綱と29の基本方針を定め、まちづくりを展開してきました。これらの取組について「現在の満足度」と「今後の重要度」を1から4までの番号のうち、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

◆各施策の加重平均

※ 満足度と重要度の選択肢について、下記のように点数化しています。

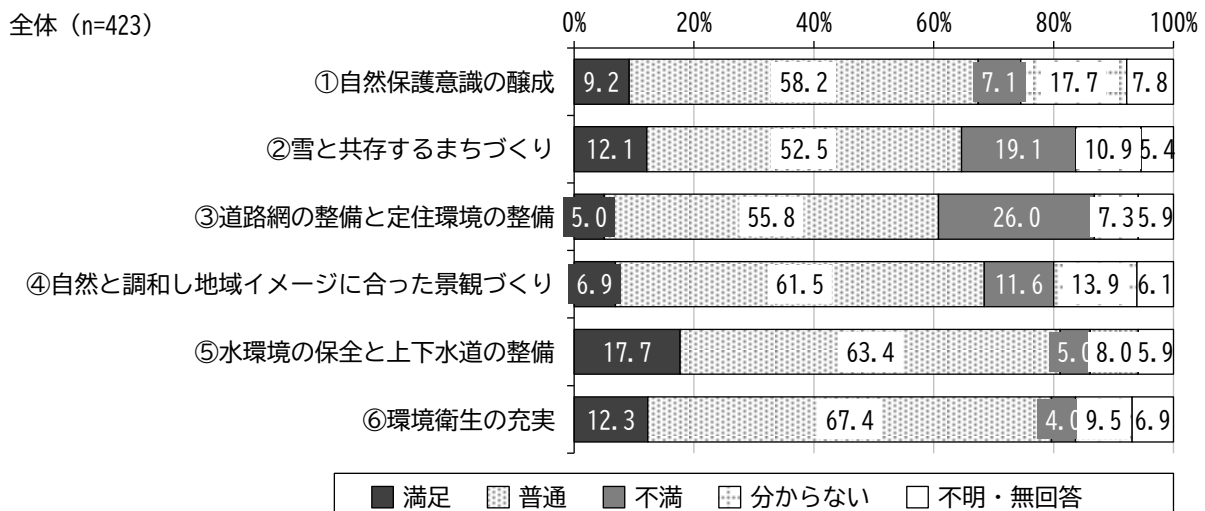
満足度		重要度	
満足	1点	重要	1点
普通	0点	普通	0点
不満	-1点	重要でない	-1点



■自然と共生するまちづくり【満足度】

「満足」の割合についてみると、〔⑤水環境の保全と上下水道の整備〕が17.7%と最も高く、次いで〔⑥環境衛生の充実〕が12.3%、〔②雪と共存するまちづくり〕が12.1%となっています。

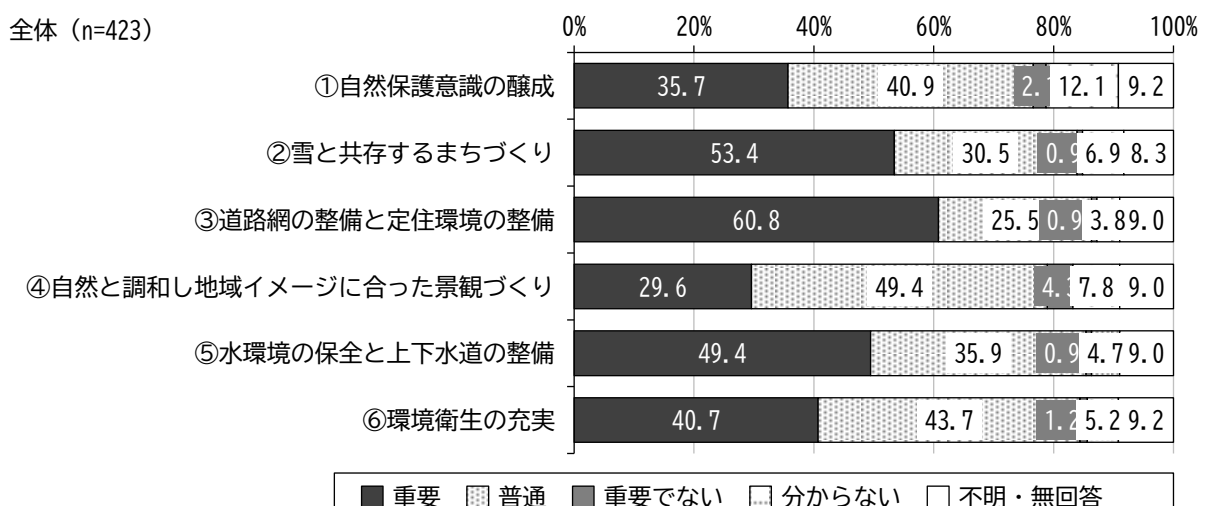
「不満」の割合についてみると、〔③道路網の整備と定住環境の整備〕が26.0%と最も高く、次いで〔②雪と共存するまちづくり〕が19.1%、〔④自然と調和し地域イメージに合った景観づくり〕が11.6%となっています。



■自然と共生するまちづくり【重要度】

「重要」の割合についてみると、〔③道路網の整備と定住環境の整備〕が60.8%と最も高く、次いで〔②雪と共存するまちづくり〕が53.4%、〔⑤水環境の保全と上下水道の整備〕が49.4%となっています。

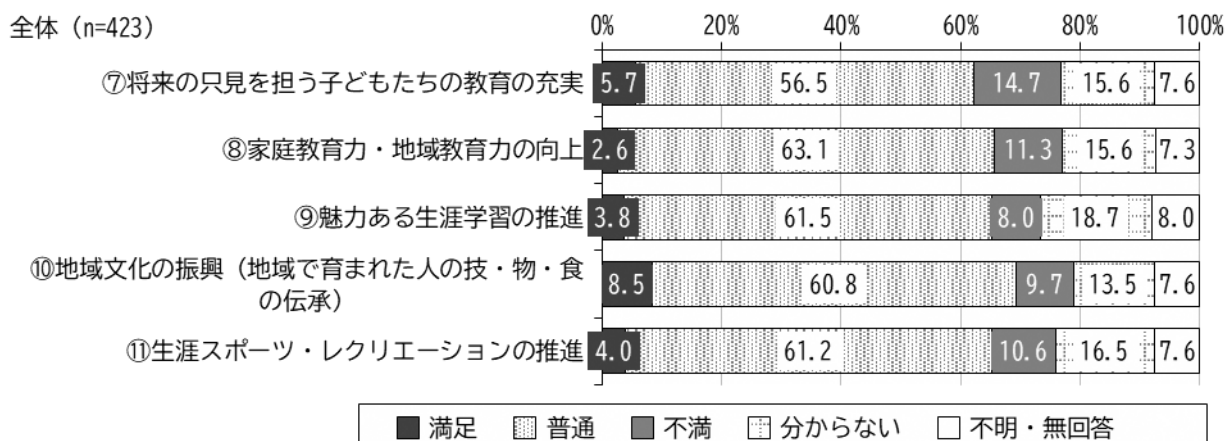
「重要でない」の割合についてみると、〔④自然と調和し地域イメージに合った景観づくり〕が4.3%と最も高く、次いで〔①自然保護意識の醸成〕が2.1%、〔⑥環境衛生の充実〕が1.2%となっています。



■文化に根づく人づくりとまなび続けるまちづくり【満足度】

「満足」の割合についてみると、〔⑩地域文化の振興（地域で育まれた人の技・物・食の伝承）〕が8.5%と最も高く、次いで〔⑦将来の只見を担う子どもたちの教育の充実〕が5.7%、〔⑪生涯スポーツ・レクリエーションの推進〕が4.0%となっています。

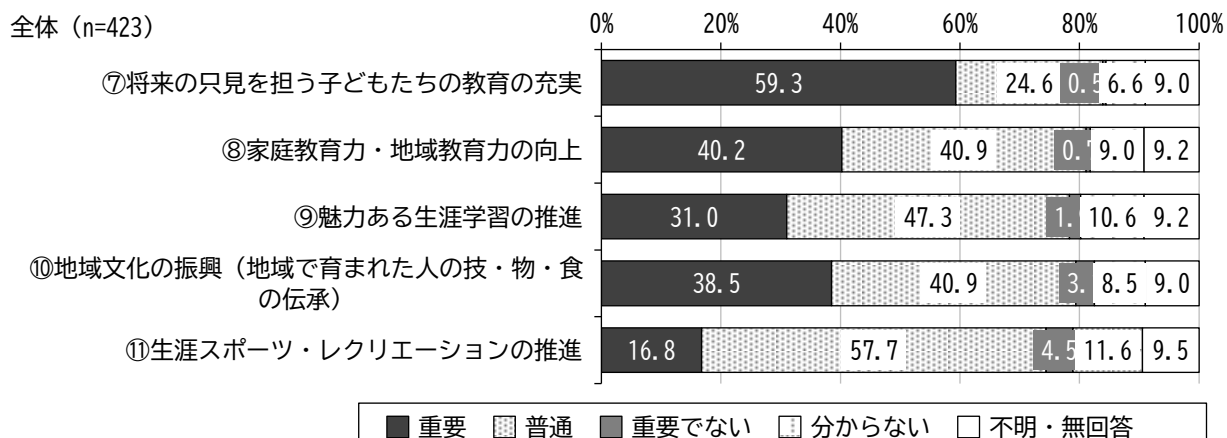
「不満」の割合についてみると、〔⑦将来の只見を担う子どもたちの教育の充実〕が14.7%と最も高く、次いで〔⑧家庭教育力・地域教育力の向上〕が11.3%、〔⑪生涯スポーツ・レクリエーションの推進〕が10.6%となっています。



■文化に根づく人づくりとまなび続けるまちづくり【重要度】

「重要」の割合についてみると、〔⑦将来の只見を担う子どもたちの教育の充実〕が59.3%と最も高く、次いで〔⑧家庭教育力・地域教育力の向上〕が40.2%、〔⑩地域文化の振興（地域で育まれた人の技・物・食の伝承）〕が38.5%となっています。

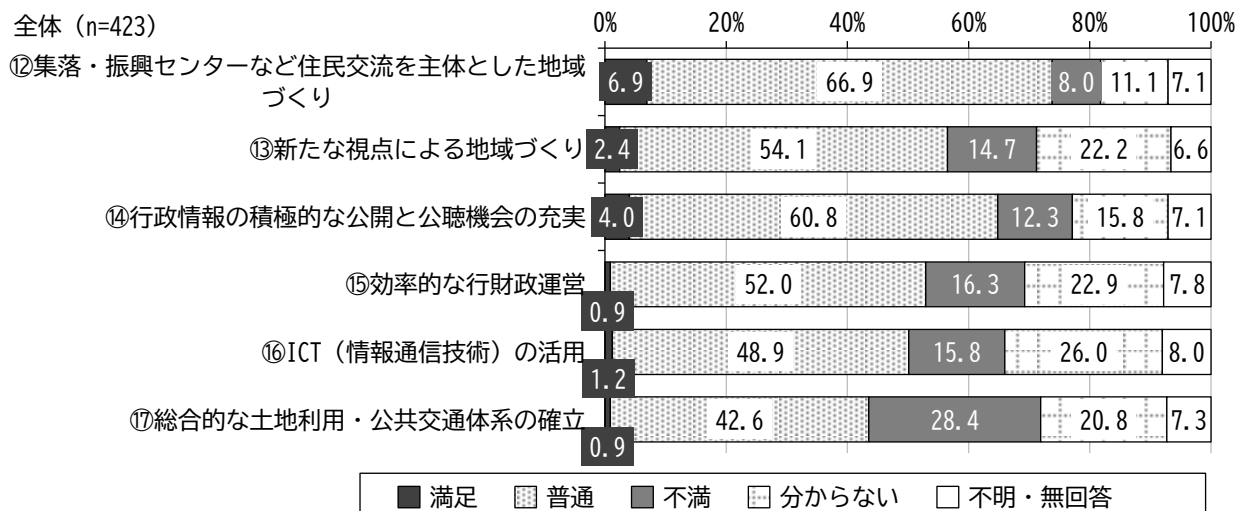
「重要でない」の割合についてみると、〔⑪生涯スポーツ・レクリエーションの推進〕が4.5%と最も高く、次いで〔⑩地域文化の振興（地域で育まれた人の技・物・食の伝承）〕が3.1%、〔⑨魅力ある生涯学習の推進〕が1.9%となっています。



■住民が主役のまちづくり【満足度】

「満足」の割合についてみると、〔⑫集落・振興センターなど住民交流を主体とした地域づくり〕が6.9%と最も高く、次いで〔⑭行政情報の積極的な公開と公聴機会の充実〕が4.0%、〔⑬新たな視点による地域づくり〕が2.4%となっています。

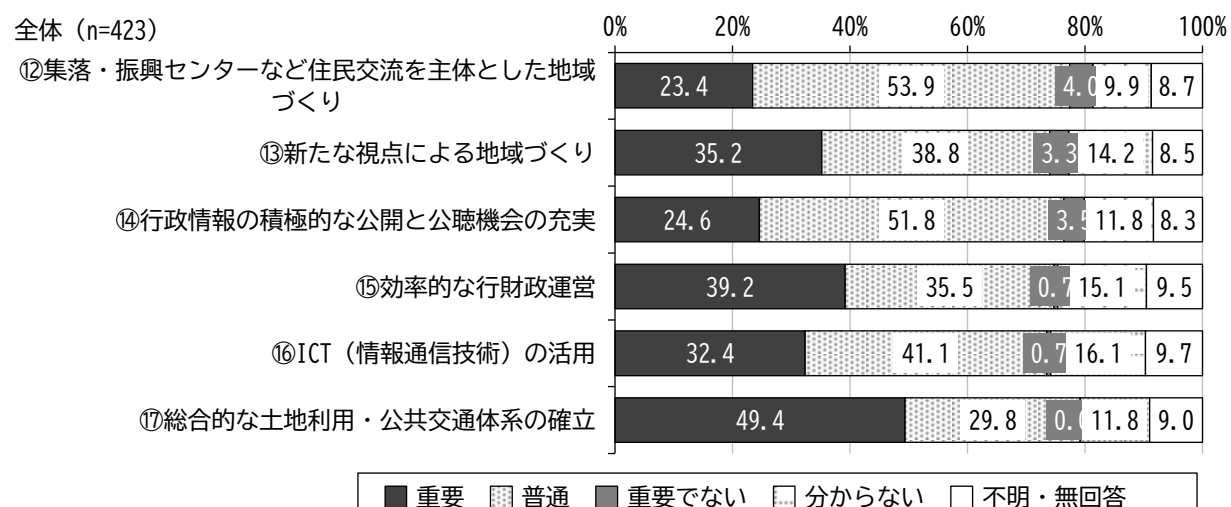
「不満」の割合についてみると、〔⑰総合的な土地利用・公共交通体系の確立〕が28.4%と最も高く、次いで〔⑮効率的な行財政運営〕が16.3%、〔⑯ICT（情報通信技術）の活用〕が15.8%となっています。



■住民が主役のまちづくり【重要度】

「重要」の割合についてみると、〔⑰総合的な土地利用・公共交通体系の確立〕が49.4%と最も高く、次いで〔⑮効率的な行財政運営〕が39.2%、〔⑬新たな視点による地域づくり〕が35.2%となっています。

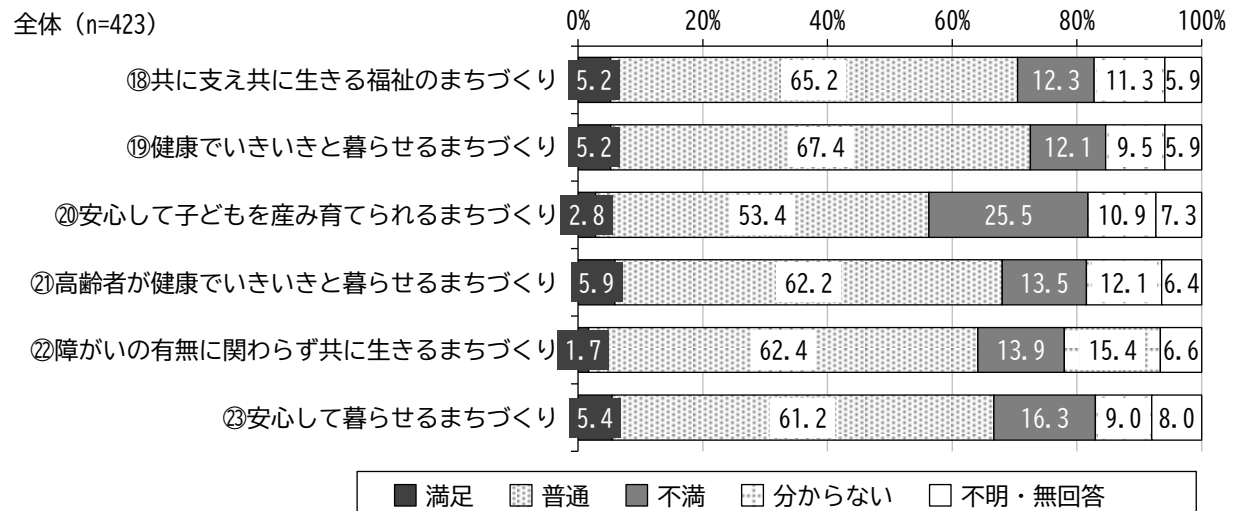
「重要でない」の割合についてみると、〔⑫集落・振興センターなど住民交流を主体とした地域づくり〕が4.0%と最も高く、次いで〔⑭行政情報の積極的な公開と公聴機会の充実〕が3.5%、〔⑬新たな視点による地域づくり〕が3.3%となっています。



■住みやすいまちづくり【満足度】

「満足」の割合についてみると、〔①高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり〕が5.9%と最も高く、次いで〔③安心して暮らせるまちづくり〕が5.4%、〔⑧共に支え共に生きる福祉のまちづくり〕〔⑨健康でいきいきと暮らせるまちづくり〕が5.2%となっています。

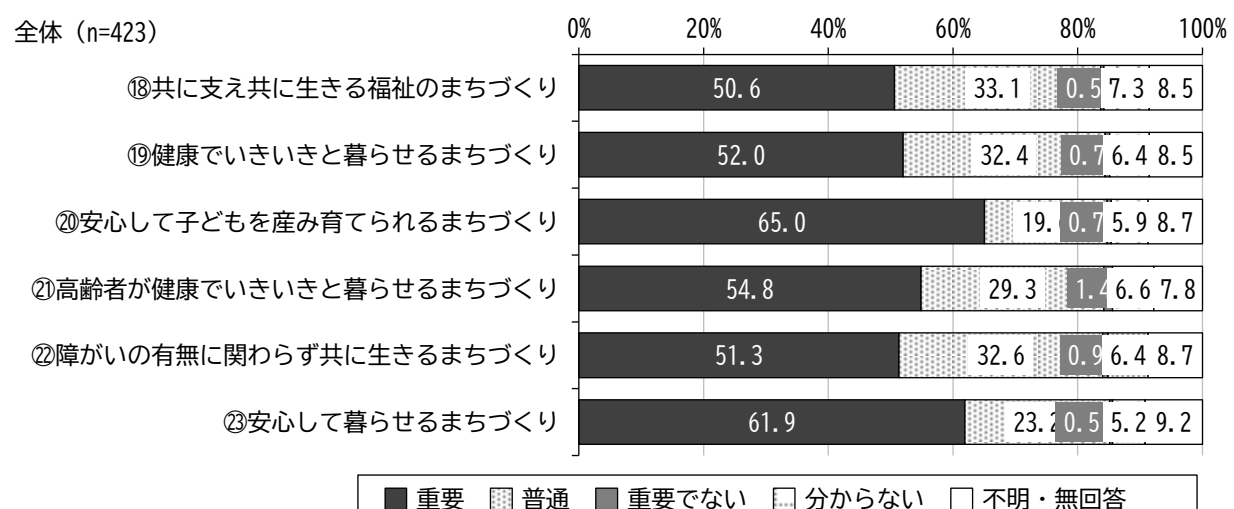
「不満」の割合についてみると、〔⑩安心して子どもを産み育てられるまちづくり〕が25.5%と最も高く、次いで〔③安心して暮らせるまちづくり〕が16.3%、〔⑫障がいの有無に関わらず共に生きるまちづくり〕が13.9%となっています。



■住みやすいまちづくり【重要度】

「重要」の割合についてみると、〔⑩安心して子どもを産み育てられるまちづくり〕が65.0%と最も高く、次いで〔③安心して暮らせるまちづくり〕が61.9%、〔①高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり〕が54.8%となっています。

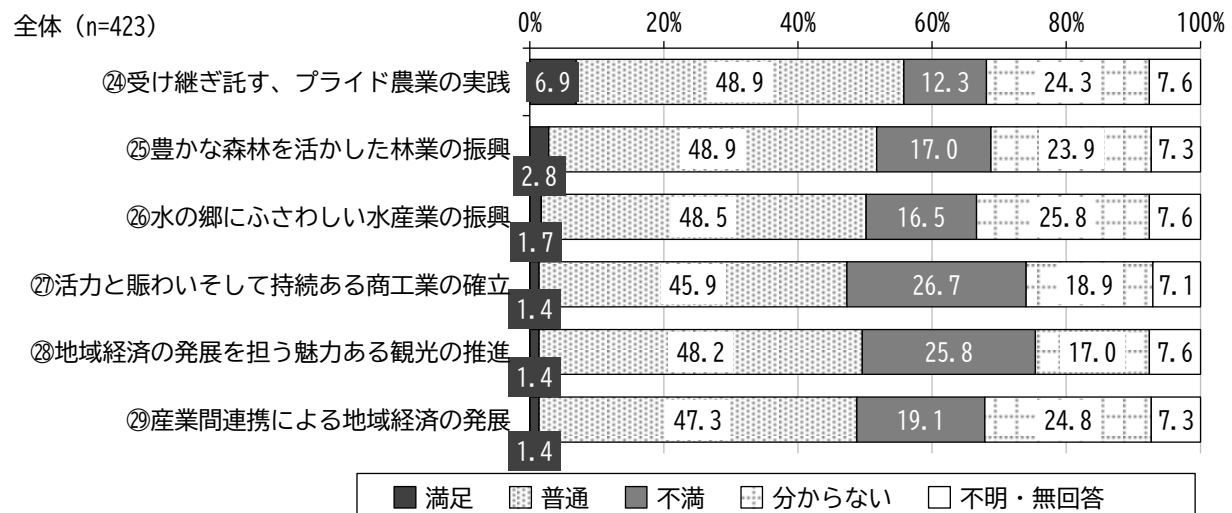
「重要でない」の割合についてみると、〔①高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり〕が1.4%と最も高く、次いで〔⑫障がいの有無に関わらず共に生きるまちづくり〕が0.9%、〔⑨健康でいきいきと暮らせるまちづくり〕〔⑩安心して子どもを産み育てられるまちづくり〕が0.7%となっています。



■働きがいのあるまちづくり【満足度】

「満足」の割合についてみると、〔④受け継ぎ託す、プライド農業の実践〕が6.9%と最も高く、次いで〔⑤豊かな森林を活かした林業の振興〕が2.8%、〔⑥水の郷にふさわしい水産業の振興〕が1.7%となっています。

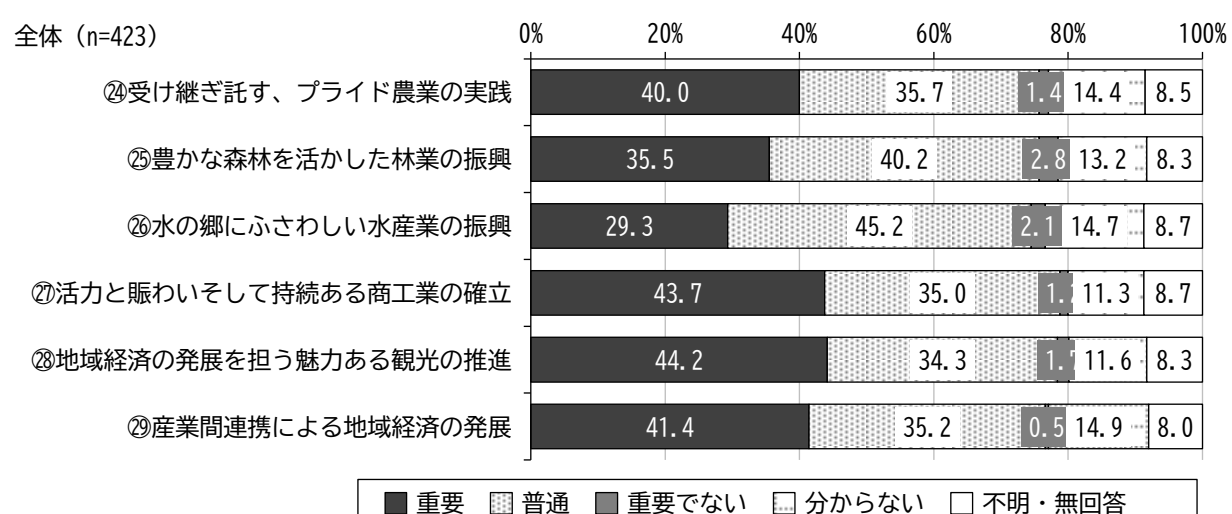
「不満」の割合についてみると、〔⑦活力と賑わいそして持続ある商工業の確立〕が26.7%と最も高く、次いで〔⑧地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進〕が25.8%、〔⑨産業間連携による地域経済の発展〕が19.1%となっています。



■働きがいのあるまちづくり【重要度】

「重要」の割合についてみると、〔⑧地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進〕が44.2%と最も高く、次いで〔⑦活力と賑わいそして持続ある商工業の確立〕が43.7%、〔⑨産業間連携による地域経済の発展〕が41.4%となっています。

「重要でない」の割合についてみると、〔⑤豊かな森林を活かした林業の振興〕が2.8%と最も高く、次いで〔⑥水の郷にふさわしい水産業の振興〕が2.1%、〔⑧地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進〕が1.7%となっています。



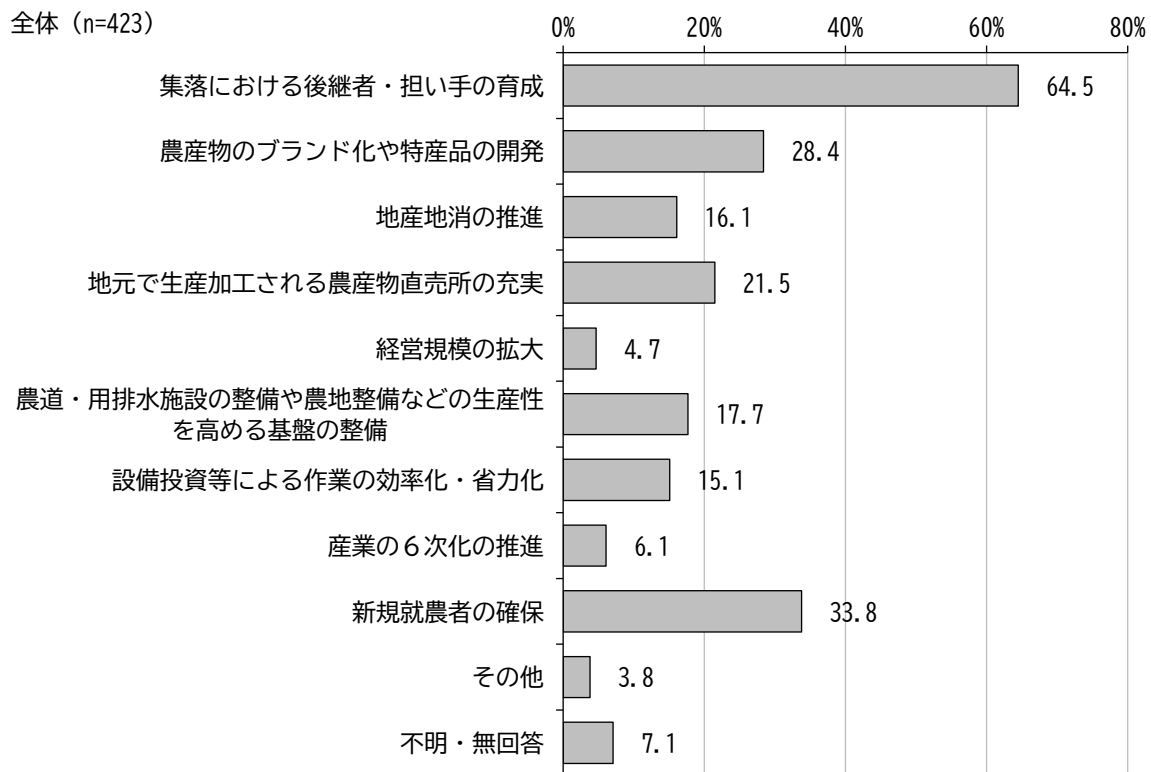
6 個別施策ごとのまちづくりの方向性について

問 32 あなたは、農業を振興するために何が重要だと思いますか。(最大3つまで○)

全体では、「集落における後継者・担い手の育成」が64.5%と最も高く、次いで「新規就農者の確保」が33.8%、「農産物のブランド化や特産品の開発」が28.4%となっています。

性別にみると、男女ともに「集落における後継者・担い手の育成」が最も高くなっています。

年齢別にみると、すべての区分で「集落における後継者・担い手の育成」が最も高くなっています。



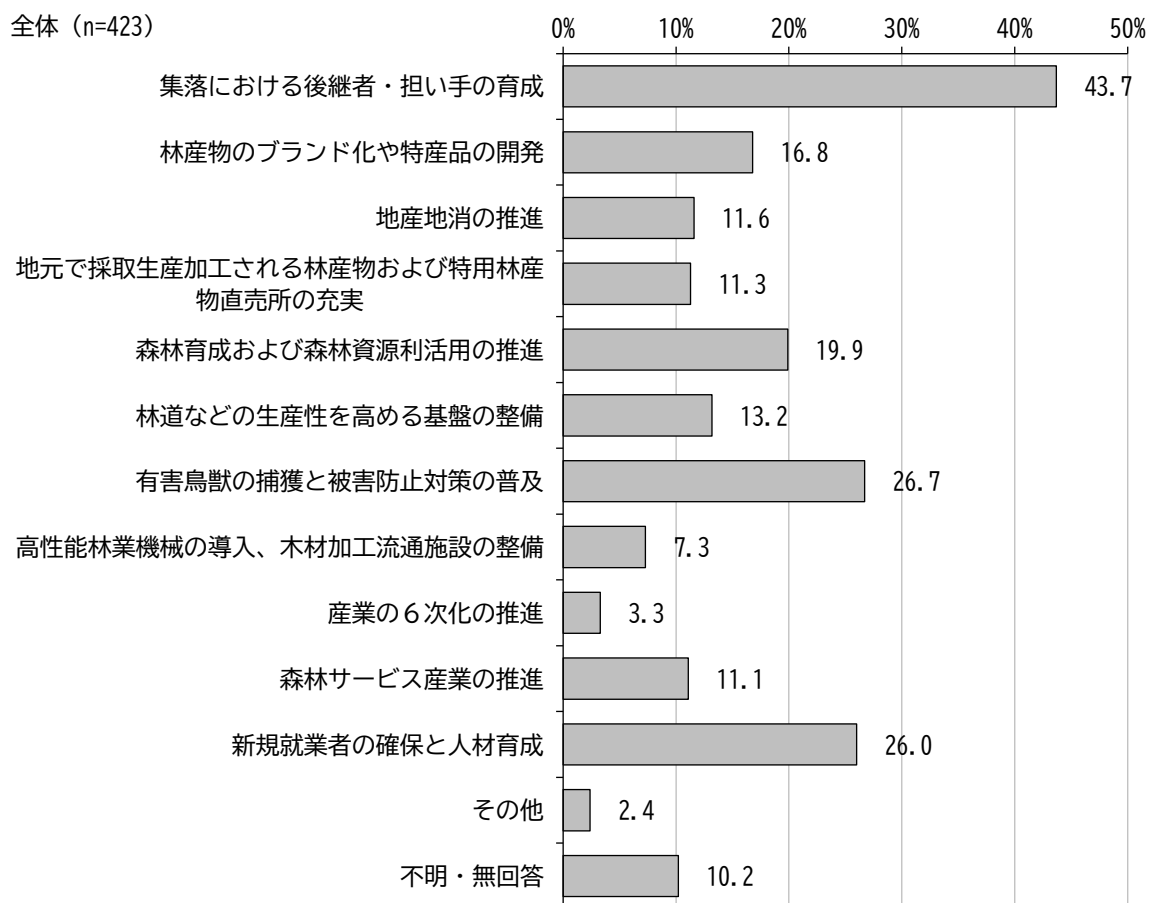
	n	い集 手落 の育 おけ る後 継者 ・担	産農 品産 物の 開発 の発 の発	地産 地消 の推 進	産地 元で 直売 所の 加工 され る農	経 営規 模の 拡大	を農 道・ 用排 水施 設の 整備 の生 産性	効 率化 ・省 力化 による 作業の	設 備投 資等 による 作業の	産 業の 6次 化の 推進	新 規就 農者 の確 保	そ の他	不 明・ 無回 答
	%												
全体	423	64.5	28.4	16.1	21.5	4.7	17.7	15.1	6.1	33.8	3.8	7.1	
性別													
男性	180	62.2	28.3	15.0	18.9	7.2	22.2	15.6	6.7	31.7	5.0	8.3	
女性	228	66.2	28.9	17.1	24.1	2.6	13.2	14.9	5.7	35.1	3.1	5.7	
年齢別													
18歳～29歳	26	69.2	23.1	30.8	7.7	7.7	15.4	11.5	-	30.8	-	7.7	
30歳～39歳	35	68.6	28.6	11.4	20.0	8.6	14.3	14.3	11.4	37.1	5.7	2.9	
40歳～49歳	50	68.0	34.0	20.0	22.0	2.0	18.0	18.0	4.0	38.0	6.0	4.0	
50歳～59歳	95	55.8	36.8	17.9	24.2	2.1	21.1	25.3	5.3	21.1	5.3	4.2	
60歳～64歳	47	61.7	29.8	14.9	29.8	6.4	12.8	17.0	6.4	36.2	2.1	2.1	
65歳～69歳	77	66.2	32.5	11.7	18.2	2.6	19.5	10.4	7.8	36.4	3.9	9.1	
70歳～74歳	37	73.0	21.6	16.2	18.9	5.4	16.2	13.5	2.7	40.5	-	10.8	
75歳以上	53	66.0	9.4	13.2	24.5	9.4	17.0	3.8	9.4	39.6	3.8	15.1	

問 33 あなたは、林業を振興するために何が重要だと思いますか。(最大3つまで〇)

全体では、「集落における後継者・担い手の育成」が43.7%と最も高く、次いで「有害鳥獣の捕獲と被害防止対策の普及」が26.7%、「新規就業者の確保と人材育成」が26.0%となっています。

性別にみると、男女ともに「集落における後継者・担い手の育成」が最も高くなっています。

年齢別にみると、すべての区分で「集落における後継者・担い手の育成」が最も高くなっています。



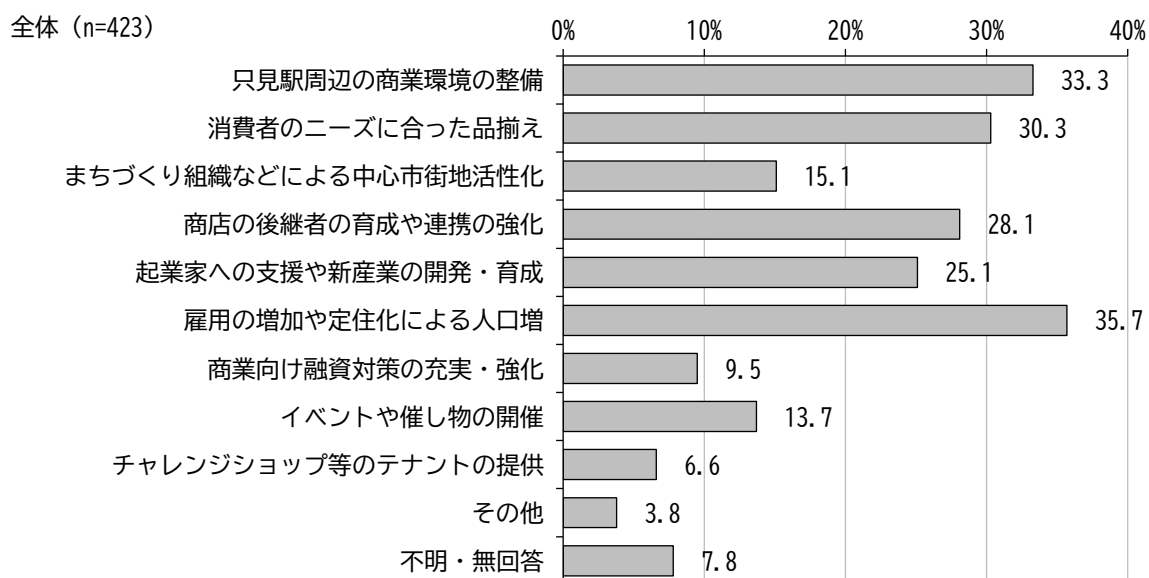
	n	%													
		集落における後継者・担い手の育成	林産物のブランド化や特産品の開発	地産地消の推進	地元で採取生産加工される林産物および特用林産物直売所の充実	森林育成および森林資源利活用の推進	林道などの生産性を高める基盤の整備	有害鳥獣の捕獲と被害防止対策の普及	高性能林業機械の導入、木材加工流通施設の整備	産業の6次化の推進	森林サービス産業の推進	新規就業者の確保と人材育成	その他	不明・無回答	
全体	423	43.7	16.8	11.6	11.3	19.9	13.2	26.7	7.3	3.3	11.1	26.0	2.4	10.2	
性別	男性	180	43.9	14.4	13.9	12.8	20.0	14.4	22.8	8.3	6.1	10.0	22.8	4.4	11.7
	女性	228	42.5	18.9	9.6	10.5	19.3	12.7	30.3	7.0	0.9	11.8	28.1	0.9	8.8
年齢別	18歳～29歳	26	42.3	11.5	11.5	15.4	19.2	19.2	26.9	3.8	-	3.8	15.4	-	7.7
	30歳～39歳	35	48.6	17.1	14.3	2.9	17.1	8.6	31.4	8.6	-	8.6	42.9	2.9	5.7
	40歳～49歳	50	56.0	22.0	16.0	6.0	24.0	12.0	26.0	6.0	6.0	6.0	38.0	2.0	8.0
	50歳～59歳	95	44.2	27.4	10.5	12.6	17.9	16.8	15.8	11.6	3.2	13.7	21.1	2.1	4.2
	60歳～64歳	47	40.4	14.9	12.8	14.9	29.8	12.8	29.8	6.4	2.1	21.3	25.5	2.1	2.1
	65歳～69歳	77	42.9	11.7	6.5	14.3	10.4	7.8	41.6	2.6	3.9	11.7	24.7	3.9	15.6
	70歳～74歳	37	45.9	8.1	5.4	8.1	29.7	8.1	27.0	13.5	2.7	10.8	27.0	-	16.2
75歳以上	53	32.1	9.4	17.0	13.2	18.9	20.8	18.9	5.7	5.7	7.5	18.9	3.8	20.8	

問 34 あなたは、商業を振興するために何が重要だと思いますか。(最大3つまで○)

全体では、「雇用の増加や定住化による人口増」が 35.7%と最も高く、次いで「只見駅周辺の商業環境の整備」が 33.3%、「消費者のニーズに合った品揃え」が 30.3%となっています。

性別にみると、男女ともに「雇用の増加や定住化による人口増」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「消費者のニーズに合った品揃え」、50歳～59歳、75歳以上では「只見駅周辺の商業環境の整備」、70歳～74歳では「商店の後継者の育成や連携の強化」、その他の区分では「雇用の増加や定住化による人口増」が最も高くなっています。



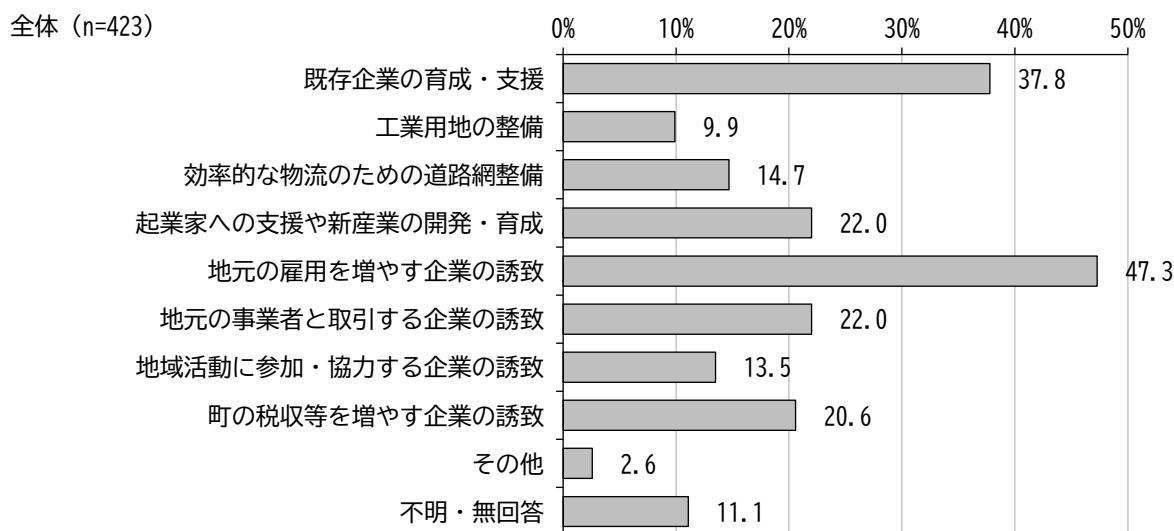
		n	只見駅周辺の商業環境の整備	消費者のニーズに合った品揃え	まちづくり組織などによる中心市街地活性化	商店の後継者の育成や連携の強化	起業家への支援や新産業の開発・育成	雇用の増加や定住化による人口増	商業向け融資対策の充実・強化	イベントや催し物の開催	チャレンジショップ等のテナントの提供	その他	不明・無回答
		%											
全体		423	33.3	30.3	15.1	28.1	25.1	35.7	9.5	13.7	6.6	3.8	7.8
性別	男性	180	33.3	27.8	15.0	27.8	25.0	39.4	8.9	13.9	6.1	4.4	8.9
	女性	228	32.9	32.0	14.9	29.8	25.4	33.3	10.5	12.3	6.6	3.5	5.7
年齢別	18歳～29歳	26	26.9	42.3	23.1	26.9	11.5	23.1	3.8	30.8	-	-	3.8
	30歳～39歳	35	22.9	34.3	20.0	31.4	17.1	42.9	11.4	17.1	5.7	14.3	2.9
	40歳～49歳	50	26.0	42.0	12.0	28.0	34.0	44.0	10.0	10.0	10.0	6.0	8.0
	50歳～59歳	95	35.8	30.5	12.6	30.5	33.7	29.5	12.6	17.9	8.4	2.1	3.2
	60歳～64歳	47	38.3	19.1	21.3	17.0	29.8	48.9	10.6	12.8	6.4	2.1	4.3
	65歳～69歳	77	39.0	23.4	11.7	26.0	23.4	40.3	5.2	6.5	11.7	5.2	10.4
	70歳～74歳	37	27.0	32.4	16.2	43.2	21.6	37.8	16.2	13.5	-	-	5.4
	75歳以上	53	37.7	28.3	15.1	26.4	15.1	22.6	5.7	11.3	-	1.9	18.9

問 35 あなたは、工業を振興するために何が重要だと思いますか。(最大3つまで○)

全体では、「地元の雇用を増やす企業の誘致」が47.3%と最も高く、次いで「既存企業の育成・支援」が37.8%、「起業家への支援や新産業の開発・育成」「地元の事業者と取引する企業の誘致」が22.0%となっています。

性別にみると、男女ともに「地元の雇用を増やす企業の誘致」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳、30歳～39歳では「既存企業の育成・支援」、その他の区分では「地元の雇用を増やす企業の誘致」が最も高くなっています。



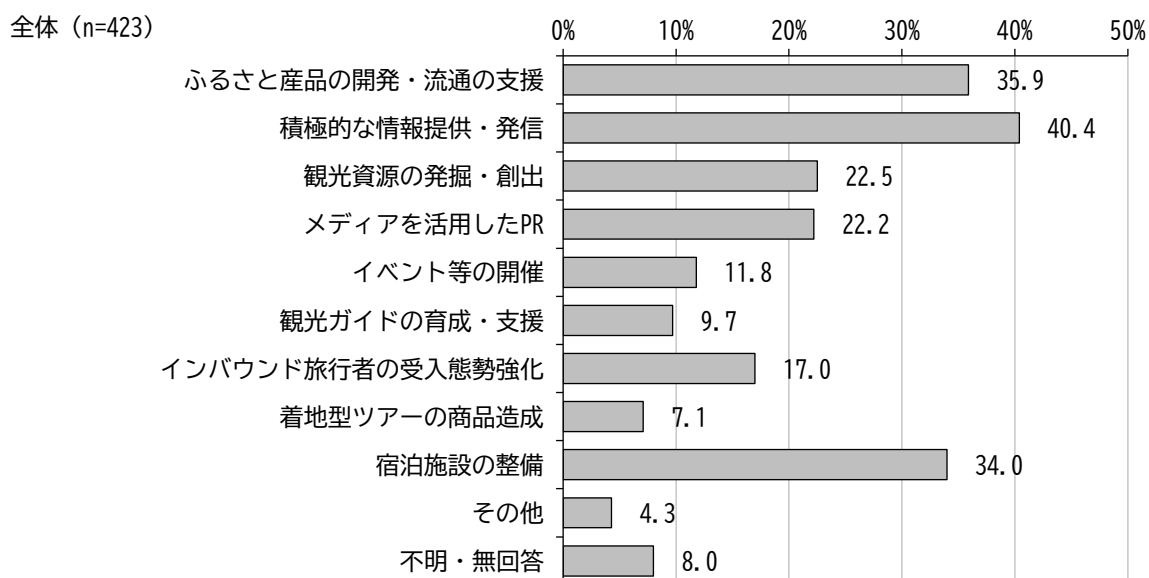
	n	援 既	工 業	の 効	産 起	企 地	す 地	力 地	企 町	そ の	不 明	
		存 存	業 業	道 率	業 業	業 元	る 元	域 活	業 の	他	・ 無	
	%	の 成	用 地	的 な	家 へ	の 雇	地 元	動 に	の 誘		回	
		成 ・ 支	の 整	物 流	の 支	用 を	の 事	参 加	致 を		答	
		援 ・ 支	備	の た	援 や	増 や	業 と	協	増 や			
		援 ・ 支		め	新	す	取 引		す			
全体	423	37.8	9.9	14.7	22.0	47.3	22.0	13.5	20.6	2.6	11.1	
性別	男性	180	31.7	12.8	18.9	25.6	45.0	23.3	12.8	20.0	5.0	12.2
	女性	228	41.7	7.9	11.4	18.9	49.1	22.4	14.0	21.1	0.9	9.6
年齢別	18歳～29歳	26	53.8	15.4	15.4	30.8	26.9	23.1	15.4	3.8	-	3.8
	30歳～39歳	35	48.6	8.6	17.1	2.9	34.3	20.0	11.4	14.3	5.7	8.6
	40歳～49歳	50	40.0	12.0	20.0	28.0	56.0	24.0	4.0	30.0	2.0	8.0
	50歳～59歳	95	35.8	12.6	14.7	23.2	47.4	25.3	11.6	23.2	1.1	7.4
	60歳～64歳	47	36.2	10.6	17.0	21.3	51.1	25.5	23.4	12.8	8.5	6.4
	65歳～69歳	77	36.4	6.5	9.1	26.0	48.1	13.0	11.7	23.4	2.6	16.9
	70歳～74歳	37	27.0	2.7	21.6	16.2	48.6	27.0	27.0	16.2	-	13.5
75歳以上	53	34.0	9.4	9.4	20.8	52.8	22.6	11.3	24.5	1.9	18.9	

問 36 あなたは、観光を振興するために何が重要だと思いますか。(最大3つまで〇)

全体では、「積極的な情報提供・発信」が 40.4%と最も高く、次いで「ふるさと産品の開発・流通の支援」が 35.9%、「宿泊施設の整備」が 34.0%となっています。

性別にみると、男女ともに「積極的な情報提供・発信」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳では「宿泊施設の整備」、50歳～59歳、60歳～64歳、70歳～74歳では「積極的な情報提供・発信」、65歳～69歳、75歳以上では「ふるさと産品の開発・流通の支援」が最も高くなっています。



	n	発ふる	積供	創観	たメ	イ	成観	者イン	品着	宿泊	そ	不
		・ふる	・極	出光	たメ	イ	成観	者イン	品着	宿泊	そ	不
全体	423	35.9	40.4	22.5	22.2	11.8	9.7	17.0	7.1	34.0	4.3	8.0
性別												
男性	180	36.1	39.4	27.2	22.2	11.7	10.0	18.3	8.9	30.6	5.0	6.7
女性	228	36.4	40.8	18.4	21.9	11.4	9.2	16.2	6.1	36.4	3.9	8.8
年齢別												
18歳～29歳	26	34.6	26.9	19.2	34.6	7.7	15.4	11.5	-	46.2	3.8	3.8
30歳～39歳	35	28.6	40.0	11.4	34.3	17.1	5.7	14.3	5.7	42.9	5.7	5.7
40歳～49歳	50	30.0	34.0	16.0	18.0	18.0	12.0	16.0	14.0	52.0	8.0	10.0
50歳～59歳	95	34.7	42.1	22.1	27.4	16.8	5.3	18.9	9.5	29.5	6.3	6.3
60歳～64歳	47	27.7	53.2	31.9	23.4	12.8	12.8	21.3	8.5	29.8	4.3	2.1
65歳～69歳	77	41.6	33.8	29.9	18.2	5.2	3.9	18.2	10.4	24.7	1.3	9.1
70歳～74歳	37	32.4	45.9	18.9	29.7	2.7	21.6	13.5	-	35.1	-	10.8
75歳以上	53	50.9	41.5	22.6	3.8	9.4	13.2	15.1	-	28.3	3.8	15.1

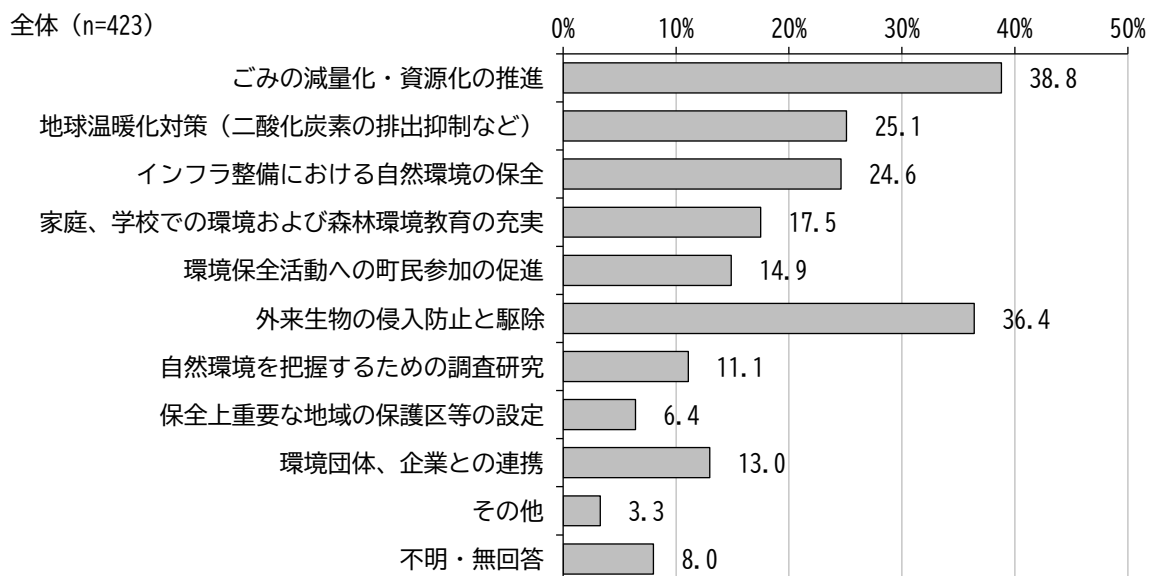
問 37 あなたは、これからの町の自然環境保全のために重要だと思うことは何ですか。

(最大3つまで○)

全体では、「ごみの減量化・資源化の推進」が 38.8%と最も高く、次いで「外来生物の侵入防止と駆除」が 36.4%、「地球温暖化対策（二酸化炭素の排出抑制など）」が 25.1%となっています。

性別にみると、男性では「外来生物の侵入防止と駆除」、女性では「ごみの減量化・資源化の推進」が最も高くなっています。

年齢別にみると、30歳～39歳、50歳～59歳、65歳～69歳では「外来生物の侵入防止と駆除」、その他の区分では「ごみの減量化・資源化の推進」が最も高くなっています。



		n	ごみの減量化・資源化の推進 (%)	地球温暖化対策（二酸化炭素の排出抑制など） (%)	自然環境の保全 (%)	インフラ整備 (%)	家庭・学校での環境教育の充実 (%)	町民参加の促進 (%)	環境保全活動への参加 (%)	外来生物の侵入防止と駆除 (%)	自然環境の調査把握 (%)	保全上重要な地域の設定 (%)	環境団体、企業との連携 (%)	その他 (%)	不明・無回答 (%)
全体		423	38.8	25.1	24.6	17.5	14.9	36.4	11.1	6.4	13.0	3.3	8.0		
性別	男性	180	32.8	22.2	32.2	15.0	12.8	40.6	15.6	5.6	11.1	5.0	7.8		
	女性	228	42.5	27.6	18.9	19.7	17.5	32.0	7.9	6.1	14.0	2.2	7.9		
年齢別	18歳～29歳	26	42.3	30.8	15.4	19.2	7.7	34.6	19.2	11.5	7.7	-	3.8		
	30歳～39歳	35	28.6	14.3	17.1	20.0	17.1	45.7	11.4	11.4	14.3	8.6	8.6		
	40歳～49歳	50	50.0	26.0	32.0	28.0	18.0	22.0	8.0	6.0	16.0	2.0	8.0		
	50歳～59歳	95	36.8	26.3	35.8	12.6	13.7	37.9	9.5	7.4	13.7	3.2	5.3		
	60歳～64歳	47	40.4	27.7	29.8	10.6	19.1	34.0	6.4	8.5	12.8	8.5	2.1		
	65歳～69歳	77	33.8	23.4	14.3	23.4	9.1	46.8	9.1	3.9	11.7	1.3	13.0		
	70歳～74歳	37	45.9	27.0	21.6	13.5	18.9	32.4	24.3	2.7	16.2	-	5.4		
75歳以上	53	37.7	22.6	20.8	15.1	18.9	30.2	11.3	3.8	9.4	3.8	13.2			

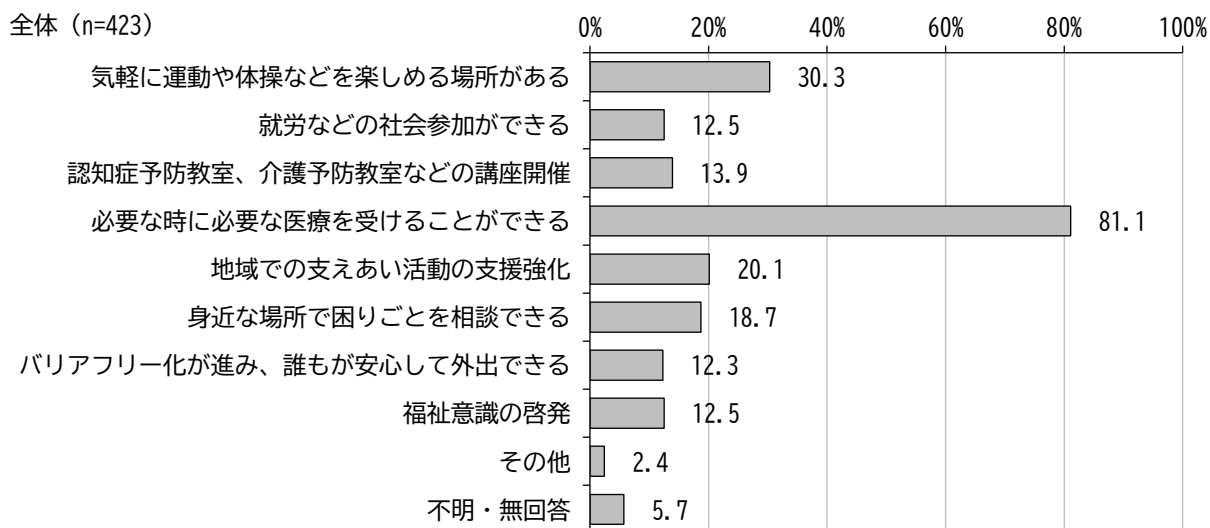
問 38 あなたは、町民の健康や福祉について、今後重要だと思うことは何ですか。

(最大3つまで○)

全体では、「必要な時に必要な医療を受けることができる」が 81.1%と最も高く、次いで「気軽に運動や体操などを楽しめる場所がある」が 30.3%、「地域での支えあい活動の支援強化」が 20.1%となっています。

性別にみると、男女ともに「必要な時に必要な医療を受けることができる」が最も高くなっています。

年齢別にみると、すべての区分で「必要な時に必要な医療を受けることができる」が最も高くなっています。



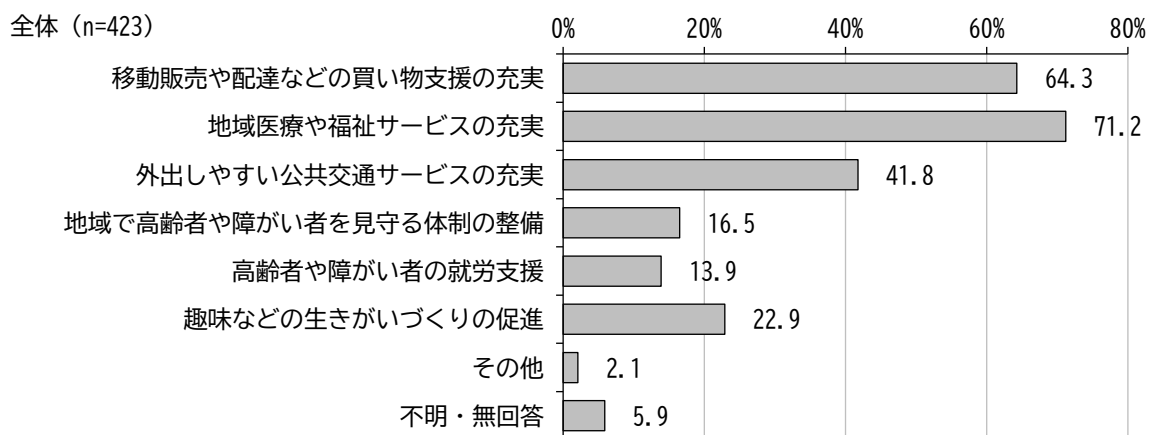
	n	所 が あ る	気 に 運 動 や 体 操	加 が で き る	就 労 な ど の 社 会 参 加	の 講 座 開 催	介 護 予 防 教 室 な ど	認 知 症 予 防 教 室	が で き る	医 療 を 受 け る に 必 要 と	必 要 な 時 に 必 要 な 医 療 を 受 け る に 必 要 と	活 動 の 支 援 強 化	地 域 で の 支 え あ い 活 動 の 支 援 強 化	ご 身 近 な 場 所 で 困 り ご と を 相 談 で き る	し み み 外 出 で も 誰 も が 安 心 が け ら れ る	進 み ア フ リ ー 化 が 進 み 誰 も が 安 心 が け ら れ る	バ リ ア フ リ ー 化 が 進 み 誰 も が 安 心 が け ら れ る	福 祉 意 識 の 啓 発	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答	
全体	423	30.3	12.5	13.9	81.1	20.1	18.7	12.3	12.5	2.4	5.7										
性別																					
男性	180	26.1	11.7	11.7	79.4	20.0	20.6	11.1	12.8	2.8	6.7										
女性	228	33.8	12.3	14.0	82.5	20.2	17.1	13.2	13.2	2.2	4.8										
年齢別																					
18歳～29歳	26	23.1	19.2	11.5	57.7	23.1	3.8	19.2	11.5	3.8	11.5										
30歳～39歳	35	31.4	20.0	5.7	77.1	11.4	22.9	8.6	5.7	5.7	5.7										
40歳～49歳	50	42.0	30.0	18.0	72.0	26.0	10.0	14.0	10.0	6.0	4.0										
50歳～59歳	95	29.5	10.5	14.7	82.1	12.6	20.0	12.6	10.5	3.2	4.2										
60歳～64歳	47	29.8	6.4	10.6	91.5	19.1	21.3	19.1	12.8	-	-										
65歳～69歳	77	28.6	6.5	14.3	85.7	23.4	22.1	7.8	15.6	-	7.8										
70歳～74歳	37	37.8	8.1	5.4	83.8	35.1	10.8	16.2	13.5	-	5.4										
75歳以上	53	22.6	7.5	20.8	84.9	18.9	24.5	7.5	18.9	1.9	9.4										

問 39 あなたは、高齢者や障がい者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けていくには、何が重要だと思いますか。(最大3つまで○)

全体では、「地域医療や福祉サービスの充実」が 71.2%と最も高く、次いで「移動販売や配達などの買い物支援の充実」が 64.3%、「外出しやすい公共交通サービスの充実」が 41.8%となっています。

性別にみると、男女ともに「地域医療や福祉サービスの充実」が最も高くなっています。

年齢別にみると、40歳～49歳、65歳～69歳では「移動販売や配達などの買い物支援の充実」、その他の区分では「地域医療や福祉サービスの充実」が最も高くなっています。



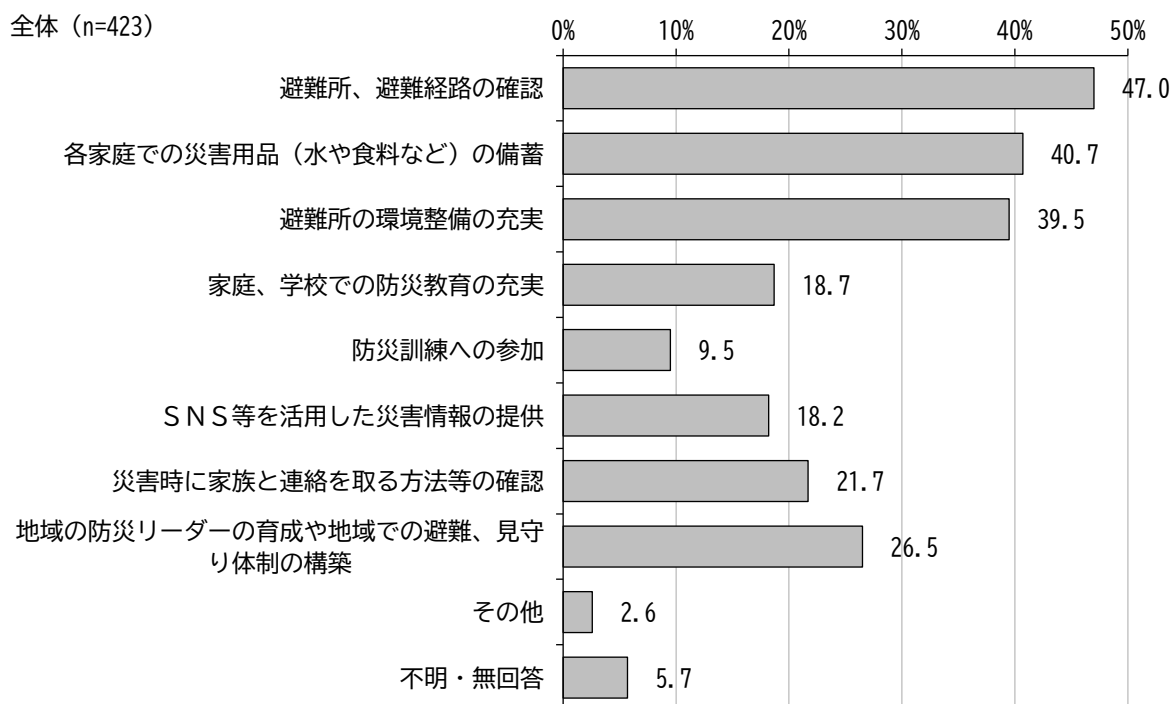
	n	%	移動販売や配達などの買い物支援の充実	地域医療や福祉サービスの充実	公共交通サービスの充実	外出しやすい公共交通サービスの充実	制がい者や障がい者の見守る体制の整備	の就労支援	い趣味などの生きがいがづくりの促進	その他	不明・無回答
全体	423		64.3	71.2	41.8	16.5	13.9	22.9	2.1	5.9	
性別	男性	180	63.9	67.2	42.2	16.1	12.2	23.3	2.8	7.2	
	女性	228	64.9	75.0	41.7	16.2	14.5	22.8	1.8	4.8	
年齢別	18歳～29歳	26	38.5	61.5	34.6	3.8	11.5	38.5	-	7.7	
	30歳～39歳	35	51.4	60.0	40.0	14.3	22.9	31.4	5.7	5.7	
	40歳～49歳	50	76.0	68.0	46.0	12.0	28.0	20.0	6.0	2.0	
	50歳～59歳	95	63.2	72.6	37.9	16.8	18.9	24.2	2.1	3.2	
	60歳～64歳	47	68.1	74.5	57.4	12.8	10.6	23.4	-	4.3	
	65歳～69歳	77	74.0	71.4	42.9	14.3	6.5	22.1	-	10.4	
	70歳～74歳	37	59.5	75.7	32.4	27.0	8.1	24.3	2.7	5.4	
	75歳以上	53	62.3	75.5	39.6	24.5	5.7	11.3	1.9	9.4	

問 40 あなたは、防災のまちづくりを進めるために、今後重要だと思うことは何ですか。
(最大3つまで○)

全体では、「避難所、避難経路の確認」が 47.0%と最も高く、次いで「各家庭での災害用品（水や食料など）の備蓄」が 40.7%、「避難所の環境整備の充実」が 39.5%となっています。

性別にみると、男女ともに「避難所、避難経路の確認」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「避難所、避難経路の確認」「各家庭での災害用品（水や食料など）の備蓄」、30歳～39歳では「各家庭での災害用品（水や食料など）の備蓄」「避難所の環境整備の充実」、40歳～49歳では「各家庭での災害用品（水や食料など）の備蓄」、60歳～64歳、65歳～69歳では「避難所の環境整備の充実」、その他の区分では「避難所、避難経路の確認」が最も高くなっています。



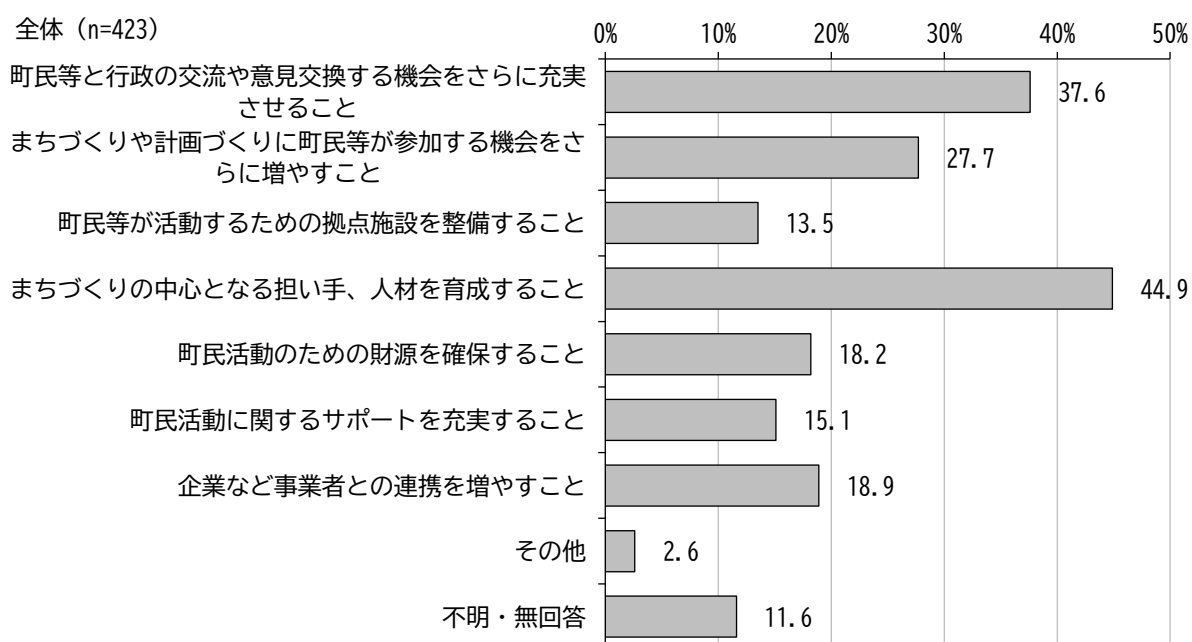
	n	認 避 蓄 (各 実 育 防 害 S 取 災 見 育 地 所 他 不 明	難 難 蓄 (各 実 難 家 災 防 情 S 取 災 見 育 地 所 他 不 明	所 所 所 蓄 (各 実 難 家 災 防 情 S 取 災 見 育 地 所 他 不 明	の 経 備 (各 実 難 家 災 防 情 S 取 災 見 育 地 所 他 不 明	の 確 備 (各 実 難 家 災 防 情 S 取 災 見 育 地 所 他 不 明	を 活 用 した 災 害 情 報 の 提 供	に 家 族 と 連 絡 を 確 認 する 方 法 等 の 確 認	の リ ー ダ ー の 育 成 や 地 域 で の 避 難 、 見 守 り 体 制 の 構 築	の 他	明 ・ 無 回 答	
%		認 難 所 の 確 認	難 所 の 確 認	蓄 (各 家庭 での 災害 用品 の 備 蓄)	実 難 所 の 環 境 整 備 の 充 実	育 家 庭 、 学 校 での 防 災 教 育 の 充 実	防 災 訓 練 への 参 加	害 情 報 の 提 供	取 災 時 に 家 族 と 連 絡 を 確 認 する 方 法 等 の 確 認	見 守 り や 地 域 での 避 難 の 体 制 構 築	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体	423	47.0	40.7	39.5	18.7	9.5	18.2	21.7	26.5	2.6	5.7	
性別												
男性	180	43.9	36.7	39.4	17.8	10.0	23.9	16.7	25.0	3.3	6.1	
女性	228	48.7	41.7	39.0	19.3	9.2	13.6	25.9	28.5	1.8	5.7	
年齢別												
18歳～29歳	26	46.2	46.2	19.2	26.9	11.5	11.5	34.6	7.7	3.8	3.8	
30歳～39歳	35	31.4	45.7	45.7	22.9	14.3	31.4	8.6	17.1	8.6	5.7	
40歳～49歳	50	38.0	52.0	44.0	26.0	6.0	26.0	20.0	26.0	4.0	2.0	
50歳～59歳	95	61.1	45.3	31.6	11.6	9.5	30.5	17.9	17.9	1.1	2.1	
60歳～64歳	47	34.0	34.0	40.4	17.0	12.8	21.3	19.1	38.3	-	8.5	
65歳～69歳	77	42.9	35.1	44.2	19.5	6.5	13.0	23.4	31.2	3.9	10.4	
70歳～74歳	37	56.8	29.7	43.2	24.3	10.8	-	27.0	45.9	-	2.7	
75歳以上	53	52.8	34.0	45.3	15.1	7.5	1.9	26.4	28.3	1.9	9.4	

問 41 あなたは、町民や企業、団体（以下、町民等）と行政が協働してまちづくりを行う上で必要だと思ふことは何ですか。（最大3つまで○）

全体では、「まちづくりの中心となる担い手、人材を育成すること」が44.9%と最も高く、次いで「町民等と行政の交流や意見交換する機会をさらに充実させること」が37.6%、「まちづくりや計画づくりに町民等が参加する機会をさらに増やすこと」が27.7%となっています。

性別にみると、男女ともに「まちづくりの中心となる担い手、人材を育成すること」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「まちづくりの中心となる担い手、人材を育成すること」「町民活動のための財源を確保すること」、65歳～69歳では「町民等と行政の交流や意見交換する機会をさらに充実させること」、75歳以上では「町民等と行政の交流や意見交換する機会をさらに充実させること」「まちづくりの中心となる担い手、人材を育成すること」、その他の区分では「まちづくりの中心となる担い手、人材を育成すること」が最も高くなっています。



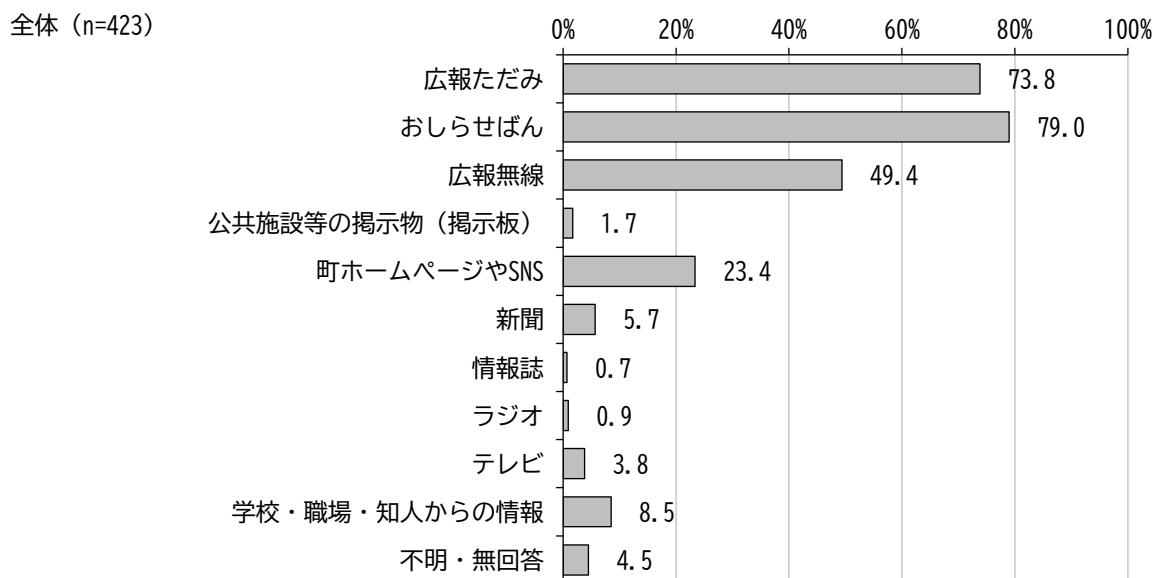
	n	充実させること	交流や意見交換する機会をさらに増やすこと	まちづくりや計画づくりに町民等が参加する機会をさらに増やすこと	拠点施設を整備すること	担い手、人材を育成すること	まちづくりの中心となる担い手、人材を育成すること	町民活動のための財源を確保すること	町民活動に関するサポートを充実させること	企業など事業者との連携を増やすこと	その他	不明・無回答
全体	423	37.6	27.7	13.5	44.9	18.2	15.1	18.9	2.6	11.6		
性別												
男性	180	38.3	27.8	16.1	42.8	20.0	15.6	21.7	4.4	11.1		
女性	228	37.7	28.5	11.0	45.6	16.7	14.9	17.1	1.3	11.4		
年齢別												
18歳～29歳	26	23.1	23.1	23.1	30.8	30.8	3.8	15.4	-	15.4		
30歳～39歳	35	28.6	31.4	8.6	45.7	8.6	17.1	14.3	11.4	8.6		
40歳～49歳	50	32.0	32.0	12.0	54.0	16.0	14.0	36.0	2.0	10.0		
50歳～59歳	95	38.9	25.3	4.2	40.0	25.3	16.8	22.1	2.1	7.4		
60歳～64歳	47	34.0	25.5	17.0	48.9	29.8	10.6	8.5	4.3	12.8		
65歳～69歳	77	39.0	27.3	20.8	37.7	10.4	20.8	13.0	1.3	18.2		
70歳～74歳	37	51.4	29.7	18.9	64.9	8.1	8.1	21.6	-	2.7		
75歳以上	53	45.3	28.3	11.3	45.3	15.1	18.9	17.0	1.9	15.1		

問 42 あなたは、町の情報入手方法で重要だと思う手段は何ですか。(最大3つまで○)

全体では、「おしらせばん」が 79.0%と最も高く、次いで「広報ただみ」が 73.8%、「広報無線」が 49.4%となっています。

性別にみると、男性では「広報ただみ」、女性では「おしらせばん」が最も高くなっています。

年齢別にみると、30歳～39歳、40歳～49歳では「広報ただみ」、その他の区分では「おしらせばん」が最も高くなっています。



	n	%											
		広報ただみ	おしらせばん	広報無線	公共施設等の掲示物(掲示板)	町ホームページやSNS	新聞	情報誌	ラジオ	テレビ	学校・職場・知人からの情報	不明・無回答	
全体	423	73.8	79.0	49.4	1.7	23.4	5.7	0.7	0.9	3.8	8.5	4.5	
性別	男性	180	76.1	72.8	44.4	1.7	28.9	7.2	0.6	1.1	3.3	4.4	
	女性	228	73.2	84.2	53.9	1.8	18.4	4.8	0.9	0.9	3.5	4.4	
年齢別	18歳～29歳	26	73.1	80.8	38.5	3.8	15.4	7.7	-	-	7.7	23.1	3.8
	30歳～39歳	35	74.3	68.6	25.7	2.9	45.7	-	2.9	-	2.9	11.4	2.9
	40歳～49歳	50	94.0	72.0	48.0	-	34.0	4.0	-	-	4.0	16.0	2.0
	50歳～59歳	95	73.7	84.2	49.5	1.1	29.5	-	-	-	2.1	10.5	1.1
	60歳～64歳	47	66.0	80.9	55.3	2.1	27.7	6.4	2.1	2.1	4.3	2.1	4.3
	65歳～69歳	77	71.4	77.9	55.8	2.6	15.6	9.1	-	1.3	2.6	5.2	7.8
	70歳～74歳	37	67.6	83.8	59.5	2.7	16.2	8.1	2.7	-	2.7	2.7	8.1
75歳以上	53	69.8	79.2	50.9	-	5.7	13.2	-	3.8	7.5	1.9	5.7	

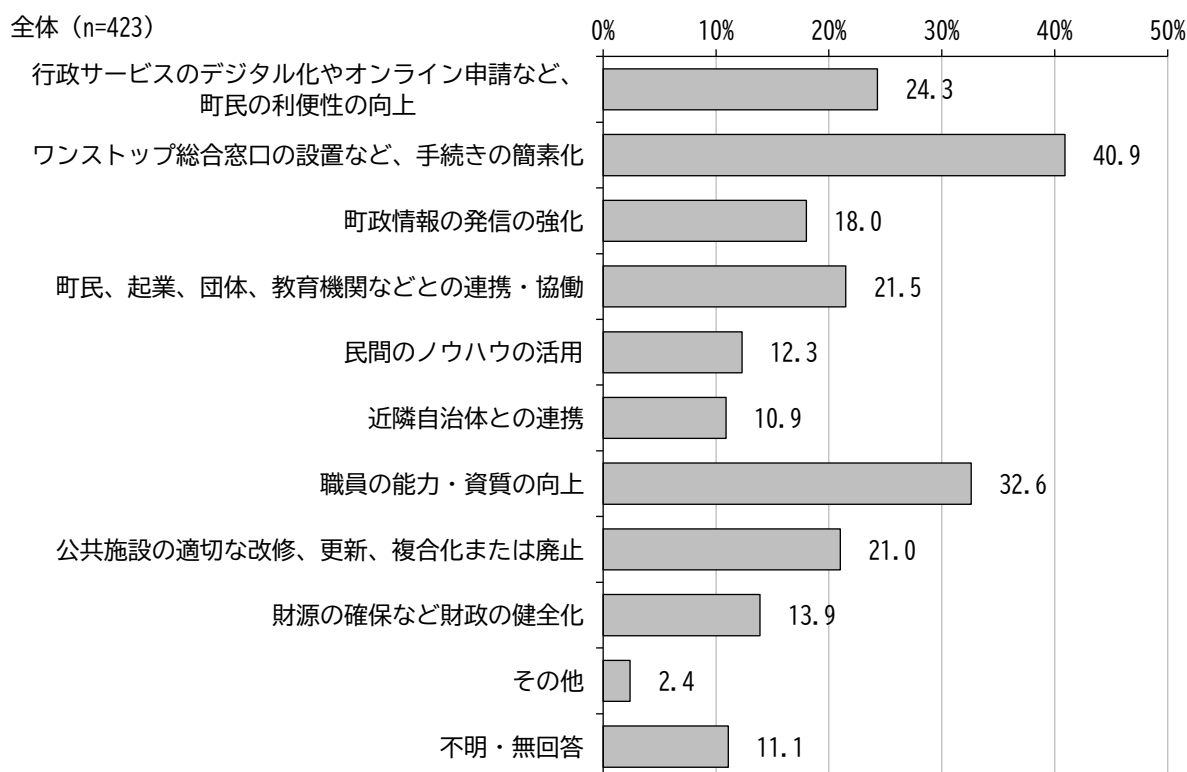
問 43 あなたは、効率的・効果的な行政運営を行う上で重要だと思うことは何ですか。

(最大3つまで○)

全体では、「ワンストップ総合窓口の設置など、手続きの簡素化」が 40.9%と最も高く、次いで「職員の能力・資質の向上」が 32.6%、「行政サービスのデジタル化やオンライン申請など、町民の利便性の向上」が 24.3%となっています。

性別にみると、男女ともに「ワンストップ総合窓口の設置など、手続きの簡素化」が最も高くなっています。

年齢別にみると、18歳～29歳では「行政サービスのデジタル化やオンライン申請など、町民の利便性の向上」「職員の能力・資質の向上」、30歳～39歳では「ワンストップ総合窓口の設置など、手続きの簡素化」「職員の能力・資質の向上」「公共施設の適切な改修、更新、複合化または廃止」、40歳～49歳では「行政サービスのデジタル化やオンライン申請など、町民の利便性の向上」、75歳以上では「町政情報の発信の強化」、その他の区分では「ワンストップ総合窓口の設置など、手続きの簡素化」が最も高くなっています。



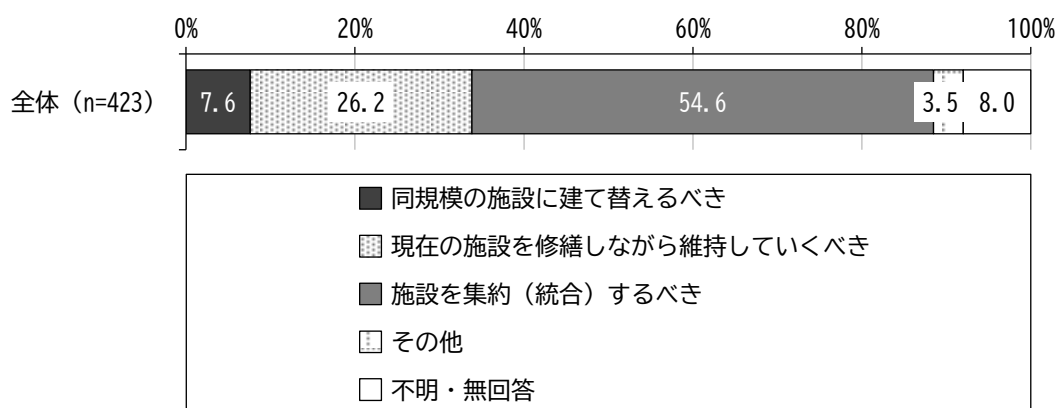
		n	市民の利便性の向上	行政サービスの向上、デジタル化	ワンストップ総合窓口の設置など、手続きの簡素化	町政情報の発信の強化	町民、起業、団体、教育機関などの連携・協働	民間のノウハウの活用	近隣自治体との連携	職員の能力・資質の向上	新公共施設の適切な改修、更新、複合化または廃止	財政源の確保など財政の健全化	その他	不明・無回答
		%												
全体		423	24.3	40.9	18.0	21.5	12.3	10.9	32.6	21.0	13.9	2.4	11.1	
性別	男性	180	26.7	41.7	18.9	17.8	16.7	11.1	30.6	20.0	16.7	3.3	11.7	
	女性	228	23.2	41.7	17.5	24.1	9.2	9.6	34.6	21.9	11.8	1.8	10.5	
年齢別	18歳～29歳	26	30.8	19.2	19.2	23.1	3.8	7.7	30.8	19.2	15.4	-	7.7	
	30歳～39歳	35	22.9	37.1	20.0	28.6	2.9	2.9	37.1	37.1	14.3	2.9	5.7	
	40歳～49歳	50	40.0	34.0	12.0	22.0	12.0	18.0	22.0	28.0	18.0	-	10.0	
	50歳～59歳	95	28.4	45.3	17.9	20.0	12.6	7.4	32.6	20.0	16.8	3.2	7.4	
	60歳～64歳	47	21.3	57.4	10.6	29.8	29.8	8.5	42.6	14.9	10.6	4.3	6.4	
	65歳～69歳	77	19.5	49.4	15.6	11.7	13.0	11.7	35.1	26.0	13.0	3.9	11.7	
	70歳～74歳	37	13.5	43.2	21.6	32.4	8.1	18.9	37.8	13.5	10.8	-	10.8	
75歳以上	53	18.9	26.4	28.3	18.9	9.4	9.4	24.5	9.4	11.3	1.9	26.4		

問 44 町内の公共施設は、建築後 30 年以上を経過している施設が 5 割以上を占めており、今後も同じ規模で公共施設を維持していくとすると、建物や設備の老朽化に伴う大規模改修や建替えに多額の費用が掛かることが想定されます。今後の公共施設のあり方についてどのように考えますか。(1つに○)

全体では、「施設を集約(統合)するべき」が 54.6%と最も高く、次いで「現在の施設を修繕しながら維持していくべき」が 26.2%、「同規模の施設に建て替えるべき」が 7.6%となっています。

性別にみると、男女ともに「施設を集約(統合)するべき」が最も高くなっています。

年齢別にみると、75 歳以上では「現在の施設を修繕しながら維持していくべき」、その他の区分では「施設を集約(統合)するべき」が最も高くなっています。



	n	同規模の施設に建て替えるべき (%)	現在の施設を修繕しながら維持していくべき (%)	施設を集約(統合)するべき (%)	その他 (%)	不明・無回答 (%)
全体	423	7.6	26.2	54.6	3.5	8.0
性別						
男性	180	7.8	24.4	55.6	5.6	6.7
女性	228	6.6	28.1	54.4	1.8	9.2
年齢別						
18歳～29歳	26	23.1	23.1	50.0	-	3.8
30歳～39歳	35	11.4	14.3	68.6	5.7	-
40歳～49歳	50	6.0	8.0	80.0	4.0	2.0
50歳～59歳	95	9.5	27.4	52.6	6.3	4.2
60歳～64歳	47	2.1	25.5	61.7	6.4	4.3
65歳～69歳	77	3.9	35.1	44.2	1.3	15.6
70歳～74歳	37	-	24.3	67.6	-	8.1
75歳以上	53	11.3	39.6	28.3	1.9	18.9

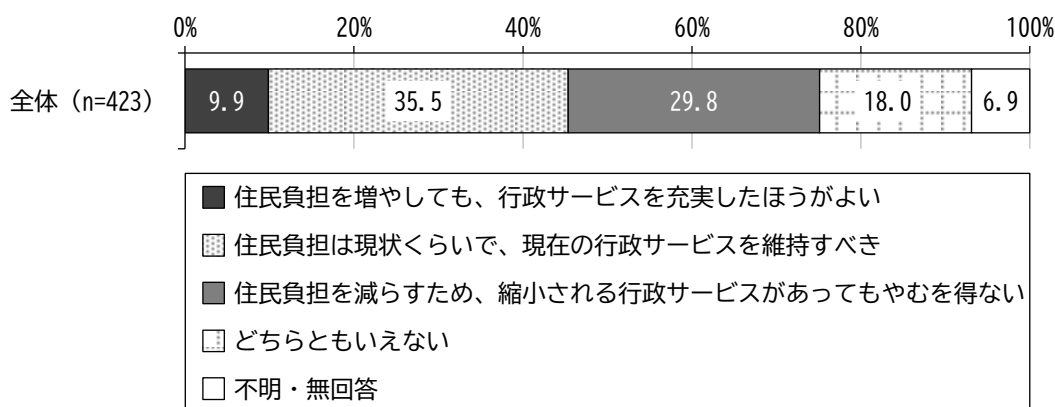
問 45 今後、町の財政状況が厳しくなることが予想される中で、町民の費用負担に影響を及ぼすことも考えられます。行政サービスと住民負担のあり方についてどのように考えますか。

(1つに○)

全体では、「住民負担は現状くらいで、現在の行政サービスを維持すべき」が 35.5%と最も高く、次いで「住民負担を減らすため、縮小される行政サービスがあってもやむを得ない」が 29.8%、「どちらともいえない」が 18.0%となっています。

性別にみると、男性では「住民負担を減らすため、縮小される行政サービスがあってもやむを得ない」、女性では「住民負担は現状くらいで、現在の行政サービスを維持すべき」が最も高くなっています。

年齢別にみると、30歳～39歳では「住民負担を減らすため、縮小される行政サービスがあってもやむを得ない」、40歳～49歳、65歳～69歳では「住民負担は現状くらいで、現在の行政サービスを維持すべき」「住民負担を減らすため、縮小される行政サービスがあってもやむを得ない」、その他の区分では「住民負担は現状くらいで、現在の行政サービスを維持すべき」が最も高くなっています。



		n	ほ う が よ い	行 政 サ ー ビ ス を 増 や し て も 、 充 実 し た 、	住 民 負 担 を 減 ら す た め 、 縮 小 さ れ る 行 政 サ ー ビ ス が あ っ て も や む を 得 な い	ど ち ら と も い え な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		423	9.9	35.5	29.8	18.0	6.9
性別	男性	180	14.4	30.6	33.3	15.0	6.7
	女性	228	7.0	39.5	28.1	18.4	7.0
年齢別	18歳～29歳	26	7.7	42.3	23.1	19.2	7.7
	30歳～39歳	35	8.6	8.6	60.0	22.9	-
	40歳～49歳	50	10.0	34.0	34.0	20.0	2.0
	50歳～59歳	95	13.7	35.8	28.4	18.9	3.2
	60歳～64歳	47	6.4	42.6	19.1	25.5	6.4
	65歳～69歳	77	3.9	35.1	35.1	14.3	11.7
	70歳～74歳	37	18.9	43.2	27.0	5.4	5.4
	75歳以上	53	11.3	39.6	17.0	17.0	15.1

問 46 あなたは、将来の只見町の姿について、どのようになって欲しいと考えていますか。将来像としてふさわしいキーワードをお書きください。(自由記入)

169 人の方からご意見がありました。分類については、下表のとおりです。(件数には内容重複分を含みます。)

分 類	件 数
医療・福祉の充実	24
安心・安全	18
移住・定住の促進	15
子育てしやすい、子育て環境や教育・保育の充実	13
自然	11
楽しい、明るい、笑顔、元気	10
商業・産業の振興	10
人口維持・増加	10
住みやすい、便利	9
観光の振興	9
雇用の創出	9
人に優しい、心豊か	8
コンパクト、集約、シンプル	7
活気、活性化	6
誇り、自慢、魅力	5
原風景、ふるさと	4
自然体	4
その他	35
合計	207

各項目について、主な意見（原文）を抜粋しています。

【医療・福祉の充実】

- 老後も安心して住める町（医療、福祉）
- 診療所の体制を今まで通りに戻してほしい。医療の方で安心出来なければ、住んでいても心配でならない。
- どの市町村よりも医療体制が万全で、安心出来る町
- 医療環境に不安を覚えない町

【安心・安全】

- 安心して住める只見町（全世代が）
- 買い物ができる、病院がある、安心して暮らせる世の中
- 自分が高齢になっても 安心・安全な町であって欲しい

【移住・定住の促進】

- 移住者を多く取り入れ、住みやすい町。若い移住者を確保していくべきだと思う。若い人、子供に対しての今後の政策をしていくべきだと思う。
- 町を出た若い人たちが戻ってきて、住み続けたいと思える町
- 子供達が帰ってきたくなる場所にしたい

【子育てしやすい、子育て環境や教育・保育の充実】

- 子育て環境が良い町
- 働きながら子育て出来る住環境の整備。医療、福祉の充実。住み良い環境をつくり、人口増加を図る。
- 子育て世代と、その子どもが安心して充実感ある暮らしが出来る公園、施設の整備がされることを希望。

【自然】

- 自然とともに、自然を生かす、自然を楽しむ、不便を楽しむ、時間に追われない、観光客も町民も元気を分け合う。
- 自然に囲まれた住みやすい町
- 自然との共存で、心豊かに暮らせる町となってほしい。

【楽しい、明るい、笑顔、元気】

- 毎日ワクワクする只見町
- たとえ人口がどんなに少なくなっても、寂れた町ではなく町民が楽しそうに暮らしている明るい只見町であってほしいです。自然を求める観光客の皆さんにも愛される町のままであってほしいです。

【商業・産業の振興】

- 企業の誘致
- 自然を活用した仕事や、商業施設の充実。

【人口維持・増加】

- 人口の減少をなんとか止める方法、それなくして町の維持はない。
- 人口増加と商業施設の増加。

【住みやすい、便利】

- 子供から年寄りまで住みやすい町只見町
- 生活が便利になって欲しい。特に、公共交通機関、医療機関、商店（買い物ができる場所）の充実。就労場所（事業所）を増やすなどして欲しい。

【観光の振興】

- せっかく只見線が再開したのに、駅周辺の商業施設の不備が目立ち、来町された観光客が不満な状況にあるように感じる。施設の充実とサービスの向上、宿泊施設の整備が必要なのではないかと思う。
- 自然を生かした観光地になってほしい。（ブナ林・只見線は魅力的）

【雇用の創出】

- 若い人達がリターンしても、働ける場所づくり。
- 人口減少は進んでいくのだと思いますが、民間企業が衰退して行く地域（地方）は過疎化のスピードが速いと思う。働き場の確保ができなければリターンもできない。企業努力だ、ととらえるか、町の生き残りとしてとらえるか？町政や町民と対話の取れる只見町独自の民間企業団体などもおもしろいか。

【人に優しい、心豊か】

- 人に優しい。子どもが伸び伸び。
- 若者と年寄りに優しい町

【コンパクト、集約、シンプル】

- コンパクトシティ化を推進して行くべきと考えます。除雪、水道や電気、サービスを奥の集落まで今後も維持するのは困難と考えます。
- 行政サービスの集約化

【活気、活性化】

- 人口減少に歯止めがかかり、3小学校が維持され、地域の産業の振興が図られ、町が活性化してほしい。
- 3地区一丸となり、活気溢れる町になってほしい。

【誇り、自慢、魅力】

- 町の存在感がアピールできるような強みをつくる
- 只見町に住んでいること、只見町に住んでいたことに誇りをもてる町

【原風景、ふるさと】

- 「日本の原風景」安全で住みやすい！（昔の様な豪雪地帯、不便というのはもうあてはまらないのではないのでしょうか？）
- いつまでも 変わらぬ思い 心のふるさと 只見町

【自然体】

- 子供もいない、若者もいない、現状、昔はこうだった、ああだったという年配の方の意見は、もっともだが若い人たちに負担をかけないでほしい。それが原因で町外へ出てしまう人もいるので、将来は町がさびれてしまうかもしれないけど、その中で出来る範囲でやっていける町で良いと思う。無理しない自然体で良いと思う。

【その他】

- 人口減少は避けられない。だからこそ町と住民の距離が近く、住民みんなでまちづくりができるような、そんなまちづくりを期待します。
- 移住して来られた方も住みやすく、近隣の方や出会う人達と楽しく話やすく助け合える環境になって欲しいです。

問 47 その他、只見町のまちづくりについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

111人の方からご意見がありました。分類については、下表のとおりです。(件数には内容重複分を含みます。)

分 類	件 数
行政への要望や施策	40
医療	22
移住・定住、人口減少対策	18
商業・工業	11
観光、PR	8
子育て・教育	5
住環境・自然環境	5
議会、議員	5
情報発信	4
高齢者福祉	3
その他	8
合計	129

各項目について、主な意見（原文）を抜粋しています。

【行政への要望や施策】

- 町のシンボル役場庁舎をなんとかしてほしいと思います。
- 只見町の特産をとり入れた活動を活発化して、豪雪地帯というネガティブな所をポジティブに考えた取り組みを計画して発展させて下さい。只見町の若者がもっともっと元気に活動してほしいです。
- 地域住民が一緒になってそれぞれの立場で意見を自由に言い合える場所をつくり、官民一体となり進めていかなければならないと思います。
- 根強い地域根性をとっぴらってもっと1つの町として、どのように発展（維持）していくのがよいのかをみんなで考えられるようになれば良いなと思っています。子育てに優しい会社、企業が増えれば、親も子どももっと楽しくすごせますよね。
- 只見町が本当に住み良い町になろうとしているとは思えません。行政がどんなことに取り組んでどのようなになっているかわかりにくいです。福祉や医療は大切だと思います。親世代が安心して暮らすことができる、離れて生活している子供たちも安心できる町になって欲しいと思います。

【医療】

- 医療、福祉の充実。不安のない生活をしたい。
- 町民の一番の不安は、医療のこと。安心して暮らせるため、診療所が今の様ではならないと思う。子育て中の人達も同様。
- 毎週の移動販売（食品）と安心した医療

【移住・定住、人口減少対策】

- 若者の人口を増やすべく、より一層空き家の有効利用の対策に力を入れ、魅力ある内容で移住者がこれからも増えていくように頑張ってもらいたい。
- 人口減少はやむを得ないので、将来的に公共施設は統合し、町民の住居も1地区に集約するのが理想。
- 若者が結婚し、安心して子育てができる所でなければ成り立たないと思います。子供がいないのでは町などできないと思います。1人1人が人を思い協力する事。

【商業・工業】

- 必要な時に気軽に薬を買える薬局があればいいと思う。
- 他地域と比べても、大きな災害などが少なく、比較的 안전한地域だと感じています。自然を守る事ももちろん大事ですが、住民の収入が安定するような、もっと働きたいと思えるような環境づくりをお願いしたいです。

【観光、PR】

- 観光やイベント等（PR 含め）町全体のやる気と体制が大事だと思っています。只見町には、町全体でという気が他の町村に比べて足りないと思います。
- 只見スキー場の周辺にて自然イベントを行ったり、手作りがたくさんあるスキー場の食堂をもっとPRして欲しいです。

【子育て・教育】

- 入学する子供が年々少なくなっています。なるべく早く小学校を一カ所に集めた方が良くはないかと思っています。
- 土、日に子供達が安心して遊んだり、読書したりできる施設をつくってほしい。人の家に行ったりするより、全然いいと思います。資料館なんかをつくるよりも子供達の為に何かをしてあげるべきだと考えます。是非ともご検討願います。

【住環境・自然環境】

- ピクニックや公園で遊べる所を1つつくってほしい。
- 自然の保護ばかりに傾注するのではなく、自然を有効に活用した町づくりとすることで、仕事も町民の減少も抑えることができるのではないかと考えます。

【議会、議員】

- 議会での議論の話。その先はどうかで質問した議員さん、された町、その先のフォローが聞きたい。質問しただけ、答弁しただけ、その問題などのその先の発信に興味あり、時々もっと夢のある話の議会に期待。
- 町議員、もっと少なくてもよいと思う。8、9人くらい少なくし、選挙できるようにしてもっと町のためになるような、町民のためになるような議会づくりをしてほしい。

【情報発信】

- 外の人が目にするを増やし（SNS 専課をつくるなどして）他の人がうらやましがらるような活動を発信する必要がある。毎日やり続けることが、人々の心をつかむには必要。どこの自治体もそんな時間や人を割けない分、そこで突出すべきだと思います。今は、そういう時代になってきました。そこで、関係人口を増やすことが今後只見が残っていける大切な要素になると思います。片手間でなく、それ専門にやる人（課）が必要だと思います。

【高齢者福祉】

- 高齢化が進んでおり、早急に介護施設の充実と介護資格者の教育、育成を図る。

【その他】

- このアンケート結果は公表されるのか？
- 部落の中で高齢化、空き家が増えていることが気になっています。町でも色々苦労されているのがわかります。農業の担い手が減少しているので、地産が大変になっている。

第八次只見町振興計画
町民アンケート
結果報告書

発行：只見町 総務企画課 企画係
TEL：0241-82-5210
FAX：0241-82-2117

発行年月：令和6年11月